

平成 30 年度
人権に関する市民意識調査
調査結果報告書

平成 31 年 3 月

加東市

も く じ

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
4. 標本誤差	2
5. 調査項目	3
6. 報告書の見方	4

第2章 調査結果

1. 基本的な属性	5
2. アンケート結果について	7
3. 前回調査との経年比較	99

参考資料

アンケート調査票	103
----------------	-----

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の設計
3. 回収状況
4. 標本誤差
5. 調査項目
6. 報告書の見方

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 31 年度末で計画期間が終了する基本計画を見直し、「第 2 次加東市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定するために、市民のみなさまの意識や意向、ニーズを的確に把握し、今後の施策展開の参考とするために実施したものです。

2. 調査の設計

調査地域：加東市全域

調査対象者：加東市内在住の 18 歳以上の市民 4,000 人

調査期間：2018 年 10 月 29 日（月）～2018 年 11 月 12 日（月）

調査方法：郵送配布・郵送回収

3. 回収状況

回収件数：1,429 件（回収率：35.7%）

有効回収数：1,423 件（回収率：35.6%）

有効票	白票	無効票
1,423 件	4 件	2 件

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（加東市の全世帯）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の『算出式』と『早見表』を次に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は±2.60%以内となる。

◎標本誤差算出式

$$\text{標準誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（加東市全世帯）
 n = 比率算出の基数（回答サンプル数）
 p = 回答の比率（0 ≤ p ≤ 100）

ただし、本調査の母集団は無限母集団であるので、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$

よって 標準誤差 = $\pm 2 \sqrt{\frac{p \times (1-p)}{n}}$ となる。




◎誤差早見表

n \ p (%)	5	10	20	30	40	50
	95	90	80	70	60	50
100	±4.27%	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
500	±1.91%	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
1,000	±1.35%	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
1,423	±1.13%	±1.56%	±2.08%	±2.38%	±2.55%	±2.60%
1,500	±1.10%	±1.52%	±2.02%	±2.32%	±2.48%	±2.53%
5,000	±0.60%	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%
10,000	±0.43%	±0.59%	±0.78%	±0.90%	±0.96%	±0.98%

5. 調査項目

問 番 号	調 査 項 目
1	人権への親近感
2	人権や部落差別の問題に関する感じ方
3	人権侵害に関する考え方
4	人権侵害を受けた経験の有無
4-1	人権侵害を受けた経験の内容
4-2	人権侵害を受けた経験の対応
5	人権侵害をした経験の有無
6	同和地区や同和地区の人々に対する差別を見たり聞いたりした経験
7	自身の結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応
8	子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応
9	結婚相手が「同和地区出身者」と判断する基準
10	住宅を選ぶ際に同和地区を避けるかどうかの判断
10-1	同和地区を避けると考える理由
11	部落差別の問題について初めて知ったきっかけ
12	人権の観点からみて問題があるかどうかに関する感じ方
13	インターネットの利用頻度
14	インターネット上の書き込みに関する感じ方
15	性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）という言葉の認知度
16	LGBTQ等の言葉の認知度
17	周囲の人が性的少数者だった場合に関する感じ方
18	ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等の認知度
18-1	ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知ったきっかけ
18-2	ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等に関する考え方
19	学校で差別や人権に関する教育を受けた経験
19-1	学校で受けた差別や人権に関する教育の内容
20	人権問題に関する講演会や研修会の参加の有無
20-1	参加した講演会や研修会の内容
21	人権問題について理解や認識を深めるために役立つもの
22	人権が尊重される社会を実現するために必要な施策
23	法律の認知度
24	性別
25	年齢
26	お住まいの地区
27	自由意見

6. 報告書の見方

- グラフ中の「調査数」は全体の件数を示しています。
- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表等の「n (NUMBER OF CASE)」は、有効標本数 (集計対象者総数) を表しており、「MA (Multiple Answer) %」という表示がある場合は、複数回答を依頼した質問であることを表しています。また、図表中にて「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものを表しています。
- 回答者数 (n) が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、集計結果に偏りがみられるため、解読には注意する必要があります。
- クロス集計表は1位を 、2位を 、3位を  というように色付けをしています。(その他・無回答は除く。)

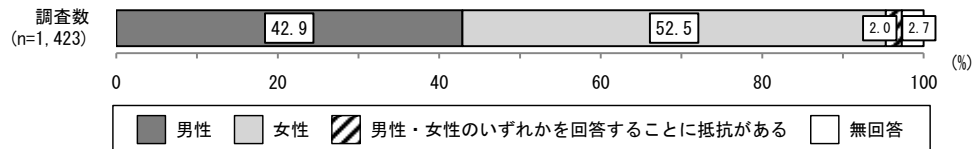
第 2 章 調査結果

1. 基本的な属性
2. アンケート結果について

1. 基本的な属性

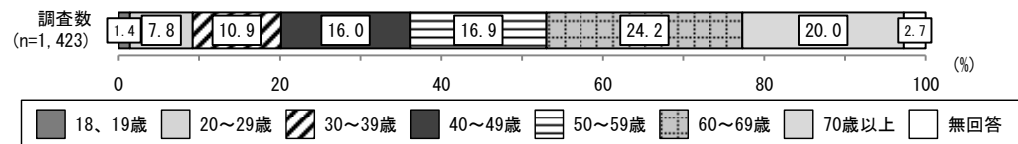
(1) 性別

問 24 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)



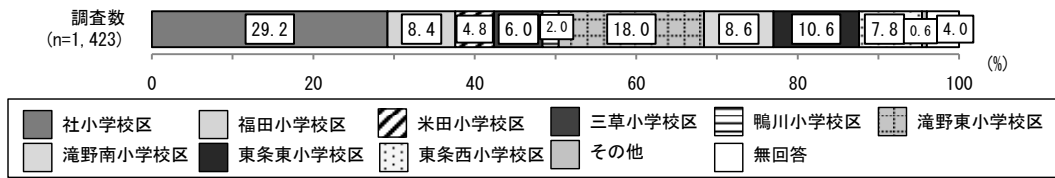
(2) 年齢

問 25 あなたの年齢について教えてください。(○は1つ)



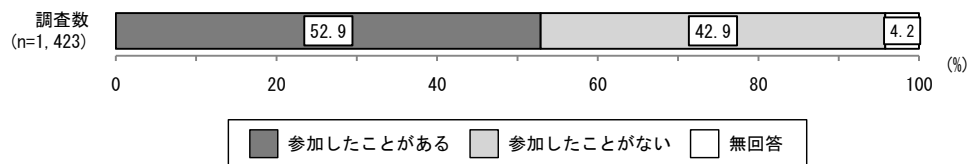
(3) お住いの地区

問 26 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)



(4) 人権問題に関する講演会や研修会の参加有無

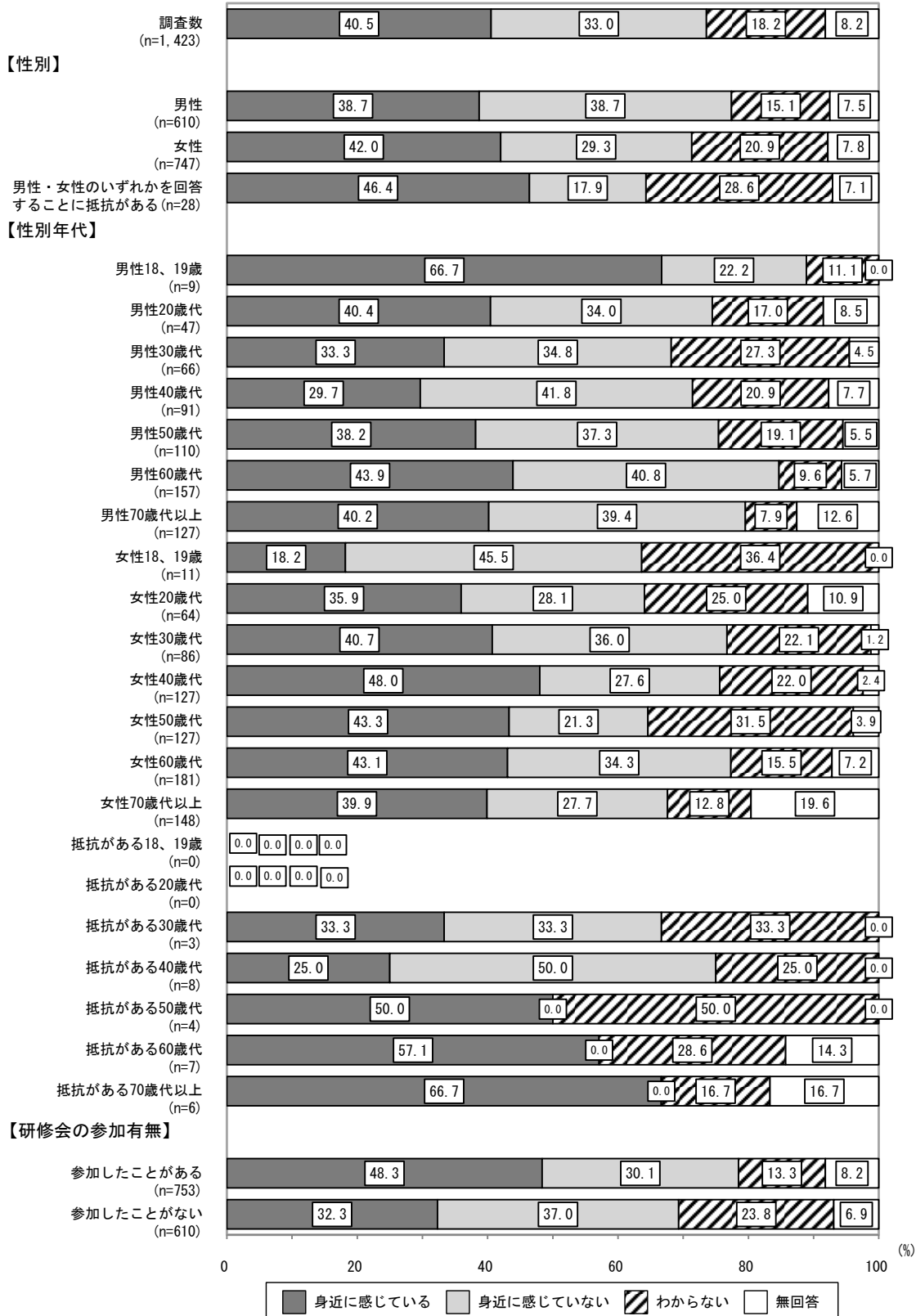
問 20 さまざまな人権問題に関する市民の理解を深めるため、市（教育委員会を含む）や団体などが主催している講演会、研修会などに、あなたは参加したことがありますか。(〇は1つ)



2. アンケート結果について

(1) 人権への親近感

問1 あなたは人権を身近な問題として感じていますか。(〇は1つ)



【全体】

人権への親近感についてみると、「身近に感じている」が40.5%と最も高く、次いで、「身近に感じていない」が33.0%となっている。

【性別】

性別でみると、男性で「身近に感じている」と「身近に感じていない」が38.7%と高く、女性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「身近に感じている」がそれぞれ42.0%、46.4%と最も高くなっている。

【性別年代】

性別年代別でみると、男性18、19歳、男性20歳代、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳代以上、女性20歳代、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある50歳代、抵抗がある60歳代、抵抗がある70歳代以上では「身近に感じている」がそれぞれ最も高く、男性30歳代、男性40歳代、女性18、19歳、抵抗がある40歳代では「身近に感じていない」がそれぞれ最も高く、抵抗がある30歳代では「身近に感じている」と「身近に感じていない」が33.3%と高くなっている。

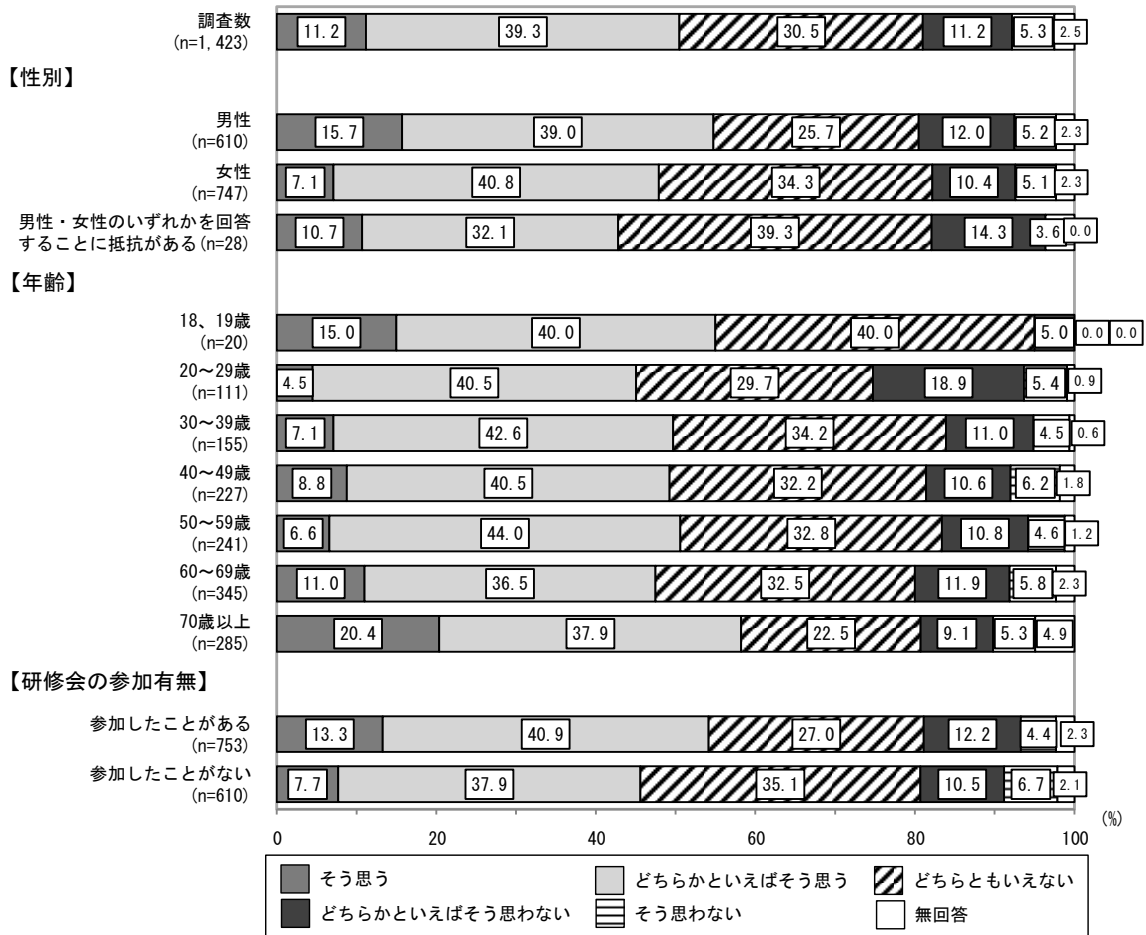
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるで「身近に感じている」が48.3%と最も高く、参加したことがないでは「身近に感じていない」が37.0%と最も高くなっている。

(2) 人権や部落差別の問題に関する感じ方

問2 日本の社会での人権や部落差別の問題に関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

〔ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である〕



【全体】

「どちらかといえばそう思う」が39.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が30.5%、「そう思う」、「どちらかといえばそう思わない」がそれぞれ11.2%、「そう思わない」が5.3%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性で「どちらかといえばそう思う」がそれぞれ39.0%、40.8%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が39.3%と最も高くなっている。

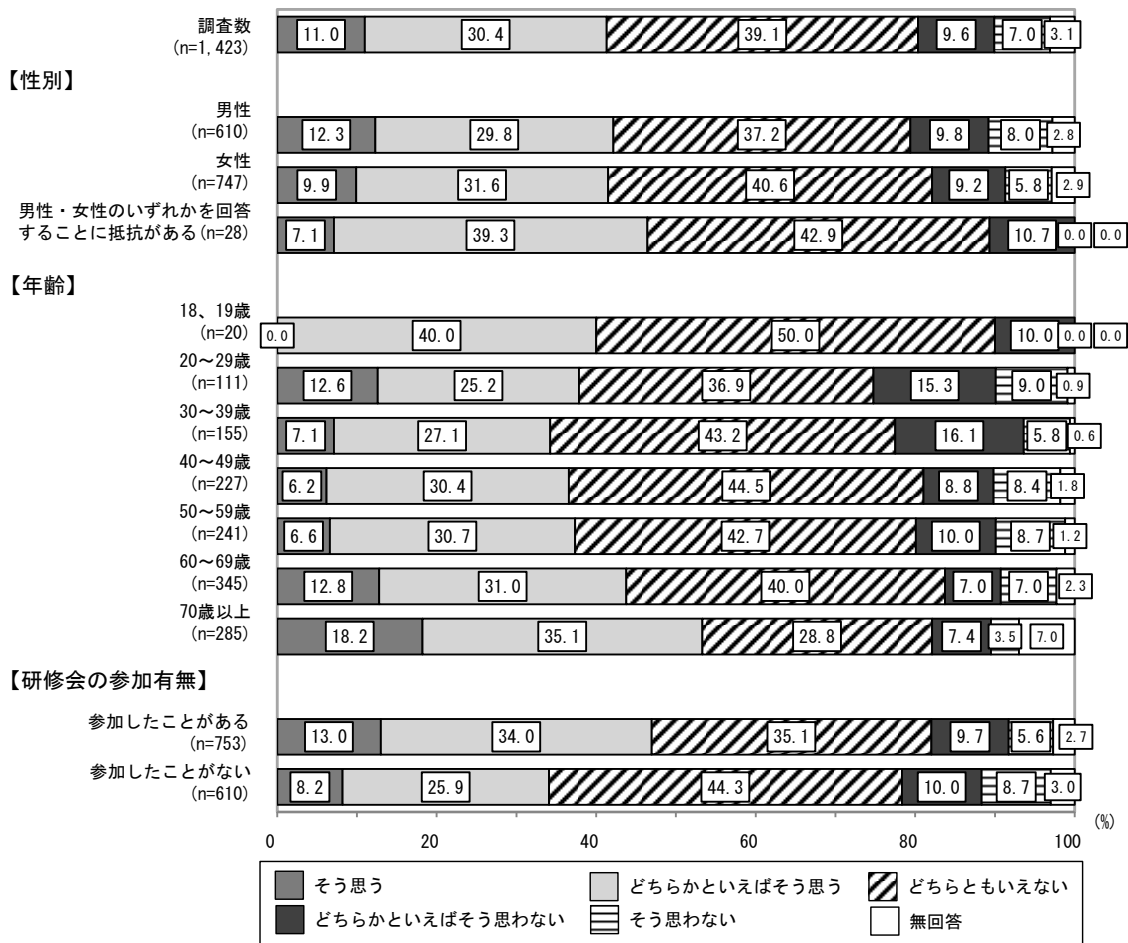
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「どちらかといえばそう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえばそう思う」が高く、参加したことがあるでは40.9%、参加したことがないでは37.9%となっている。

〔イ 国民一人一人の人権意識はここ5年前に比べて高くなっている〕



【全体】

「どちらともいえない」が39.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」が30.4%、「そう思う」が11.0%、「どちらかといえばそう思わない」が9.6%、「そう思わない」が7.0%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリーで「どちらともいえない」が高く、男性では37.2%、女性では40.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

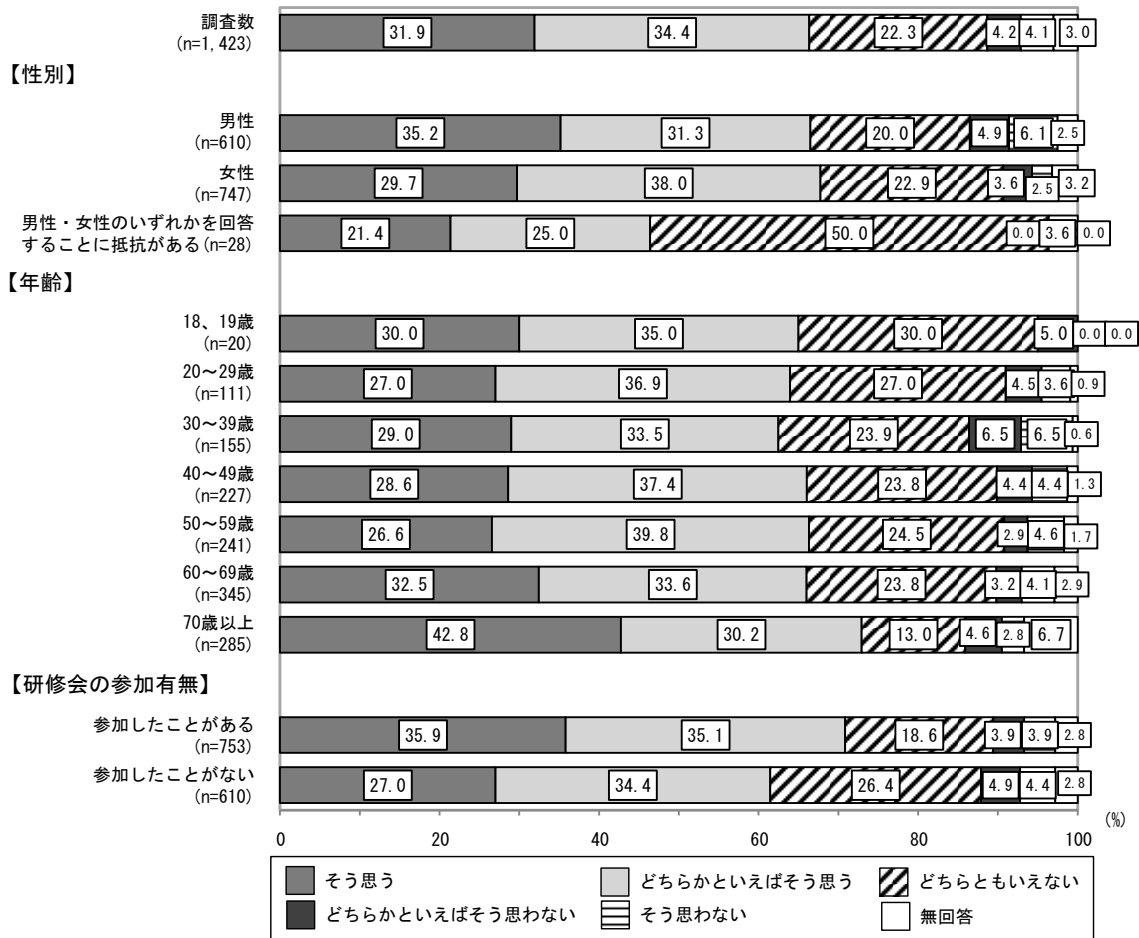
【年齢】

年齢別で見ると、18, 19歳、20~29歳、30~39歳、40~49歳、50~59歳、60~69歳では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」が35.1%と最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリーで「どちらともいえない」が高く、参加したことがあるでは35.1%、参加したことがないでは44.3%となっている。

〔ウ 部落差別の問題は、人権にかかわる問題だから社会全体で取り組み、自分も努力すべきだ〕



【全体】

「どちらかといえばそう思う」が34.4%と最も高く、次いで、「そう思う」が31.9%、「どちらともいえない」が22.3%、「どちらかといえばそう思わない」が4.2%、「そう思わない」が4.1%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「そう思う」が35.2%と最も高く、女性では「どちらかといえばそう思う」が38.0%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が50.0%と最も高くなっている。

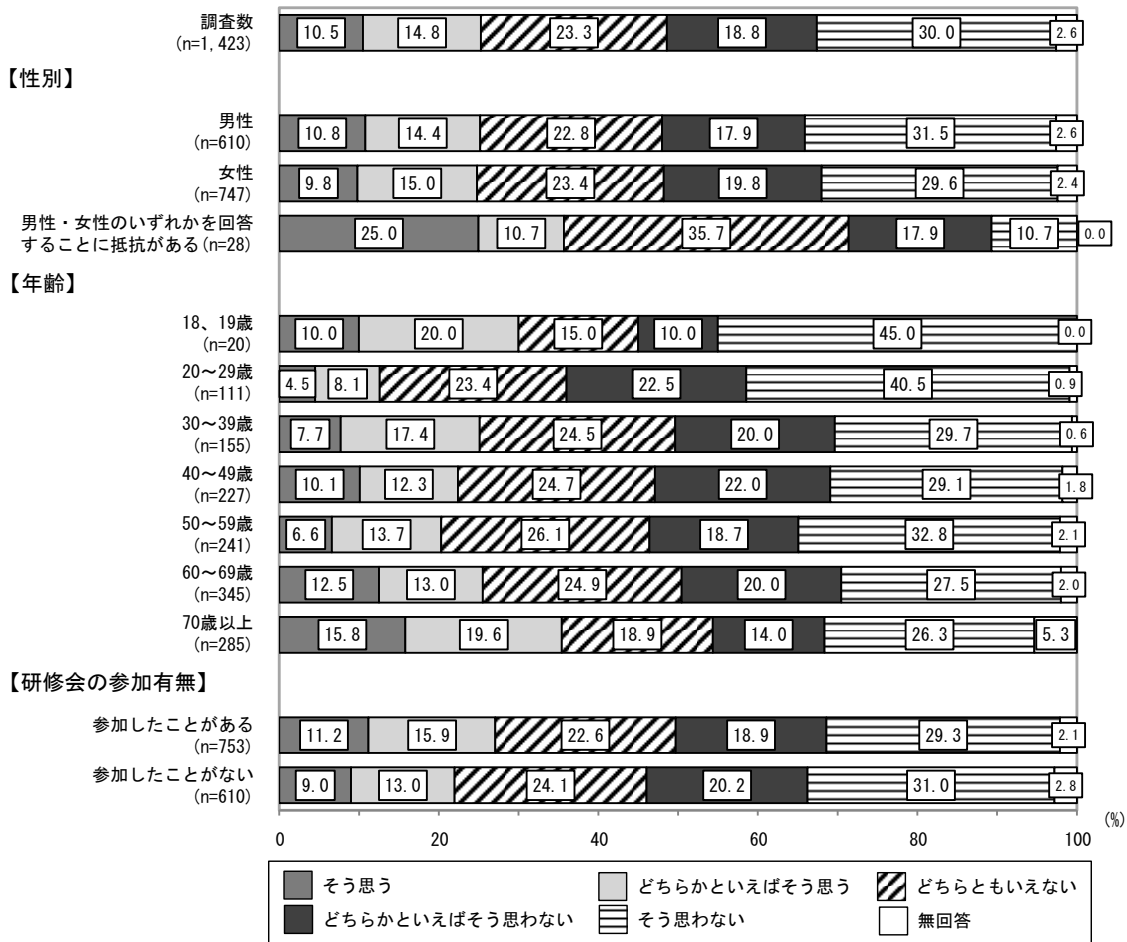
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「どちらかといえばそう思う」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「そう思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるで「そう思う」が35.9%と最も高く、参加したことがないでは「どちらかといえばそう思う」が34.4%と最も高くなっている。

〔エ 部落差別の問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ〕



【全体】

「そう思わない」が30.0%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が23.3%、「どちらかといえばそう思わない」が18.8%、「どちらかといえばそう思う」が14.8%、「そう思う」が10.5%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性で「そう思わない」がそれぞれ31.5%、29.6%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が35.7%と最も高くなっている。

【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリで「そう思わない」が最も高くなっている。

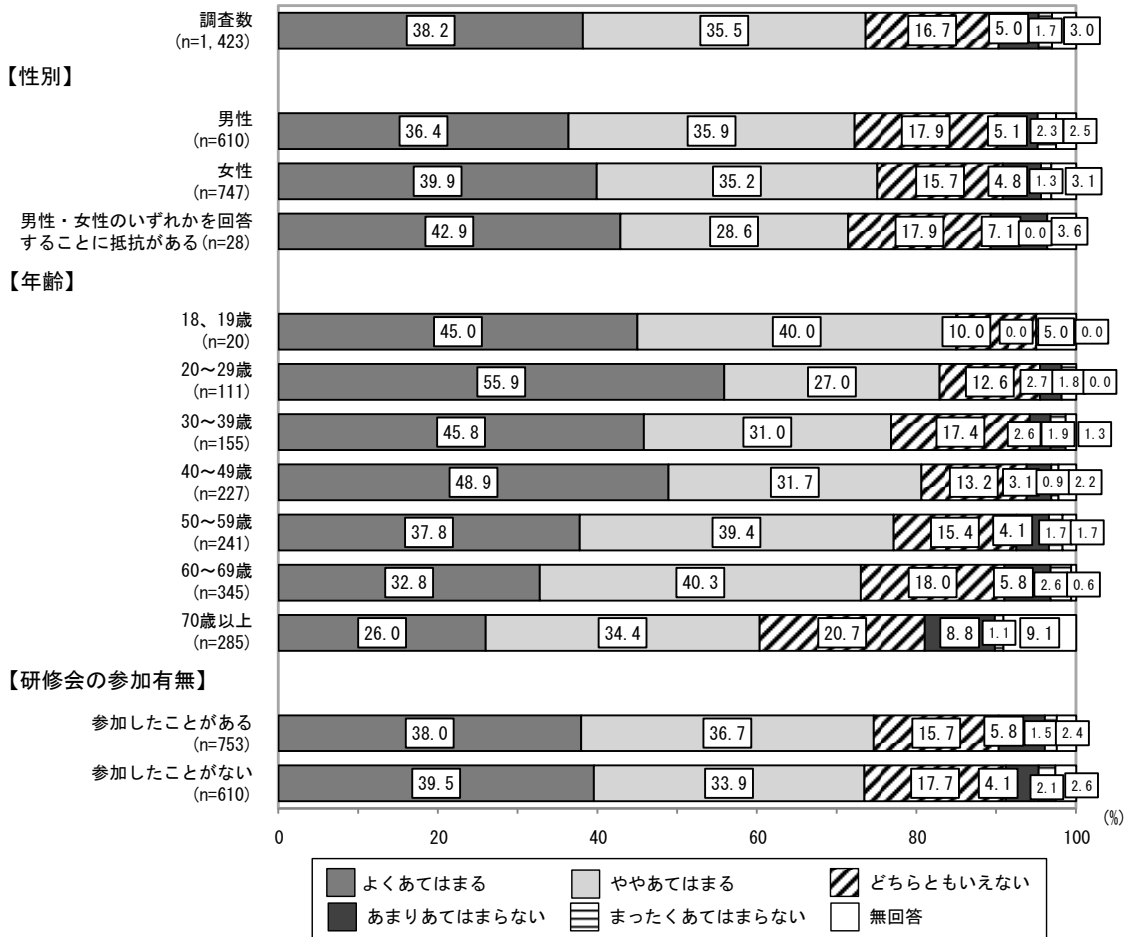
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「そう思わない」が高く、参加したことがあるでは29.3%、参加したことがないでは31.0%となっている。

(3) 人権侵害に関する考え方

問3 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。
ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

〔ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること〕



【全体】

「よくあてはまる」が38.2%と最も高く、次いで、「ややあてはまる」が35.5%、「どちらともいえない」が16.7%、「あまりあてはまらない」が5.0%、「まったくあてはまらない」が1.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、男性では36.4%、女性では39.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

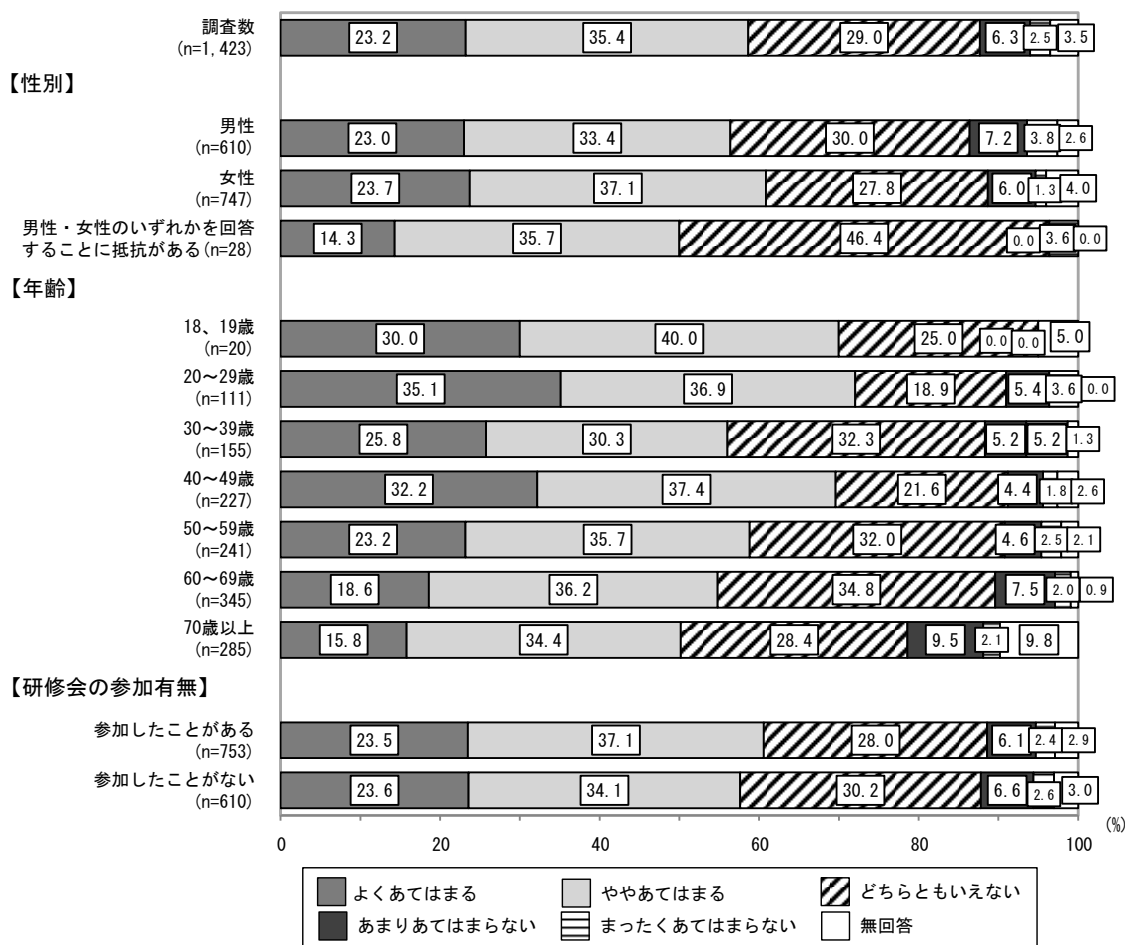
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、参加したことがあるでは38.0%、参加したことがないでは39.5%となっている。

【イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること】



【全体】

「ややあてはまる」が35.4%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が29.0%、「よくあてはまる」が23.2%、「あまりあてはまらない」が6.3%、「まったくあてはまらない」が2.5%となっている。

【性別】

性別で見ると、男性、女性で「ややあてはまる」がそれぞれ33.4%、37.1%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が46.4%と最も高くなっている。

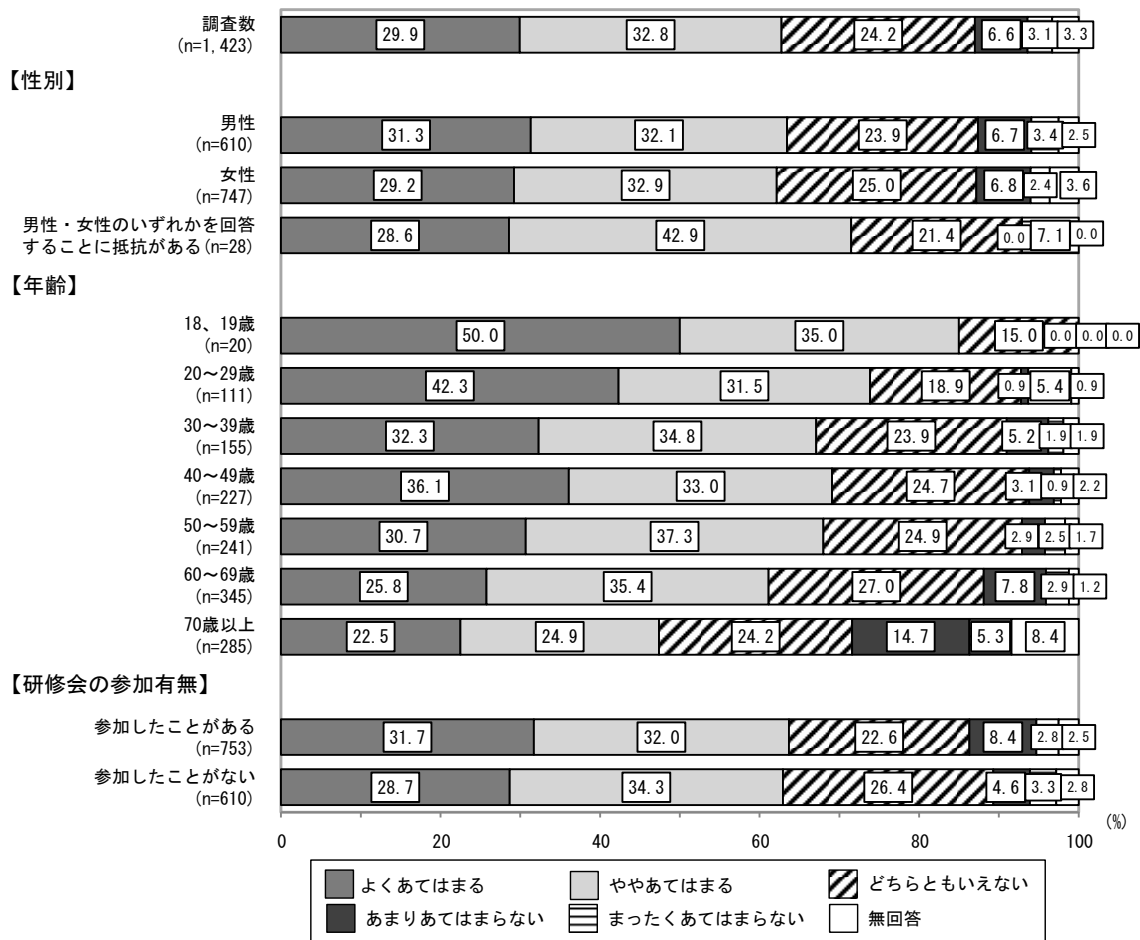
【年齢】

年齢別で見ると、18、19歳、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高く、30～39歳では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリーで「ややあてはまる」が高く、参加したことがあるでは37.1%、参加したことがないでは34.1%となっている。

〔ウ 障害のある人が結婚したり、子どもを育てたりすることに周囲が反対すること〕



【全体】

「ややあてはまる」が32.8%と最も高く、次いで、「よくあてはまる」が29.9%、「どちらともいえない」が24.2%、「あまりあてはまらない」が6.6%、「まったくあてはまらない」が3.1%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「ややあてはまる」が高く、男性では32.1%、女性では32.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

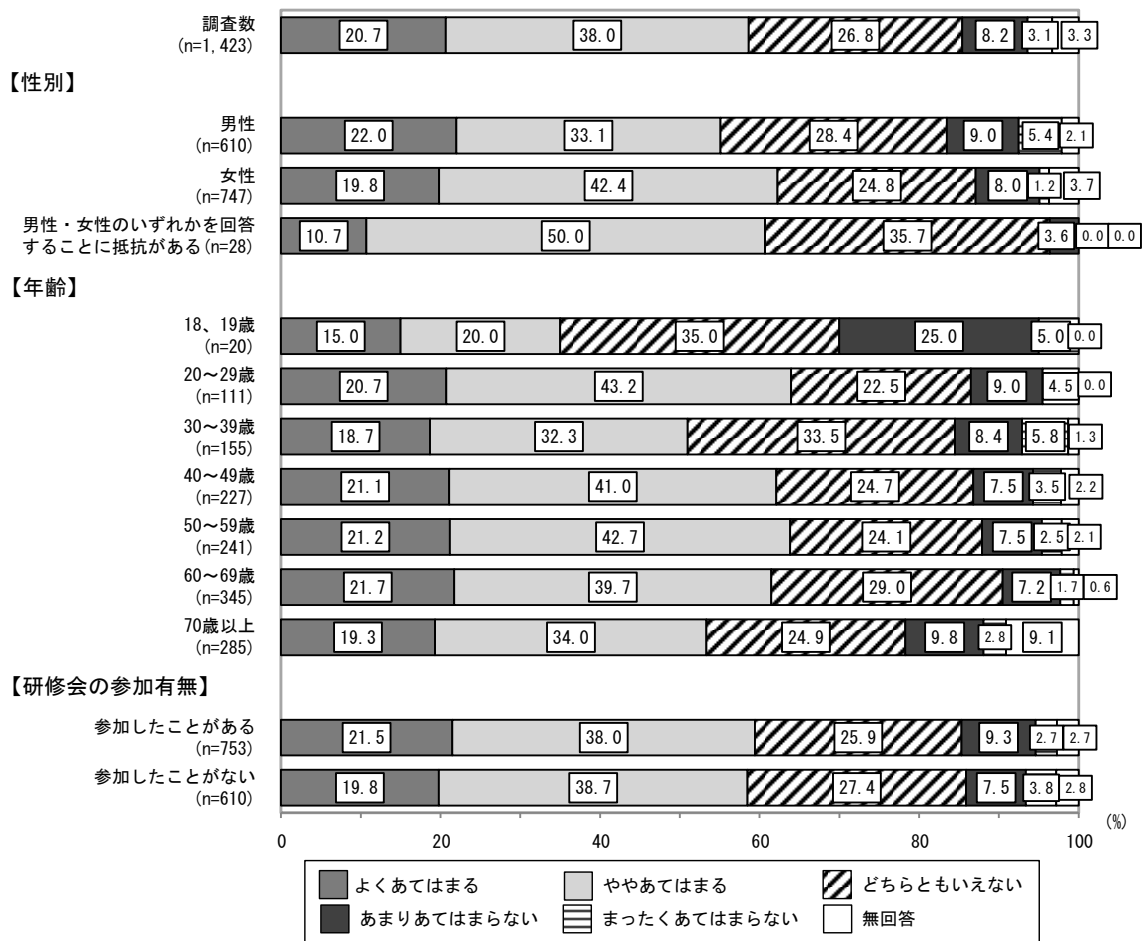
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、40～49歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、30～39歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「ややあてはまる」が高く、参加したことがあるでは32.0%、参加したことがないでは34.3%となっている。

【エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなったりすること】



【全体】

「ややあてはまる」が38.0%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が26.8%、「よくあてはまる」が20.7%、「あまりあてはまらない」が8.2%、「まったくあてはまらない」が3.1%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリで「ややあてはまる」が高く、男性では33.1%、女性では42.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは50.0%となっている。

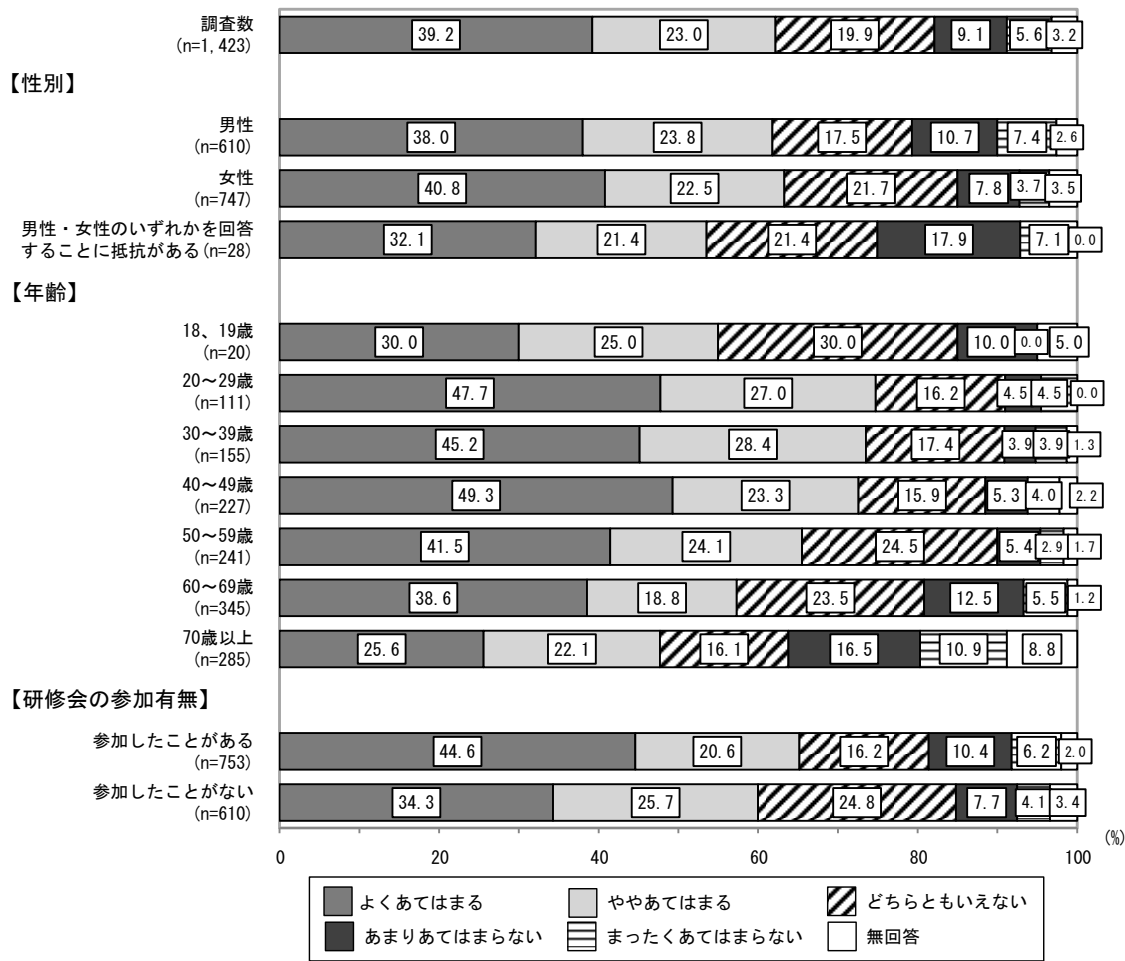
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、30～39歳では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高く、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「ややあてはまる」が高く、参加したことがあるでは38.0%、参加したことがないでは38.7%となっている。

〔オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか身元調査をすること〕



【全体】

「よくあてはまる」が39.2%と最も高く、次いで、「ややあてはまる」が23.0%、「どちらともいえない」が19.9%、「あまりあてはまらない」が9.1%、「まったくあてはまらない」が5.6%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、男性では38.0%、女性では40.8%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは32.1%となっている。

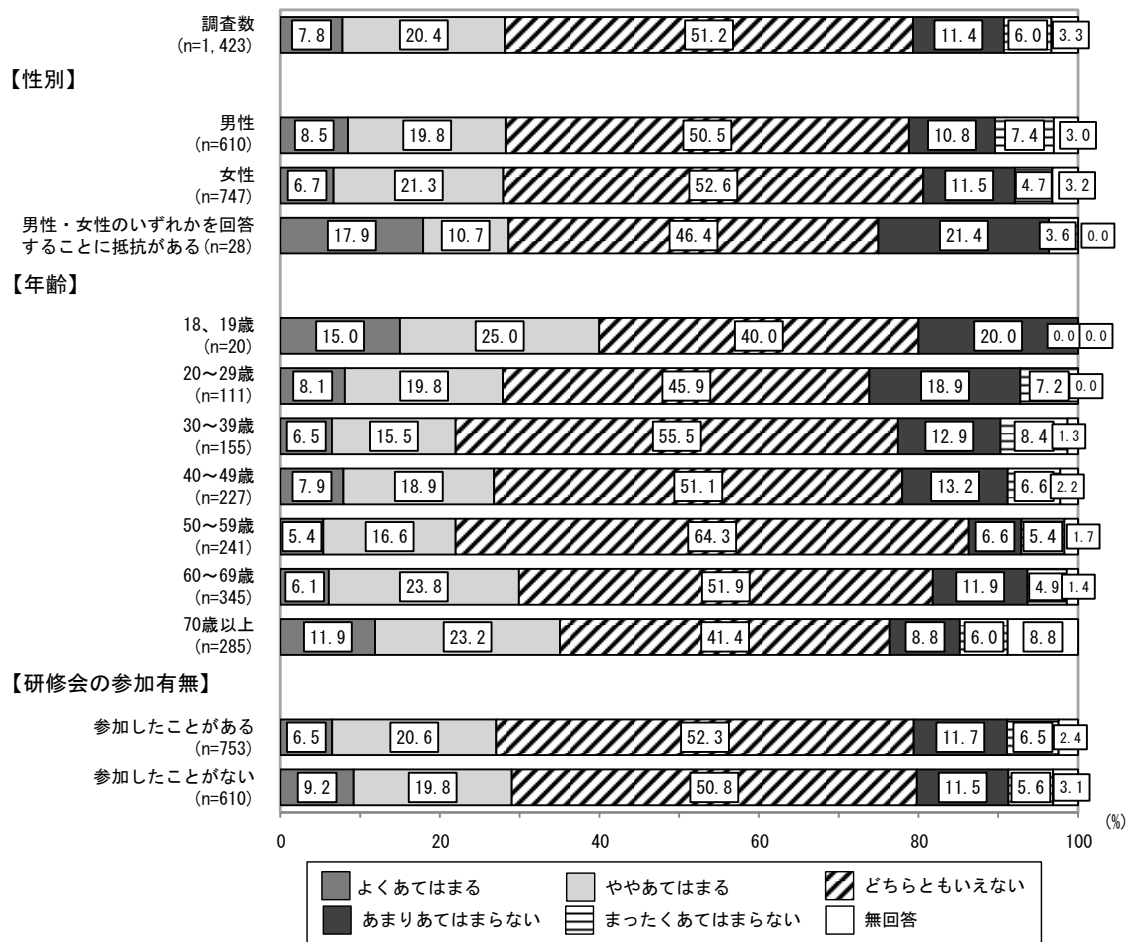
【年齢】

年齢別で見ると、18、19歳では「よくあてはまる」と「どちらともいえない」が最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、参加したことがあるでは44.6%、参加したことがないでは34.3%となっている。

[カ 家族が、寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること]



【全体】

「どちらともいえない」が51.2%と最も高く、次いで、「ややあてはまる」が20.4%、「あまりあてはまらない」が11.4%、「よくあてはまる」が7.8%、「まったくあてはまらない」が6.0%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらともいえない」が高く、男性では50.5%、女性では52.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは46.4%となっている。

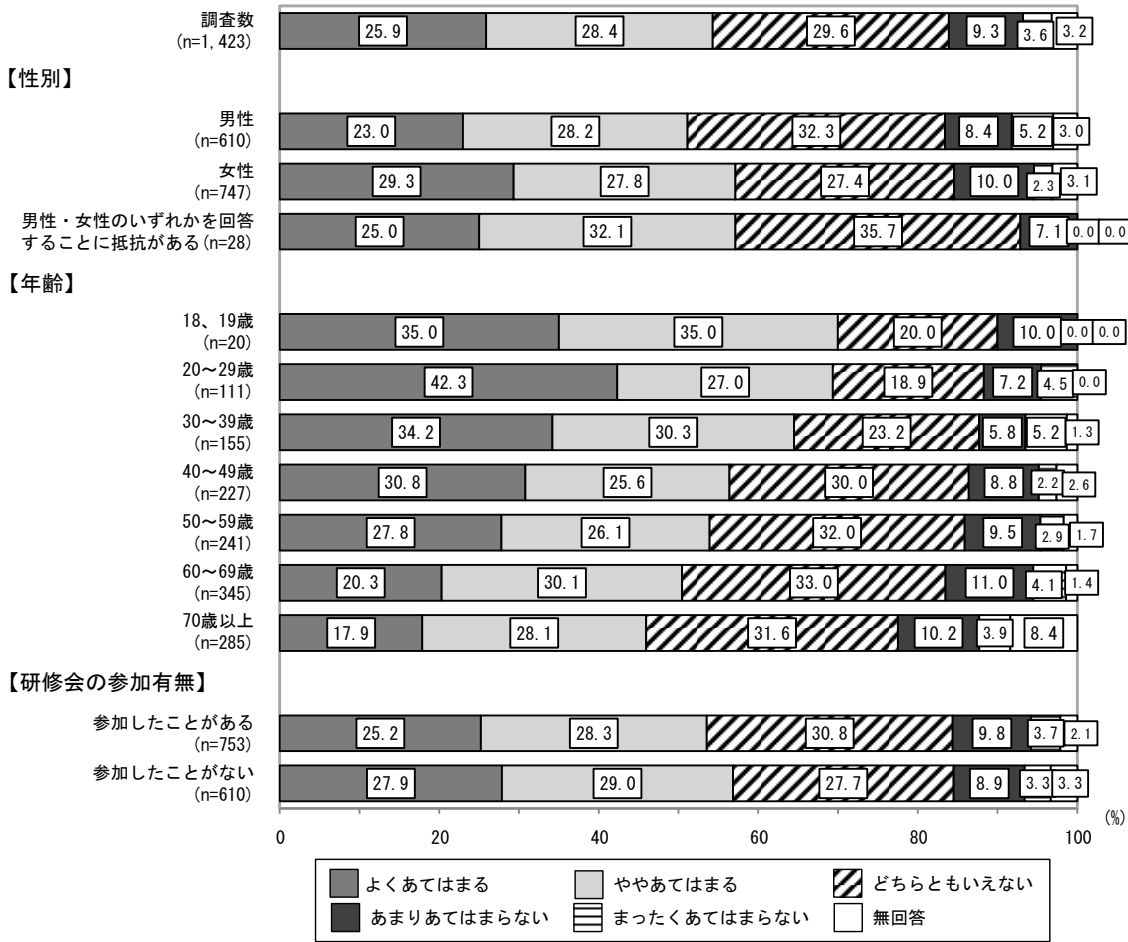
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらともいえない」が高く、参加したことがあるでは52.3%、参加したことがないでは50.8%となっている。

〔キ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出したからだ」、「スキがあったからだ」
などと周囲が非難すること〕



【全体】

「どちらともいえない」が29.6%と最も高く、次いで、「ややあてはまる」が28.4%、「よくあてはまる」が25.9%、「あまりあてはまらない」が9.3%、「まったくあてはまらない」が3.6%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」がそれぞれ32.3%、35.7%と最も高く、女性では「よくあてはまる」が29.3%と最も高くなっている。

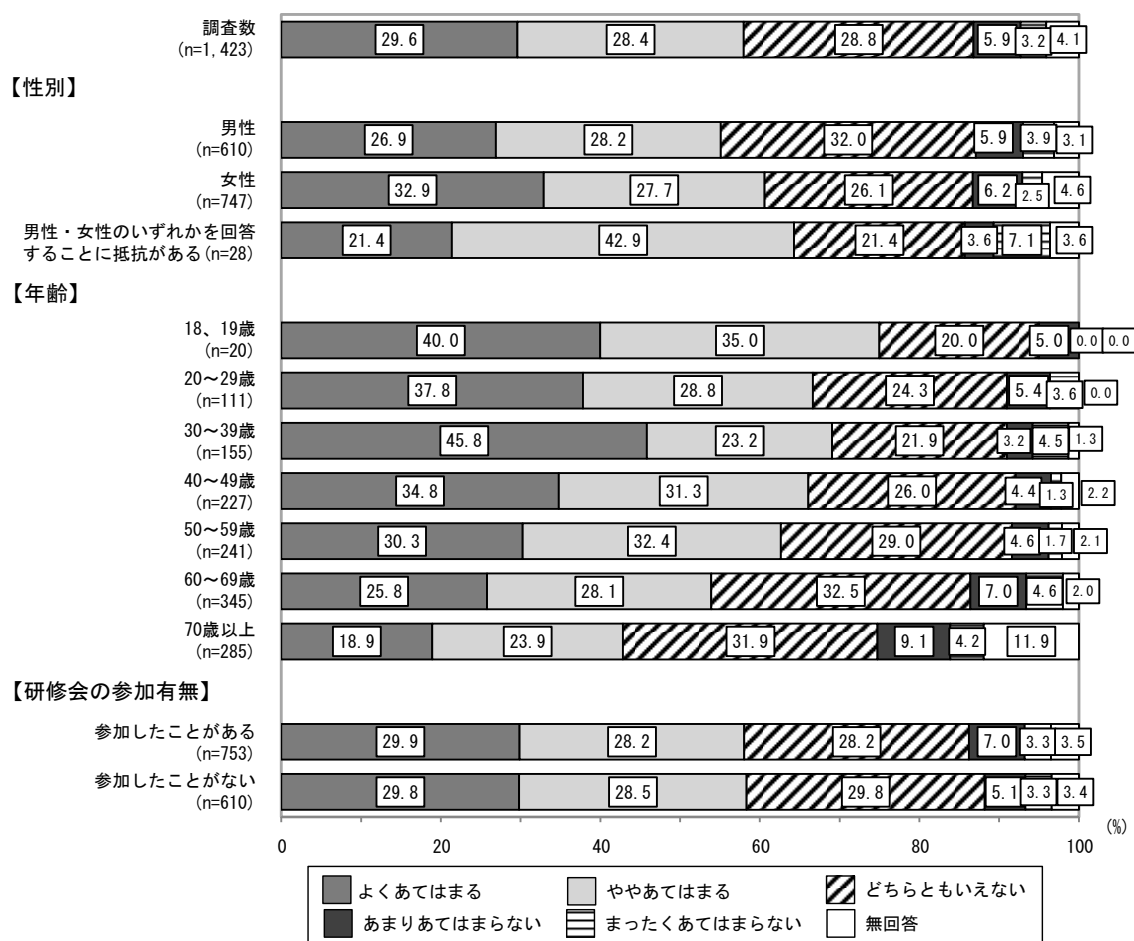
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「よくあてはまる」と「ややあてはまる」が35.0%と高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「どちらともいえない」が30.8%と最も高く、参加したことがないでは「ややあてはまる」が29.0%と最も高くなっている。

〔ク HIV（エイズウイルス）感染を理由に労働者が採用されなかったり解雇されたりすること〕



【全体】

「よくあてはまる」が29.6%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が28.8%、「ややあてはまる」が28.4%、「あまりあてはまらない」が5.9%、「まったくあてはまらない」が3.2%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「どちらともいえない」が32.0%と最も高く、女性では「よくあてはまる」が32.9%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「ややあてはまる」が42.9%と最も高くなっている。

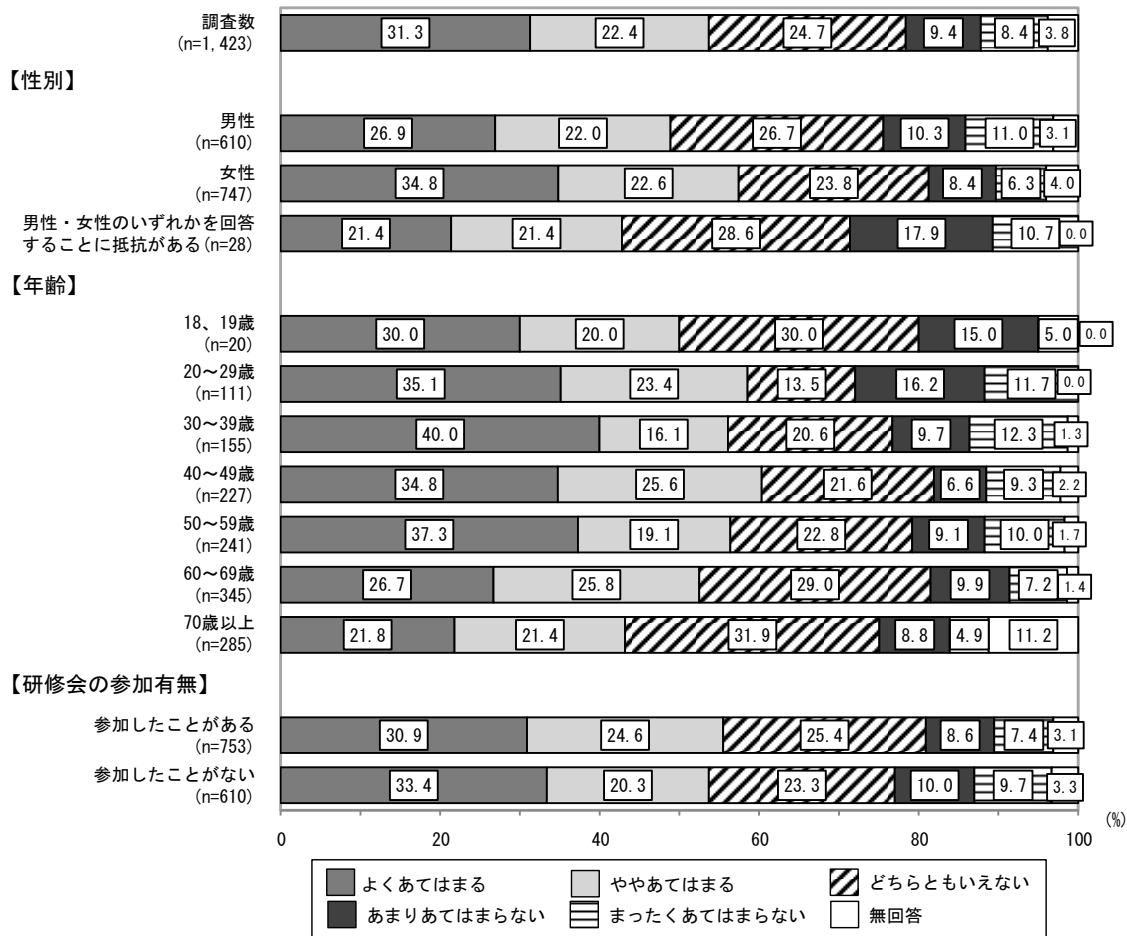
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、50～59歳では「ややあてはまる」が最も高く、60～69歳、70歳以上では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、参加したことがあるでは29.9%、参加したことがないでは29.8%となっている。

〔ケ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること〕



【全体】

「よくあてはまる」が31.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が24.7%、「ややあてはまる」が22.4%、「あまりあてはまらない」が9.4%、「まったくあてはまらない」が8.4%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性では「よくあてはまる」がそれぞれ26.9%、34.8%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が28.6%と最も高くなっている。

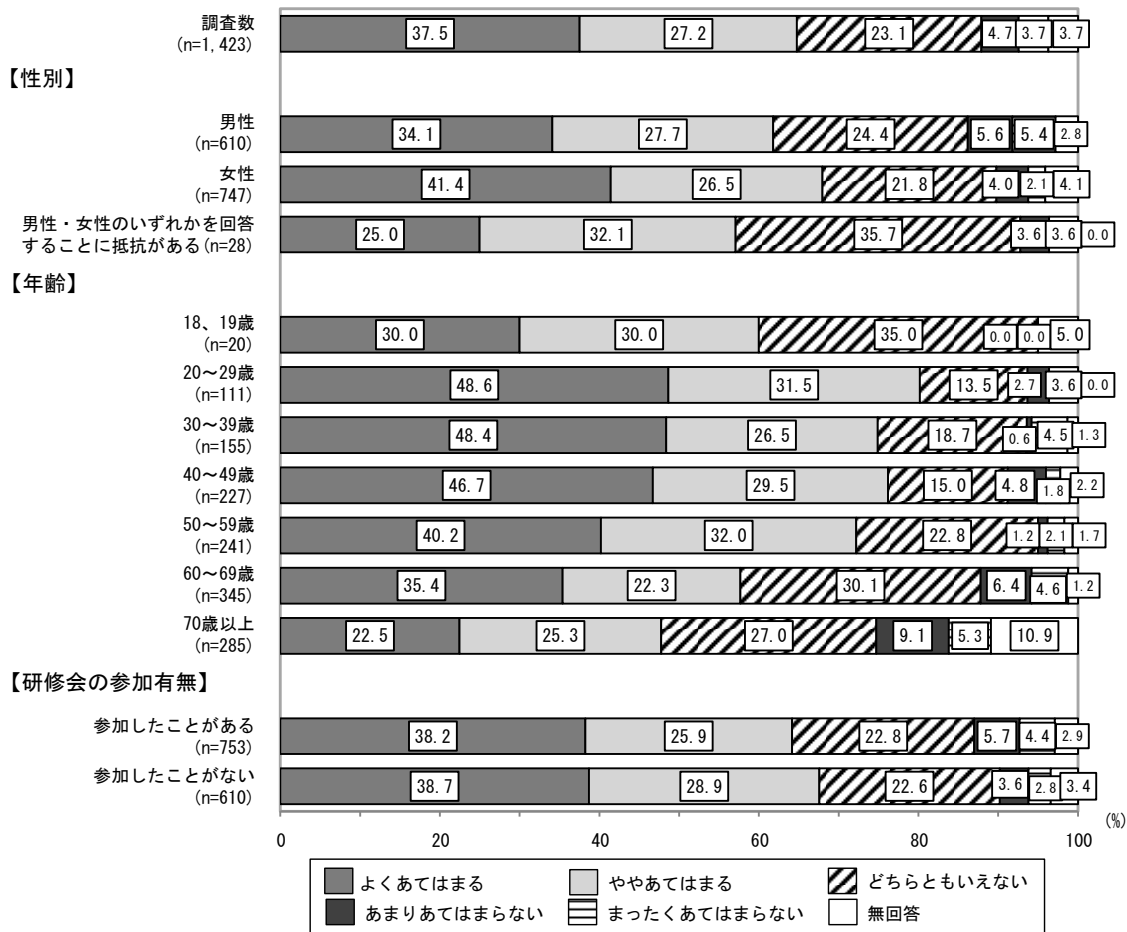
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「よくあてはまる」と「どちらともいえない」が高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、60～69歳、70歳以上では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、参加したことがあるでは30.9%、参加したことがないでは33.4%となっている。

〔コ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して
不利益を受けること〕



【全体】

「よくあてはまる」が37.5%と最も高く、次いで、「ややあてはまる」が27.2%、「どちらともいえない」が23.1%、「あまりあてはまらない」が4.7%、「まったくあてはまらない」が3.7%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性では「よくあてはまる」がそれぞれ34.1%、41.4%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらともいえない」が35.7%と最も高くなっている。

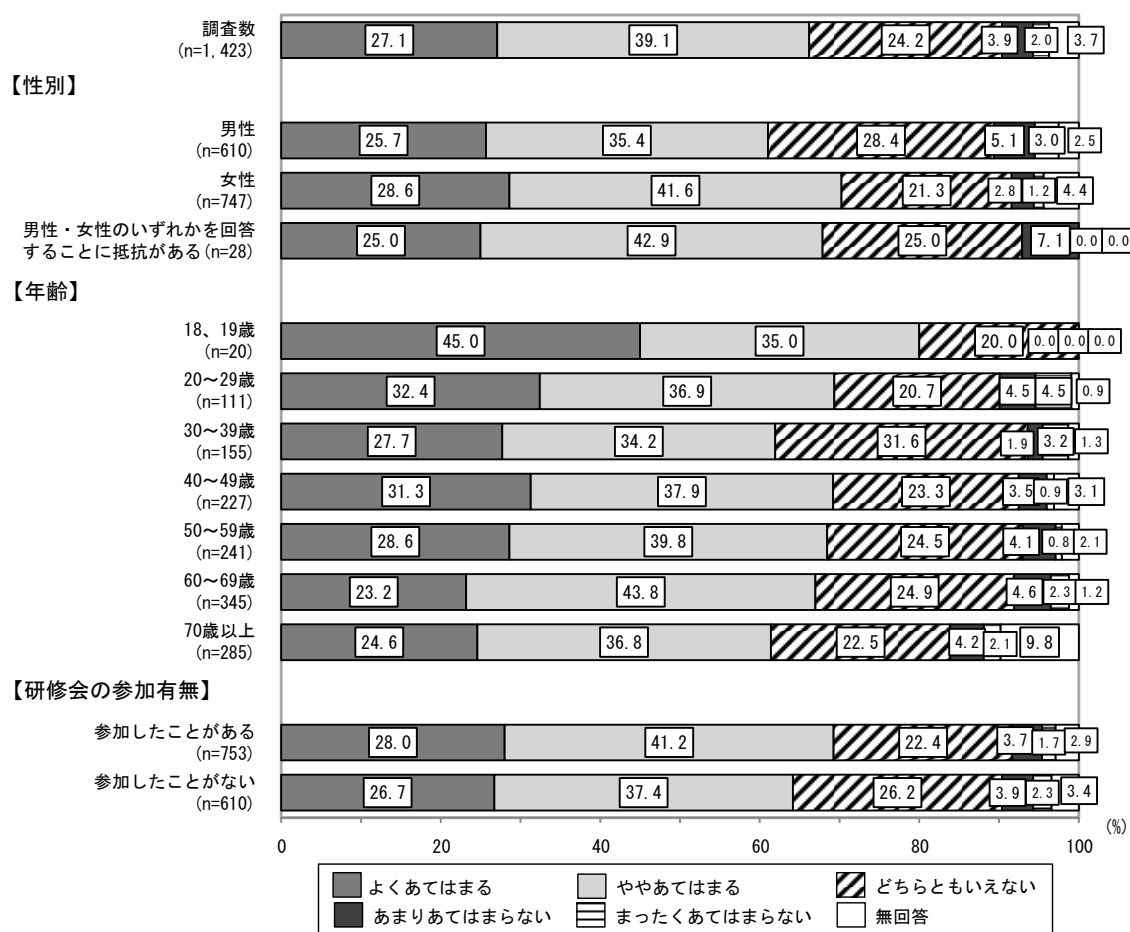
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、70歳以上では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会有無別でみると、すべてのカテゴリーで「よくあてはまる」が高く、参加したことがあるでは38.2%、参加したことがないでは38.7%となっている。

〔サ 知的障害者や精神障害者、身体障害者の雇用が進まないこと〕



【全体】

「ややあてはまる」が39.1%と最も高く、次いで、「よくあてはまる」が27.1%、「どちらともいえない」が24.2%、「あまりあてはまらない」が3.9%、「まったくあてはまらない」が2.0%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリーで「ややあてはまる」が高く、男性では35.4%、女性では41.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

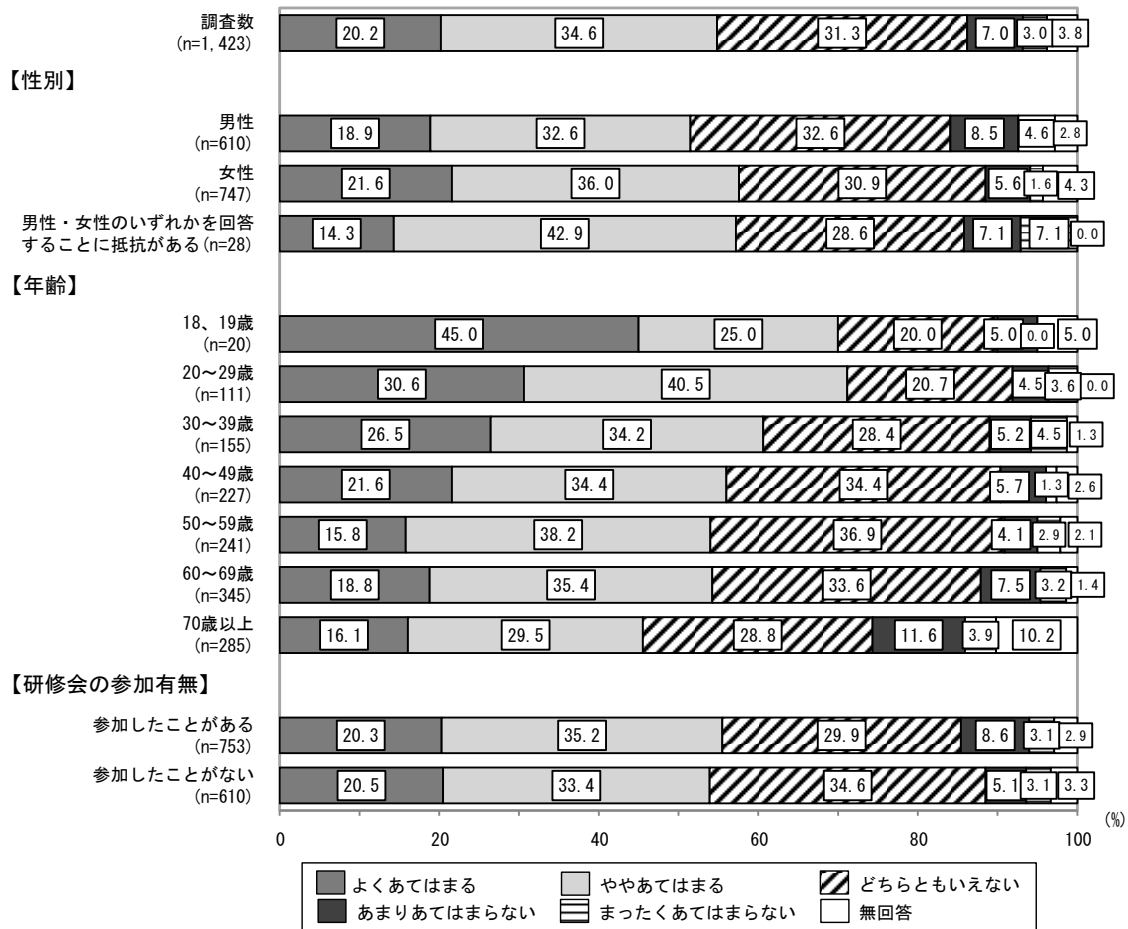
【年齢】

年齢別で見ると、18、19歳では「よくあてはまる」が最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリーで「ややあてはまる」が高く、参加したことがあるでは41.2%、参加したことがないでは37.4%となっている。

[シ 外国人であることを理由に、賃貸住宅への入居が拒否されること]



【全体】

「ややあてはまる」が34.6%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が31.3%、「よくあてはまる」が20.2%、「あまりあてはまらない」が7.0%、「まったくあてはまらない」が3.0%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「ややあてはまる」と「どちらともいえない」が32.6%と最も高く、女性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「ややあてはまる」がそれぞれ36.0%、42.9%と最も高くなっている。

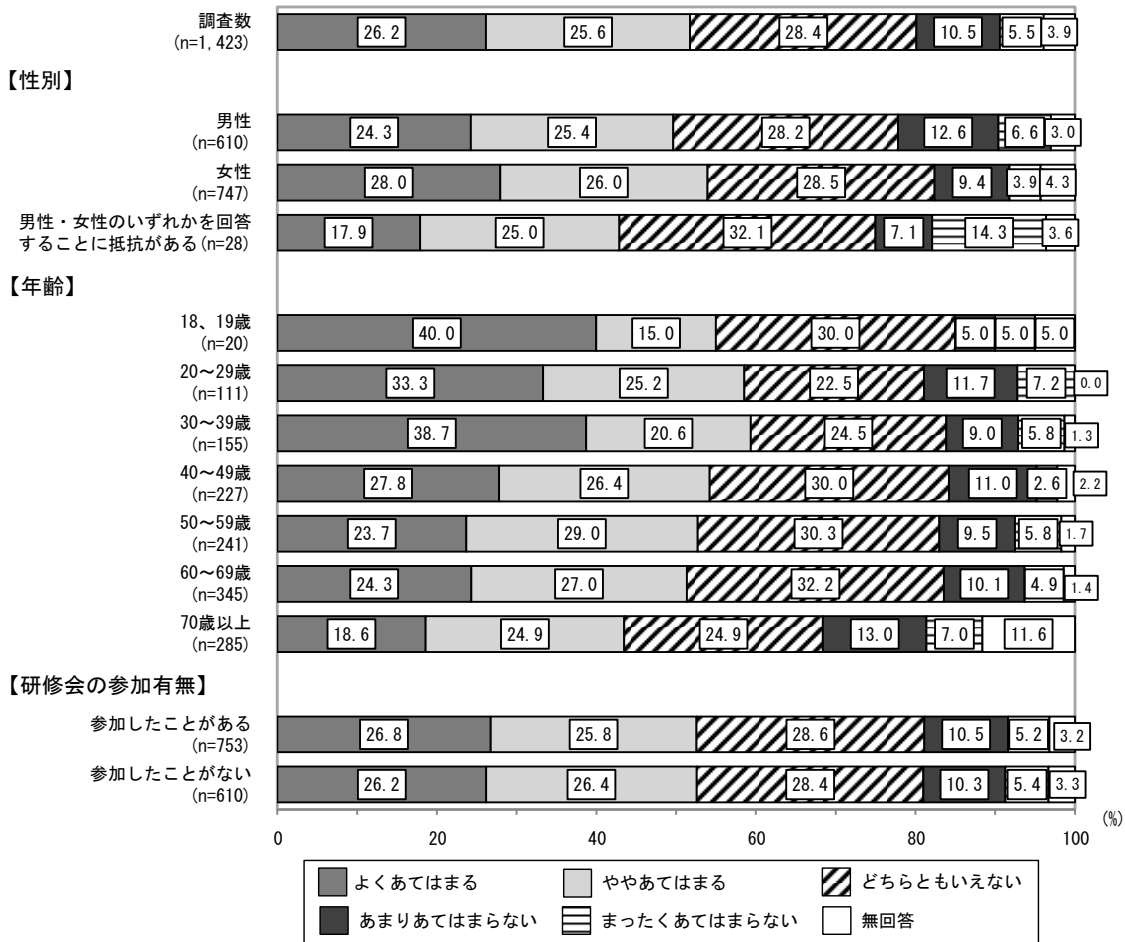
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「よくあてはまる」が最も高く、20～29歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ややあてはまる」がそれぞれ最も高く、40～49歳では「ややあてはまる」と「どちらともいえない」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「ややあてはまる」が35.2%と最も高く、参加したことがないでは「どちらともいえない」が34.6%と最も高くなっている。

〔ス 女性にだけ再婚禁止期間が設けられること〕



【全体】

「どちらともいえない」が28.4%と最も高く、次いで、「よくあてはまる」が26.2%、「ややあてはまる」が25.6%、「あまりあてはまらない」が10.5%、「まったくあてはまらない」が5.5%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリで「どちらともいえない」が高く、男性では28.2%、女性では28.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは32.1%となっている。

【年齢】

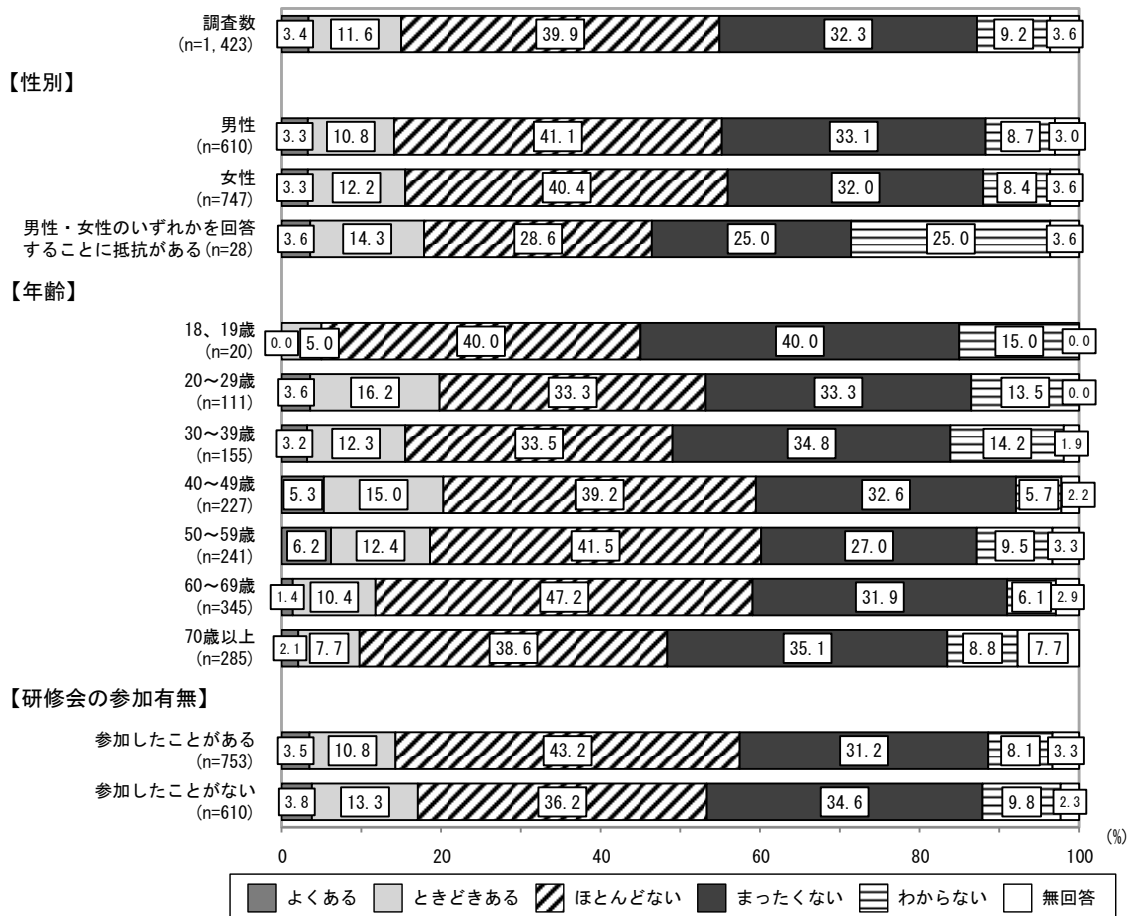
年齢別で見ると、18、19歳、20～29歳、30～39歳では「よくあてはまる」がそれぞれ最も高く、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「どちらともいえない」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「ややあてはまる」と「どちらともいえない」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリで「どちらともいえない」が高く、参加したことがあるでは28.6%、参加したことがないでは28.4%となっている。

(4) 人権侵害を受けた経験の有無

問4 あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○は1つ)



【全体】

人権侵害を受けた経験の有無についてみると、「ほとんどない」が39.9%と最も高く、次いで、「まったくない」が32.3%、「ときどきある」が11.6%、「よくある」が3.4%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「ほとんどない」が高く、男性では41.1%、女性では40.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは28.6%となっている。

【年齢】

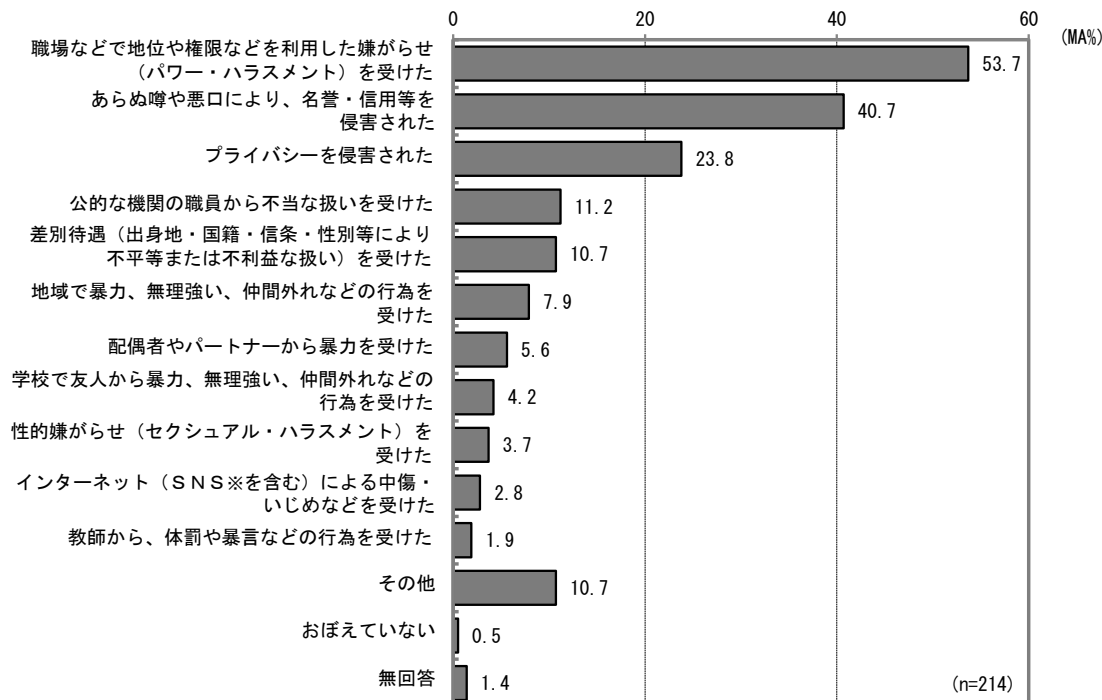
年齢別でみると、18、19歳では「ほとんどない」と「まったくない」が高く、20～29歳では「ほとんどない」と「まったくない」が高く、30～39歳では「まったくない」が最も高く、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「ほとんどない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「ほとんどない」が高く、参加したことがあるでは43.2%、参加したことがないでは36.2%となっている。

(5) 人権侵害を受けた経験の内容

問4-1 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
それはどのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)



【全体】

人権侵害を受けた経験の内容についてみると、「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ (パワー・ハラスメント) を受けた」が 53.7% と最も高く、次いで、「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」が 40.7%、「プライバシーを侵害された」が 23.8%、「公的な機関の職員から不当な扱いを受けた」が 11.2%、「差別待遇 (出身地・国籍・信条・性別等により不平等または不利益な扱い) を受けた」が 10.7% となっている。

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことを言います。

分類/回答	調査数	職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた	あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された	差別的待遇（出身地・国籍・信条・性別等による不平等または不利益な扱い）を受けた	プライバシーを侵害された	地域で暴力、無理強いの行為を受けた	学校で友人から暴力、無理強い、仲間外れの行為を受けた	教師から、体罰や暴言などの行為を受けた	公的な機関の職員から不当な扱いを受けた	配偶者やパートナーから暴力を受けた	性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	インターネット（SNSを含む）による中傷・いじめなどを受けた	その他	おぼえていない	無回答
調査数	100.0	53.7	40.7	10.7	23.8	7.9	4.2	1.9	11.2	5.6	3.7	2.8	10.7	0.5	1.4
性別															
男性	100.0	57.0	41.9	9.3	25.6	8.1	5.8	1.2	16.3	3.5	-	3.5	10.5	-	3.5
女性	100.0	52.6	38.8	8.6	23.3	6.9	2.6	1.7	6.0	6.9	6.0	0.9	10.3	0.9	-
男性・女性のいずれかを回答することに抵抗がある	100.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-
無回答	100.0	28.6	57.1	57.1	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-
性別年代															
調査数	100.0	53.7	40.7	10.7	23.8	7.9	4.2	1.9	11.2	5.6	3.7	2.8	10.7	0.5	1.4
男性18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性20歳代	100.0	62.5	25.0	-	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	-	37.5	-	-
男性30歳代	100.0	76.9	38.5	23.1	15.4	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性40歳代	100.0	52.9	64.7	5.9	11.8	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	11.8	5.9	-	11.8
男性50歳代	100.0	63.2	42.1	10.5	31.6	10.5	10.5	-	21.1	-	-	-	10.5	-	5.3
男性60歳代	100.0	61.1	27.8	5.6	27.8	11.1	5.6	-	27.8	5.6	-	-	16.7	-	-
男性70歳代以上	100.0	10.0	40.0	10.0	50.0	10.0	-	-	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-
女性18、19歳	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	100.0	57.1	28.6	14.3	28.6	-	7.1	-	21.4	-	7.1	-	-	-	-
女性30歳代	100.0	54.5	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	18.2	-	-	9.1	-
女性40歳代	100.0	55.6	51.9	7.4	33.3	-	-	3.7	7.4	7.4	11.1	3.7	3.7	-	-
女性50歳代	100.0	68.0	36.0	12.0	16.0	8.0	-	-	4.0	8.0	-	-	20.0	-	-
女性60歳代	100.0	50.0	31.8	4.5	22.7	4.5	-	-	4.5	9.1	-	-	9.1	-	-
女性70歳代以上	100.0	25.0	50.3	6.3	25.0	31.3	6.3	-	-	12.5	6.3	-	25.0	-	-
抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある40歳代	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
抵抗がある50歳代	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある70歳代以上	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	100.0	37.5	62.5	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-
研修会															
調査数	100.0	53.7	40.7	10.7	23.8	7.9	4.2	1.9	11.2	5.6	3.7	2.8	10.7	0.5	1.4
参加したことがある	100.0	52.3	41.1	12.1	22.4	10.3	2.8	2.8	8.4	7.5	4.7	3.7	11.2	-	-
参加したことがない	100.0	55.8	41.3	9.6	25.0	5.8	5.8	1.0	14.4	3.8	1.9	1.9	10.6	1.0	1.9
無回答	100.0	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた」が高く、男性では57.0%、女性では52.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは60.0%となっている。

【性別年代】

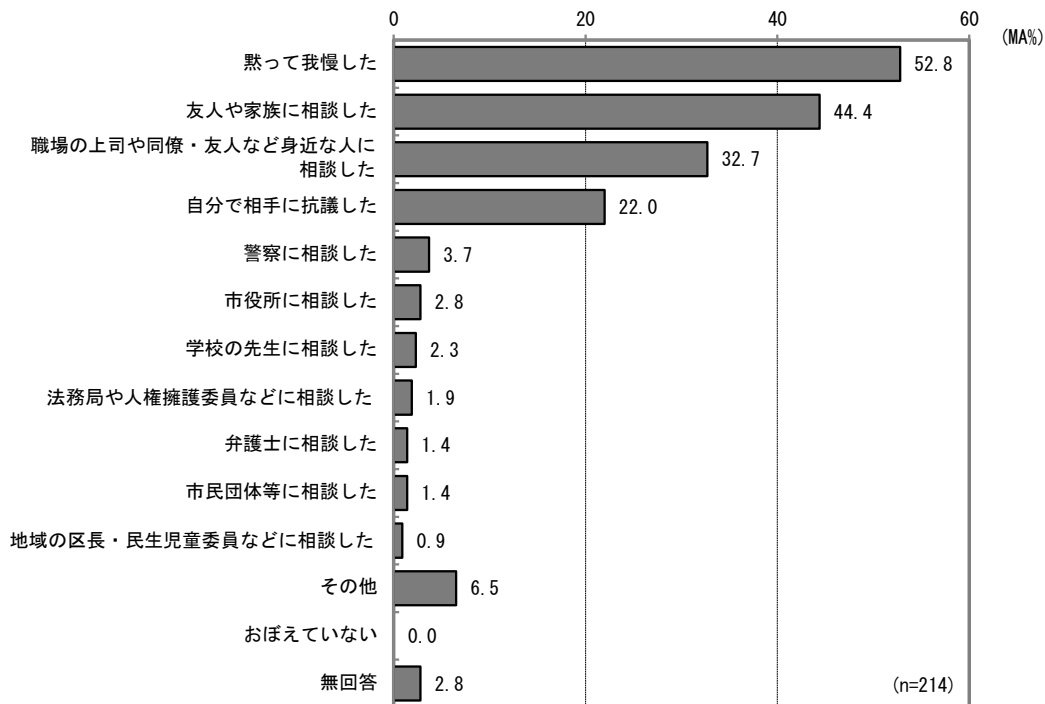
性別年代別でみると、男性20歳代、男性30歳代、男性50歳代、男性60歳代、女性20歳代、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、抵抗がある50歳代、抵抗がある70歳代以上では「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた」がそれぞれ最も高く、男性40歳代、女性70歳代以上では「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」がそれぞれ最も高く、男性70歳代以上では「プライバシーを侵害された」が最も高く、女性18、19歳では「教師から、体罰や暴言などの行為を受けた」が最も高く、抵抗がある40歳代では「公的な機関の職員から不当な扱いを受けた」と「インターネット（SNSを含む）による中傷・いじめなどを受けた」が高く、抵抗がある60歳代では「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」と「プライバシーを侵害された」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた」が高く、参加したことがあるでは52.3%、参加したことがないでは55.8%となっている。

(6) 人権侵害を受けた経験の対応

問4-2 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)



【全体】

人権侵害を受けた経験の対応についてみると、「黙って我慢した」が52.8%と最も高く、次いで、「友人や家族に相談した」が44.4%、「職場の上司や同僚・友人など身近な人に相談した」が32.7%、「自分で相手に抗議した」が22.0%、「警察に相談した」が3.7%となっている。

分類/回答	調査数	黙って我慢した	友人や家族に相談した	自分で相手に抗議した	職場の上司や同僚・友人など身近な人に相談した	学校の先生に相談した	警察に相談した	市役所に相談した	弁護士に相談した	法務局や人権擁護委員などに相談した	地域の区長・民生児童委員などに相談した	市民団体等に相談した	その他	おぼえていない	無回答
調査数	100.0	52.8	44.4	22.0	32.7	2.3	3.7	2.8	1.4	1.9	0.9	1.4	6.5	-	2.8
性別年代															
男性18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性20歳代	100.0	50.0	62.5	25.0	37.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-
男性30歳代	100.0	53.8	53.8	23.1	46.2	-	-	7.7	-	-	-	-	7.7	-	-
男性40歳代	100.0	41.2	35.3	23.5	41.2	-	5.9	-	-	-	-	-	5.9	-	5.9
男性50歳代	100.0	68.4	21.1	31.6	36.8	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	21.1	-	-
男性60歳代	100.0	72.2	11.1	22.2	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性70歳代以上	100.0	60.0	10.0	-	-	-	20.0	-	-	10.0	-	-	10.0	-	-
女性18、19歳	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	100.0	50.0	71.4	-	28.6	-	7.1	7.1	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	100.0	36.4	72.7	27.3	54.5	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	9.1
女性40歳代	100.0	48.1	63.0	25.9	33.3	3.7	7.4	3.7	-	-	-	-	-	-	3.7
女性50歳代	100.0	60.0	44.0	24.0	40.0	4.0	-	-	-	-	-	-	8.0	-	-
女性60歳代	100.0	45.5	40.9	13.6	40.9	-	-	4.5	-	-	-	4.5	4.5	-	4.5
女性70歳代以上	100.0	50.0	37.5	25.0	18.8	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	6.3
抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある40歳代	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある50歳代	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある70歳代以上	100.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	100.0	37.5	50.0	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5
研修会															
調査数	100.0	52.8	44.4	22.0	32.7	2.3	3.7	2.8	1.4	1.9	0.9	1.4	6.5	-	2.8
参加したことがある	100.0	57.9	43.9	26.2	38.3	2.8	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9	2.8	4.7	-	0.9
参加したことがない	100.0	48.1	46.2	18.3	27.9	1.9	2.9	1.9	1.0	1.0	-	-	8.7	-	3.8
無回答	100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3

【性別年代】

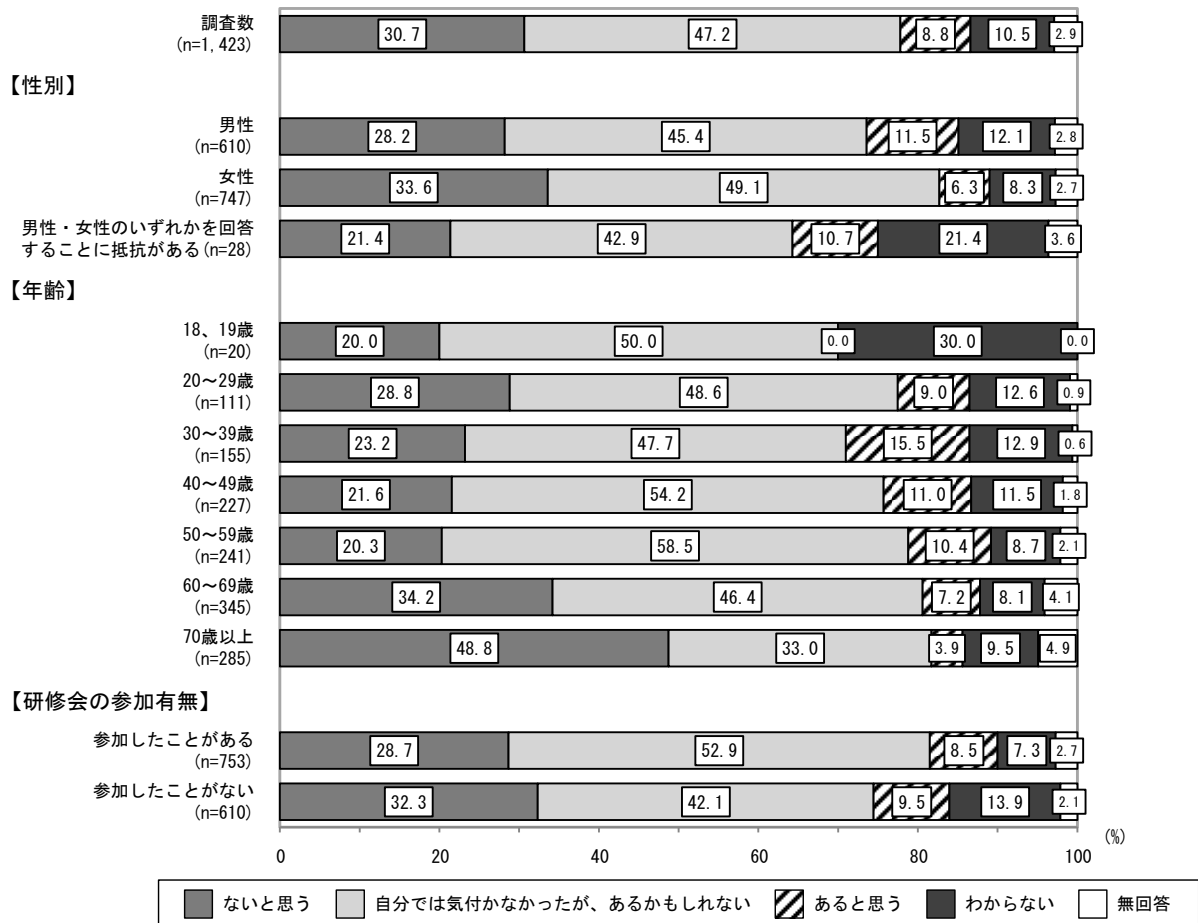
性別年代別でみると、男性20歳代、女性18、19歳、女性20歳代、女性30歳代、女性40歳代、抵抗がある60歳代、抵抗がある70歳代以上では「友人や家族に相談した」がそれぞれ最も高く、男性30歳代では「黙って我慢した」と「友人や家族に相談した」が高く、男性40歳代では「黙って我慢した」と「職場の上司や同僚・友人など身近な人に相談した」が高く、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳代以上、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある50歳代では「黙って我慢した」がそれぞれ最も高く、抵抗がある40歳代では「黙って我慢した」と「友人や家族に相談した」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「黙って我慢した」が高く、参加したことがあるでは57.9%、参加したことがないでは48.1%となっている。

(7) 人権侵害をした経験の有無

問5 あなたは今までに人権侵害をしたことがあると思いますか。(○は1つ)



【全体】

人権侵害をした経験の有無についてみると、「自分では気付かなかったが、あるかもしれない」が47.2%と最も高く、次いで、「ないと思う」が30.7%、「あると思う」が8.8%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「自分では気付かなかったが、あるかもしれない」が高く、男性では45.4%、女性では49.1%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「自分では気付かなかったが、あるかもしれない」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「ないと思う」が最も高くなっている。

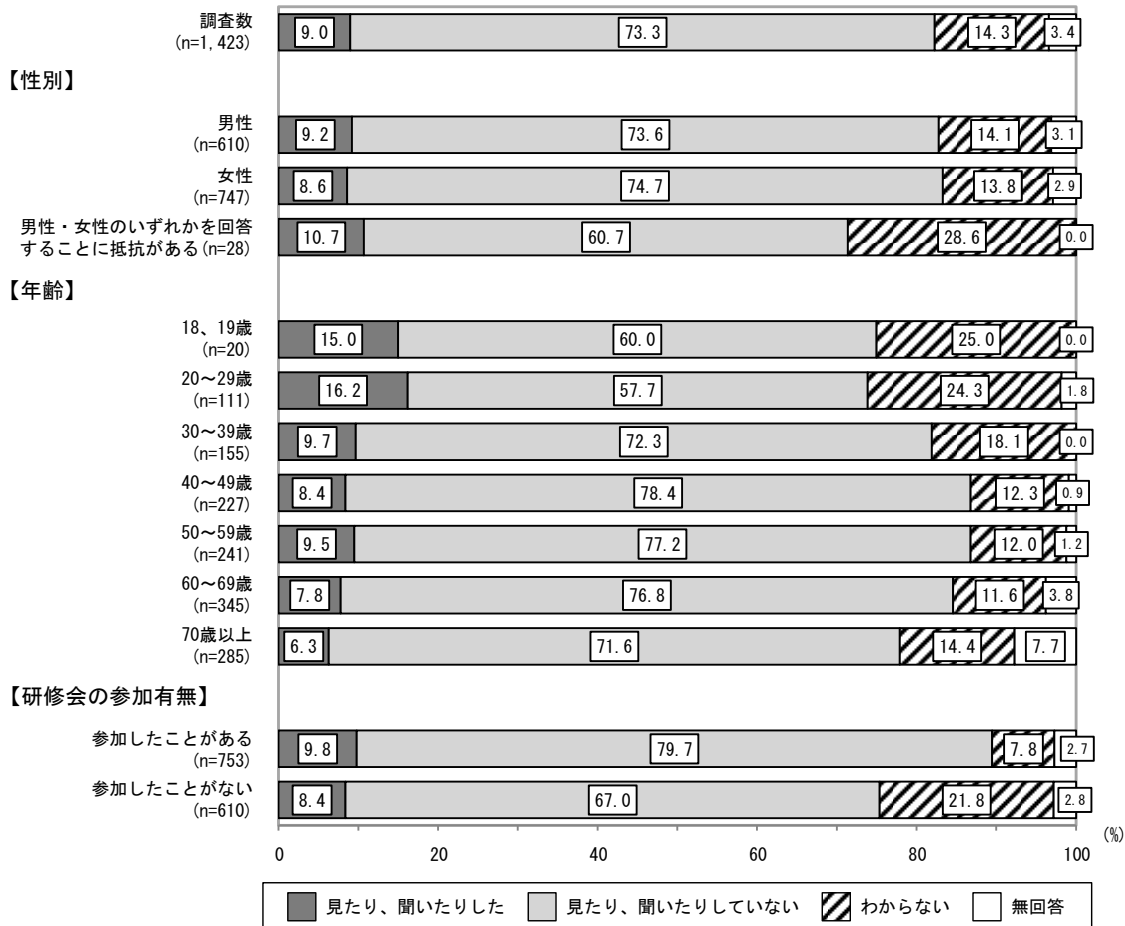
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「自分では気付かなかったが、あるかもしれない」が高く、参加したことがあるでは52.9%、参加したことがないでは42.1%となっている。

(8) 同和地区や同和地区の人々に対する差別を見たり聞いたりした経験

問6 あなたは、ここ5年くらいの間に、同和地区や同和地区の人々に対して、次のことについて直接差別を見たり、聞いたりしたことがありますか。ア～オのそれぞれについてあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

〔ア 日常の交流や交際について〕



【全体】

「見たり、聞いたりしていない」が73.3%と最も高く、次いで、「見たり、聞いたりした」が9.0%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリで「見たり、聞いたりしていない」が高く、男性では73.6%、女性では74.7%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは60.7%となっている。

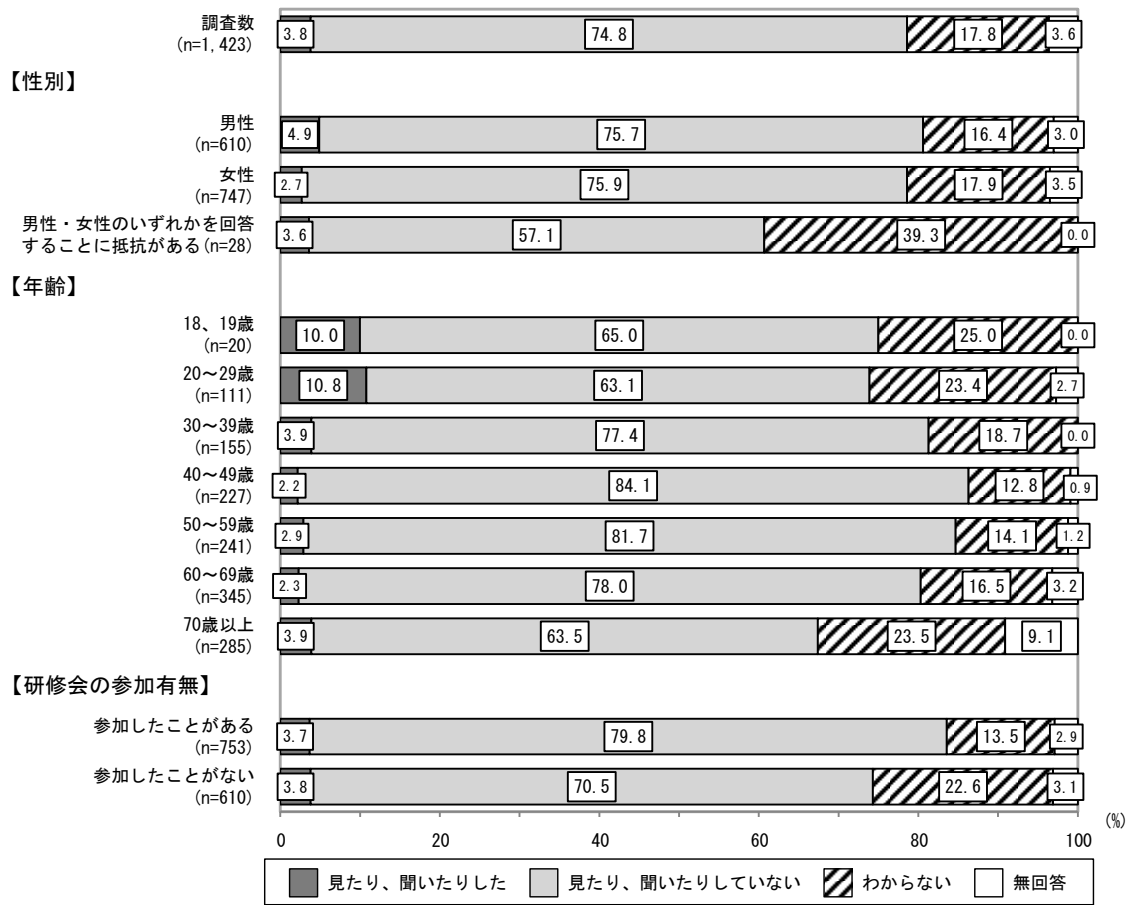
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリで「見たり、聞いたりしていない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「見たり、聞いたりしていない」が高く、参加したことがあるでは79.7%、参加したことがないでは67.0%となっている。

【イ 就職について】



【全体】

「見たり、聞いたりしていない」が74.8%と最も高く、次いで、「見たり、聞いたりした」が3.8%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、男性では75.7%、女性では75.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは57.1%となっている。

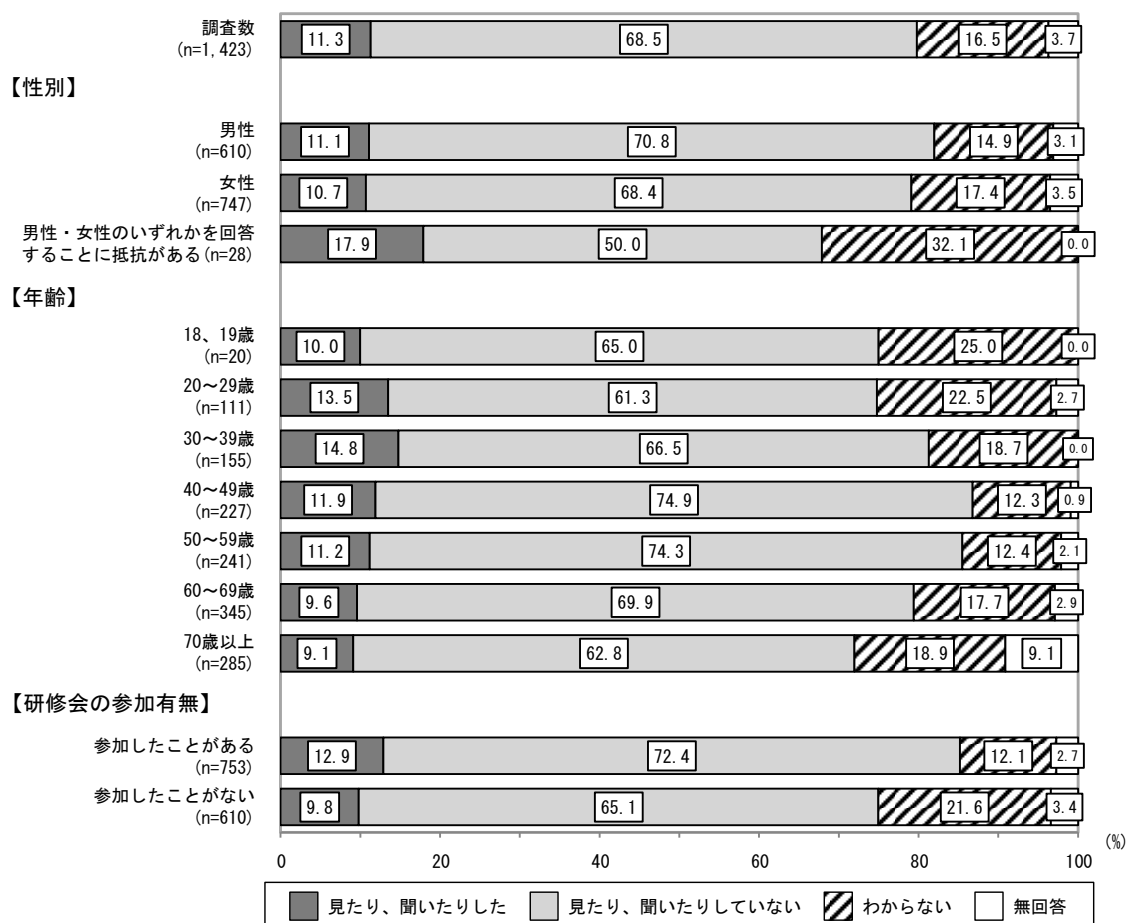
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、参加したことがあるでは79.8%、参加したことがないでは70.5%となっている。

〔ウ 結婚について〕



【全体】

「見た、聞いた」が11.3%と最も高く、次いで、「見て、聞いていない」が68.5%と最も高く、次いで、「見た、聞いた」が11.3%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「見て、聞いていない」が高く、男性では70.8%、女性では68.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは50.0%となっている。

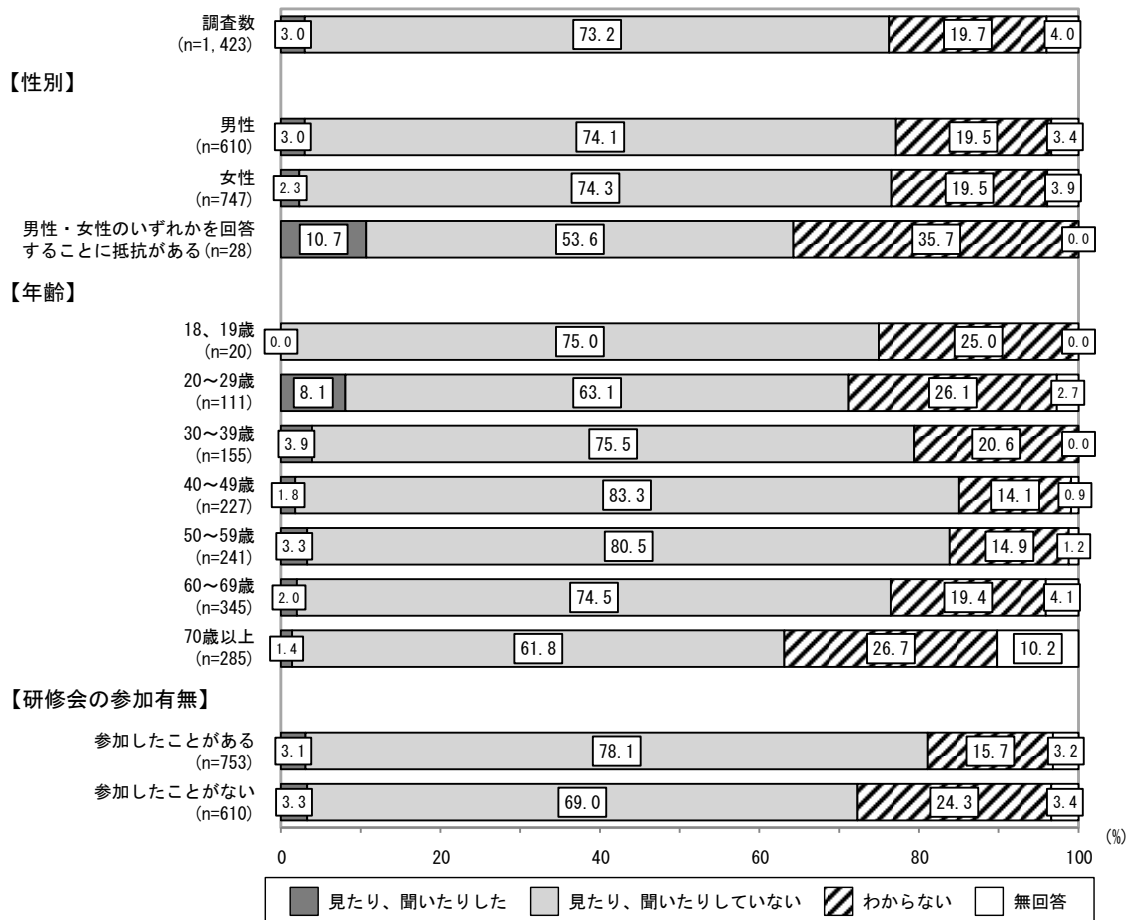
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「見て、聞いていない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「見て、聞いていない」が高く、参加したことがあるでは72.4%、参加したことがないでは65.1%となっている。

〔エ 引越しや住宅の購入について〕



【全体】

「見たり、聞いたりしていない」が73.2%と最も高く、次いで、「見たり、聞いたりした」が3.0%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、男性では74.1%、女性では74.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは53.6%となっている。

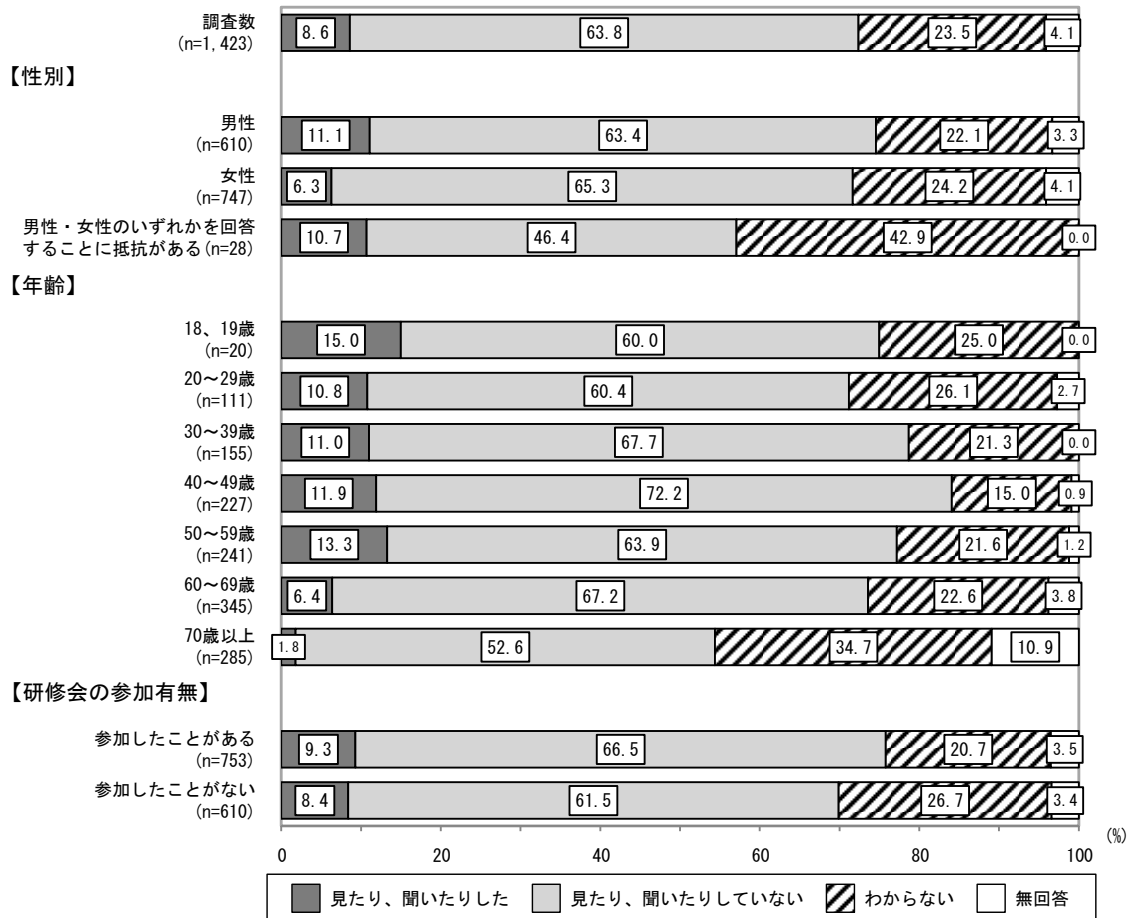
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、参加したことがあるでは78.1%、参加したことがないでは69.0%となっている。

〔オ インターネットを介した差別的な情報〕



【全体】

「見たり、聞いたりしていない」が63.8%と最も高く、次いで、「見たり、聞いたりした」が8.6%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、男性では63.4%、女性では65.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは46.4%となっている。

【年齢】

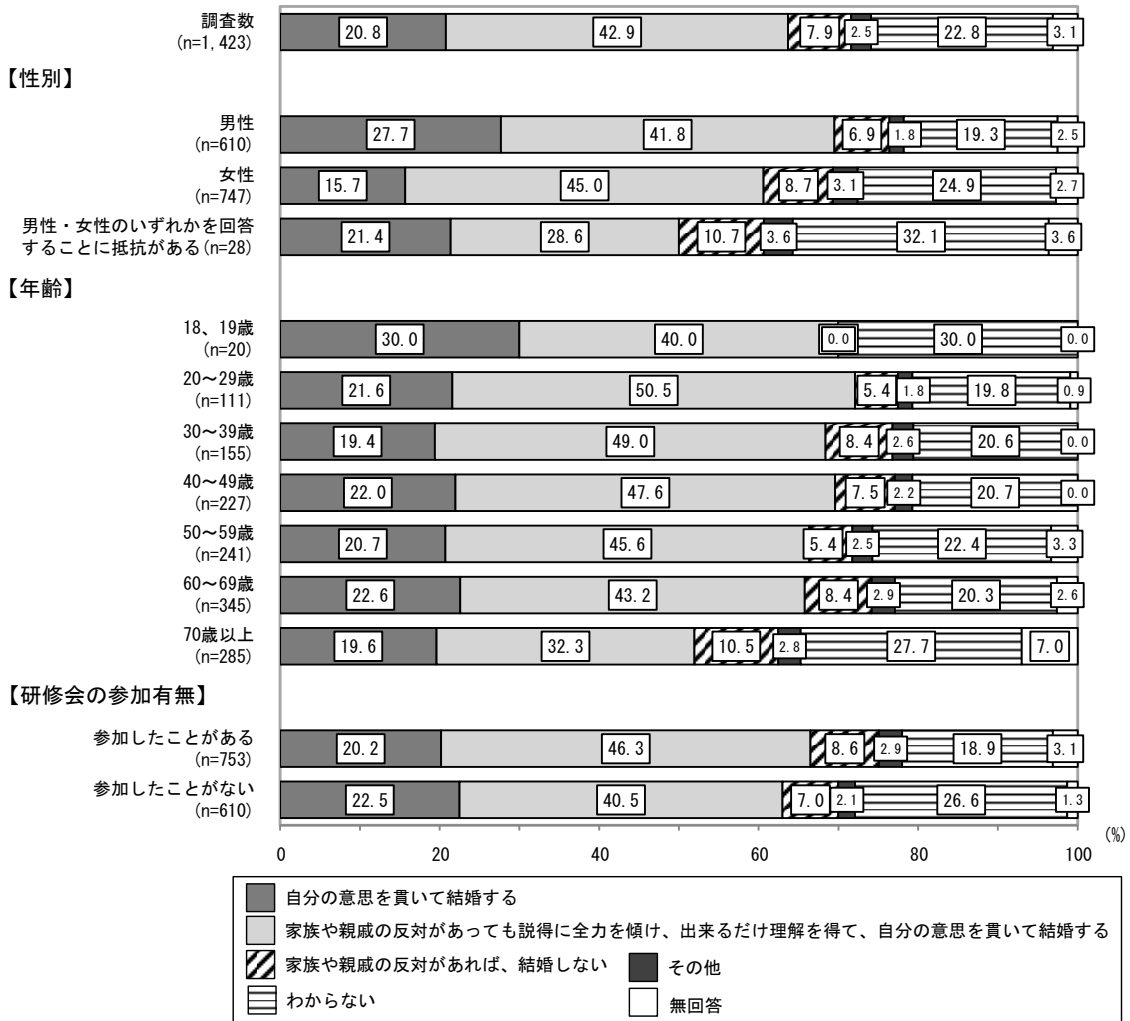
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「見たり、聞いたりしていない」が高く、参加したことがあるでは66.5%、参加したことがないでは61.5%となっている。

(9) 自身の結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応

問7 たとえば、あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)



【全体】

自身の結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応についてみると、「家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が42.9%と最も高く、次いで、「自分の意思を貫いて結婚する」が20.8%、「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」が7.9%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が高く、男性では41.8%、女性では45.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは28.6%となっている。

【年齢】

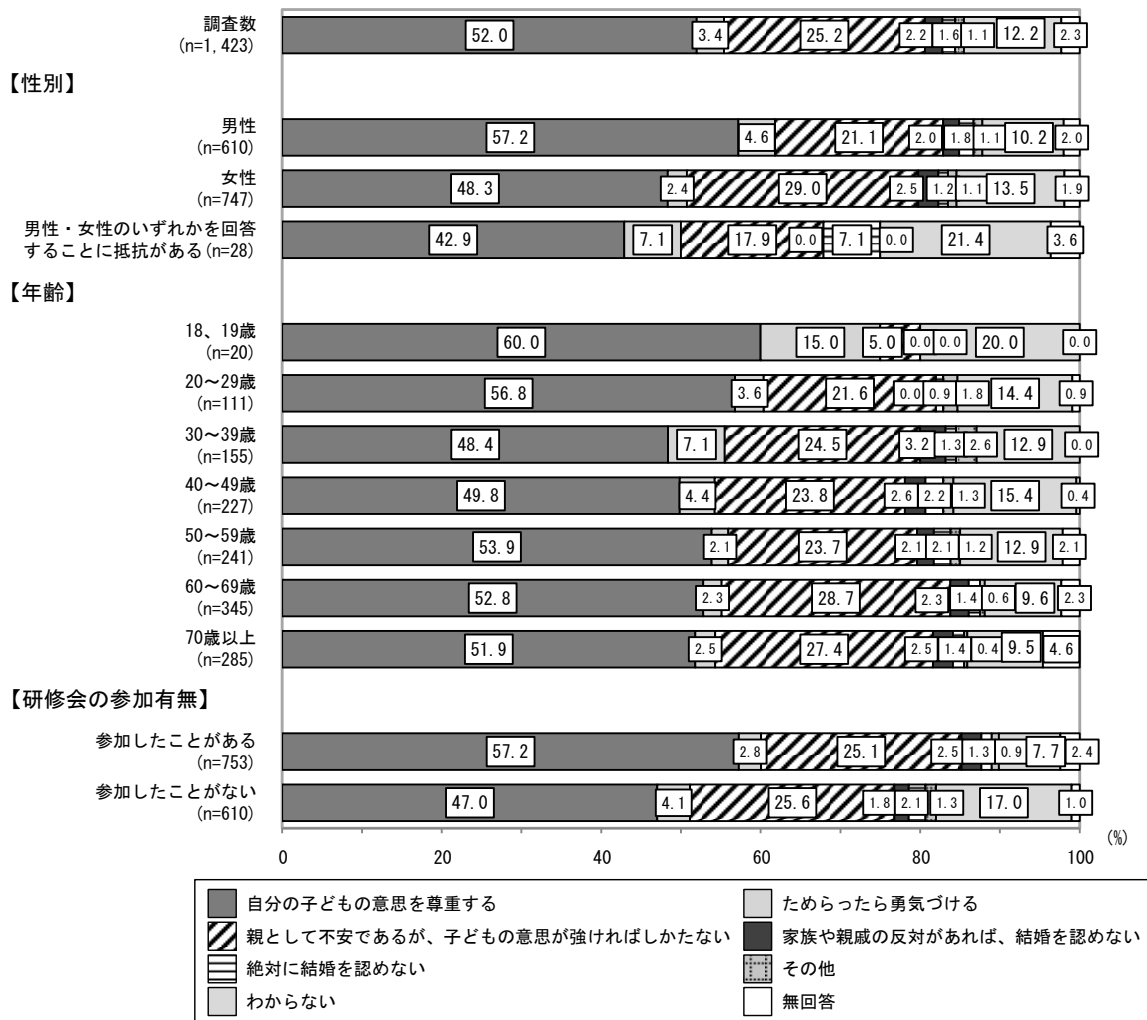
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が高く、参加したことがあるでは46.3%、参加したことがないでは40.5%となっている。

(10) 子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応

問8 たとえば、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。
 (○は1つ)
 (お子さんがいない場合はいと仮定して)



【全体】

子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応についてみると、「自分の子どもの意思を尊重する」が52.0%と最も高く、次いで、「親として不安であるが、子どもの意思が強ければしかたない」が25.2%、「ためらったら勇気づける」が3.4%、「家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない」が2.2%、「絶対に結婚を認めない」が1.6%となっている。

【性別】

性別にみると、すべてのカテゴリーで「自分の子どもの意思を尊重する」が高く、男性では57.2%、女性では48.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

【年齢】

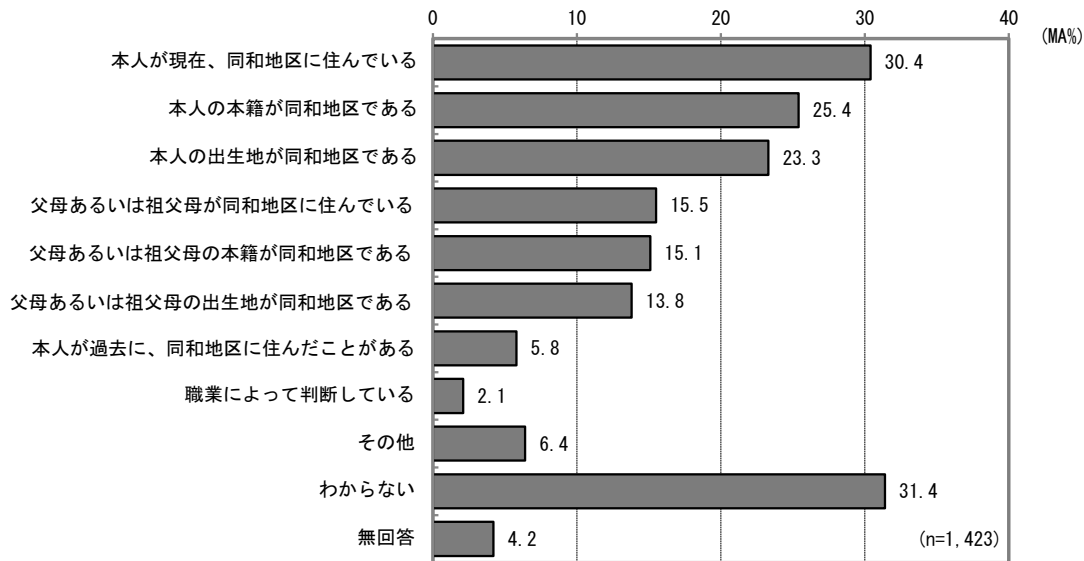
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「自分の子どもの意思を尊重する」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「自分の子どもの意思を尊重する」が高く、参加したことがあるでは57.2%、参加したことがないでは47.0%となっている。

(11) 結婚相手が「同和地区出身者」とであると判断する基準

問9 結婚相手が「同和地区出身者」であるかどうか、あなたは何を基準に判断すると思いますか。あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)



【全体】

結婚相手が「同和地区出身者」とであると判断する基準についてみると、「本人が現在、同和地区に住んでいる」が30.4%と最も高く、次いで、「本人の本籍が同和地区である」が25.4%、「本人の出生地が同和地区である」が23.3%、「父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる」が15.5%、「父母あるいは祖父母の本籍が同和地区である」が15.1%となっている。

分類／回答		調査数	に本人が現在、同和地区	区本人が過去に、同和地区	で本人の本籍が同和地区	区本人の出生地が同和地区	同父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる	本籍が同和地区である	父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である	職業によって判断している	その他	わからない	無回答	
年齢	調査数	100.0	30.4	5.8	25.4	23.3	15.5	15.1	13.8	2.1	6.4	31.4	4.2	
	18、19歳	100.0	15.0	-	15.0	15.0	15.0	10.0	-	-	-	75.0	-	
	20～29歳	100.0	20.7	7.2	27.9	21.6	8.1	6.3	8.1	4.5	5.4	41.4	0.9	
	30～39歳	100.0	30.3	6.5	21.9	27.7	16.8	16.1	10.3	1.9	9.0	34.2	-	
	40～49歳	100.0	33.9	7.5	25.6	25.6	18.1	14.1	13.2	1.8	7.9	31.3	1.3	
	50～59歳	100.0	35.3	8.7	34.4	20.7	18.7	18.7	12.4	2.1	5.4	27.8	2.5	
	60～69歳	100.0	31.0	4.3	24.1	21.7	15.4	16.8	18.3	2.0	8.1	26.1	6.4	
	70歳以上	100.0	28.8	3.5	21.4	24.9	12.6	14.7	14.7	1.8	3.9	31.2	8.4	
	無回答	100.0	20.5	2.6	20.5	20.5	17.9	10.3	17.9	2.6	2.6	41.0	10.3	
性別年代	調査数	100.0	30.4	5.8	25.4	23.3	15.5	15.1	13.8	2.1	6.4	31.4	4.2	
	男性18、19歳	100.0	22.2	-	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	-	66.7	-	
	男性20歳代	100.0	19.1	10.6	25.5	21.3	4.3	6.4	6.4	6.4	6.4	42.6	-	
	男性30歳代	100.0	25.8	9.1	16.7	30.3	12.1	12.1	9.1	-	9.1	45.5	-	
	男性40歳代	100.0	35.2	8.8	17.6	18.7	9.9	9.9	9.9	3.3	5.5	37.4	3.3	
	男性50歳代	100.0	33.6	8.2	35.5	19.1	17.3	20.0	10.9	2.7	6.4	25.5	3.6	
	男性60歳代	100.0	27.4	5.7	23.6	22.9	12.1	14.0	15.3	1.9	10.2	28.7	5.1	
	男性70歳代以上	100.0	28.3	2.4	28.3	26.0	11.8	13.4	15.0	0.8	4.7	28.3	5.5	
	女性18、19歳	100.0	9.1	-	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-	81.8	-	
	女性20歳代	100.0	21.9	4.7	29.7	21.9	10.9	6.3	9.4	3.1	4.7	40.6	1.6	
	女性30歳代	100.0	33.7	3.5	23.3	25.6	19.8	18.6	10.5	2.3	9.3	26.7	-	
	女性40歳代	100.0	33.9	6.3	30.7	29.9	24.4	17.3	15.7	-	10.2	26.0	-	
	女性50歳代	100.0	36.2	9.4	33.9	22.0	19.7	17.3	13.4	1.6	4.7	29.9	1.6	
	女性60歳代	100.0	33.1	2.8	24.3	19.9	17.7	18.8	20.4	2.2	6.6	23.2	7.7	
	女性70歳代以上	100.0	28.4	4.7	14.9	23.6	12.8	15.5	14.2	2.7	3.4	35.1	10.1	
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	100.0	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
	抵抗がある40歳代	100.0	25.0	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-	50.0	-	-
	抵抗がある50歳代	100.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	-	-	42.9	-	-	
抵抗がある70歳代以上	100.0	33.3	-	50.0	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	
無回答	100.0	22.7	2.3	18.2	25.0	20.5	11.4	18.2	2.3	2.3	36.4	13.6		
研修会	調査数	100.0	30.4	5.8	25.4	23.3	15.5	15.1	13.8	2.1	6.4	31.4	4.2	
	参加したことがある	100.0	30.9	4.6	27.5	22.7	15.3	16.1	15.1	2.1	7.8	26.0	4.9	
	参加したことがない	100.0	30.8	7.0	24.3	24.9	16.7	14.8	12.8	2.3	4.8	36.9	2.0	
	無回答	100.0	18.3	6.7	10.0	15.0	5.0	6.7	8.3	-	5.0	43.3	18.3	

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「本人が現在、同和地区に住んでいる」と「本人の本籍が同和地区である」、「本人の出生地が同和地区である」、「父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる」が15.0%と最も高く、20～29歳では「本人の本籍が同和地区である」が27.9%と最も高く、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「本人が現在、同和地区に住んでいる」がそれぞれ30.3%、33.9%、35.3%、31.0%、28.8%と最も高くなっている。

【性別年代】

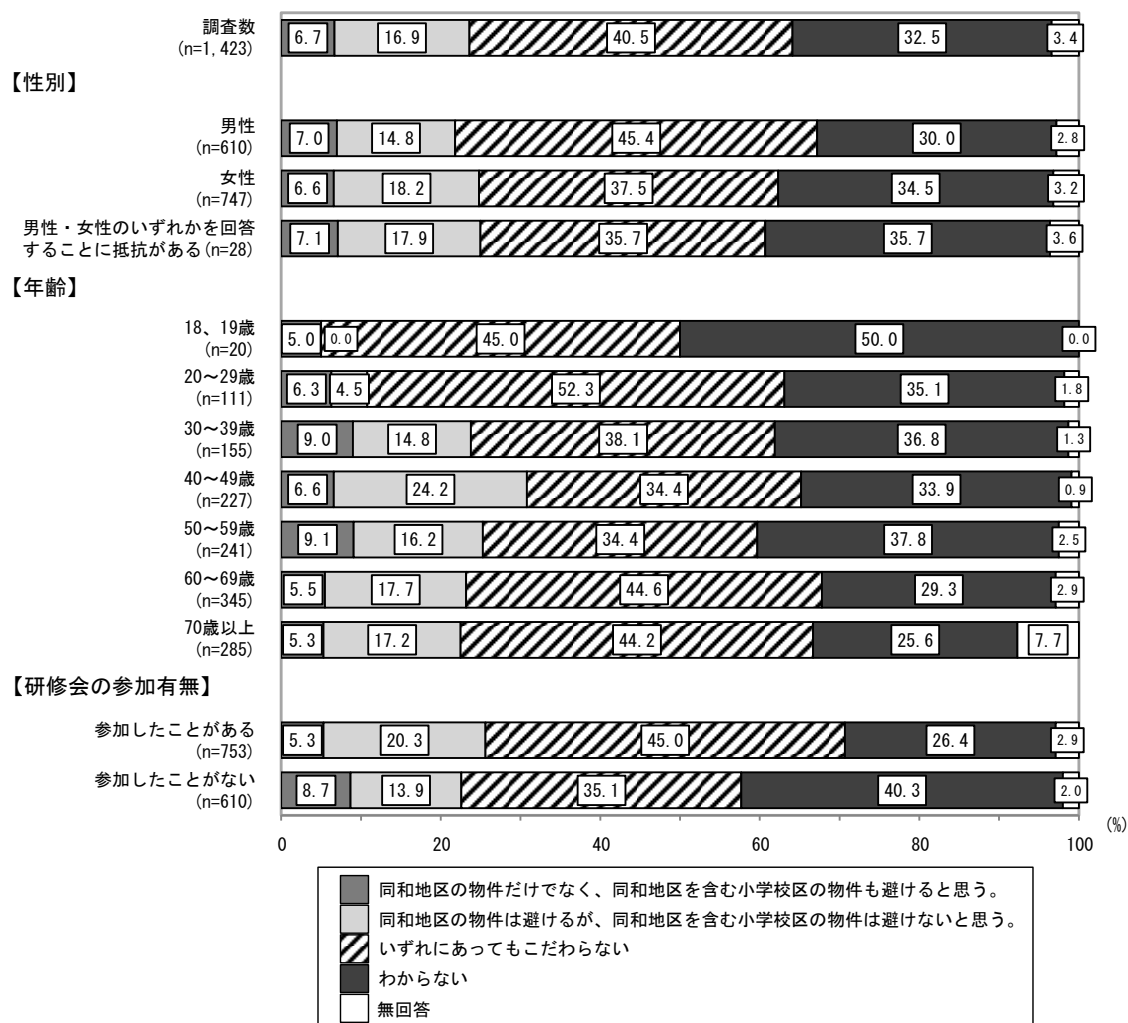
性別年代別でみると、男性18、19歳、男性20歳代、男性50歳代、女性20歳代、抵抗がある30歳代、抵抗がある40歳代、抵抗がある70歳代以上では「本人の本籍が同和地区である」がそれぞれ最も高く、男性30歳代では「本人の出生地が同和地区である」が最も高く、男性40歳代、男性60歳代、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある50歳代、抵抗がある60歳代では「本人が現在、同和地区に住んでいる」がそれぞれ最も高く、男性70歳代以上では「本人が現在、同和地区に住んでいる」と「本人の本籍が同和地区である」が高く、女性18、19歳では「本人が現在、同和地区に住んでいる」と「本人の出生地が同和地区である」、「父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる」、「父母あるいは祖父母の本籍が同和地区である」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「本人が現在、同和地区に住んでいる」が高く、参加したことがあるでは30.9%、参加したことがないでは30.8%となっている。

(12) 住宅を選ぶ際に同和地区を避けるかどうかの判断

問 10 もしあなたが家を購入したりマンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区を含む小学校区内の物件は避けることがありますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)



【全体】

住宅を選ぶ際に同和地区を避けるかどうかの判断についてみると、「いずれにあってもこだわらない」が40.5%と最も高く、次いで、「同和地区の物件は避けるが、同和地区を含む小学校区の物件は避けたいと思う。」が16.9%、「同和地区の物件だけでなく、同和地区を含む小学校区の物件も避けると思う。」が6.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「いずれにあってもこだわらない」が高く、男性では45.4%、女性では37.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは35.7%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「いずれにあってもこだわらない」が最も高くなっている。

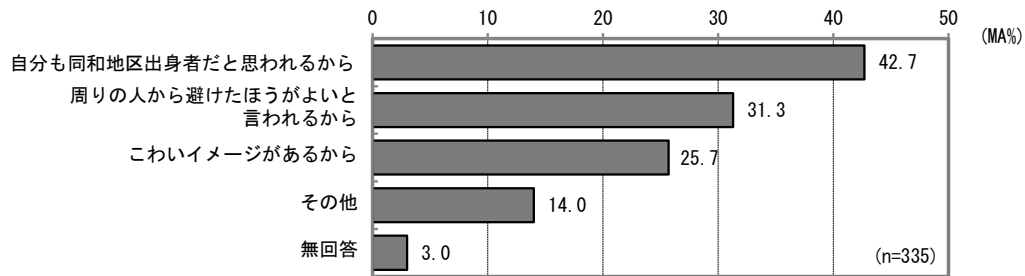
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「いずれにあってもこだわらない」が高く、参加したことがあるでは45.0%、参加したことがないでは35.1%となっている。

(13) そのように考える理由

問 10-1 問 10 で「1」「2」と回答された方にお聞きします。

あなたはなぜそのように思いますか。(〇はいくつでも)



【全体】

そのように考える理由についてみると、「自分も同和地区出身者だと思われるから」が 42.7%と最も高く、次いで、「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」が 31.3%、「こわいイメージがあるから」が 25.7%となっている。

分類/回答		調査数	から こわい イメージ がある	だ 自分 とも 思わ れる か ら 出 身 者	ら 周 り の 人 か ら 避 け た ほ	そ の 他	無 回 答
年齢	調査数	100.0	25.7	42.7	31.3	14.0	3.0
	18、19歳	100.0	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	100.0	33.3	50.0	25.0	16.7	-
	30～39歳	100.0	48.6	29.7	27.0	13.5	-
	40～49歳	100.0	31.4	40.0	34.3	15.7	2.9
	50～59歳	100.0	16.4	37.7	32.8	23.0	1.6
	60～69歳	100.0	21.3	46.3	33.8	10.0	3.8
	70歳以上	100.0	21.9	53.1	23.4	9.4	6.3
	無回答	100.0	10.0	40.0	50.0	10.0	-
性別年代	調査数	100.0	25.7	42.7	31.3	14.0	3.0
	男性18、19歳	-	-	-	-	-	-
	男性20歳代	100.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-
	男性30歳代	100.0	50.0	18.8	25.0	25.0	-
	男性40歳代	100.0	25.0	50.0	25.0	25.0	5.0
	男性50歳代	100.0	19.2	34.6	34.6	26.9	-
	男性60歳代	100.0	21.2	36.4	33.3	9.1	6.1
	男性70歳代以上	100.0	24.2	57.6	27.3	9.1	-
	女性18、19歳	100.0	-	-	100.0	-	-
	女性20歳代	100.0	37.5	50.0	25.0	12.5	-
	女性30歳代	100.0	50.0	35.0	30.0	5.0	-
	女性40歳代	100.0	34.0	36.2	36.2	10.6	2.1
	女性50歳代	100.0	14.3	40.0	31.4	20.0	2.9
	女性60歳代	100.0	20.0	53.3	33.3	11.1	2.2
	女性70歳代以上	100.0	17.9	53.6	17.9	10.7	10.7
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	100.0	-	100.0	-	-	-
	抵抗がある40歳代	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	-
	抵抗がある50歳代	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	
抵抗がある70歳代以上	100.0	-	-	100.0	-	-	
無回答	100.0	16.7	33.3	41.7	8.3	8.3	
研修会	調査数	100.0	25.7	42.7	31.3	14.0	3.0
	参加したことがある	100.0	18.7	45.6	31.6	17.1	2.6
	参加したことがない	100.0	35.5	37.7	31.9	10.1	3.6
	無回答	100.0	25.0	75.0	-	-	-

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」が100.0%と最も高く、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「自分も同和地区出身者だと思われるから」がそれぞれ50.0%、40.0%、37.7%、46.3%、53.1%と最も高く、30～39歳では「こわいイメージがあるから」が48.6%と最も高くなっている。

【性別年代】

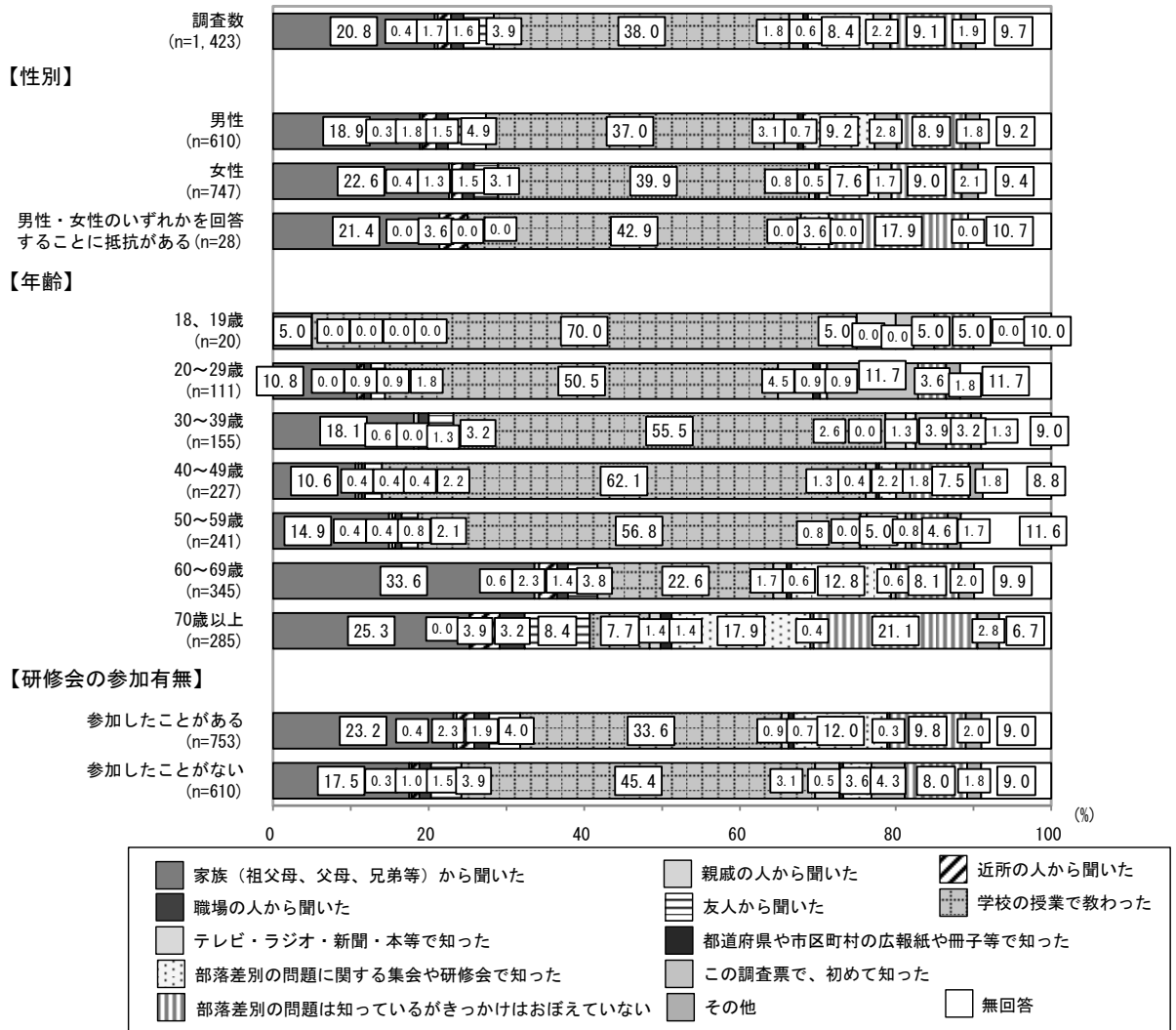
性別年代別でみると、男性20歳代、男性40歳代、男性60歳代、男性70歳代以上、女性20歳代、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある30歳代では「自分も同和地区出身者だと思われるから」がそれぞれ最も高く、男性30歳代、女性30歳代では「こわいイメージがあるから」がそれぞれ最も高く、男性50歳代では「自分も同和地区出身者だと思われるから」と「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」が高く、女性18、19歳、抵抗がある40歳代、抵抗がある70歳代以上では「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」がそれぞれ最も高く、女性40歳代では「自分も同和地区出身者だと思われるから」と「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」が高く、抵抗がある60歳代では「自分も同和地区出身者だと思われるから」と「周りの人から避けたほうがよいと言われるから」、「こわいイメージがあるから」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「自分も同和地区出身者だと思われるから」が高く、参加したことがあるでは45.6%、参加したことがないでは37.7%となっている。

(14) 部落差別の問題について初めて知ったきっかけ

問 11 あなたは、部落差別の問題について、初めて知ったきっかけは、何ですか。あてはまるものに○をつけてください（○は1つ）



【全体】

部落差別の問題について初めて知ったきっかけについてみると、「学校の授業で教わった」が38.0%と最も高く、次いで、「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が20.8%、「部落差別の問題は知っているがきっかけはおぼえていない」が9.1%、「部落差別の問題に関する集会や研修会で知った」が8.4%、「友人から聞いた」が3.9%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「学校の授業で教わった」が高く、男性では37.0%、女性では39.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「学校の授業で教わった」がそれぞれ最も高く、60～69歳、70歳以上では「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」がそれぞれ最も高くなっている。

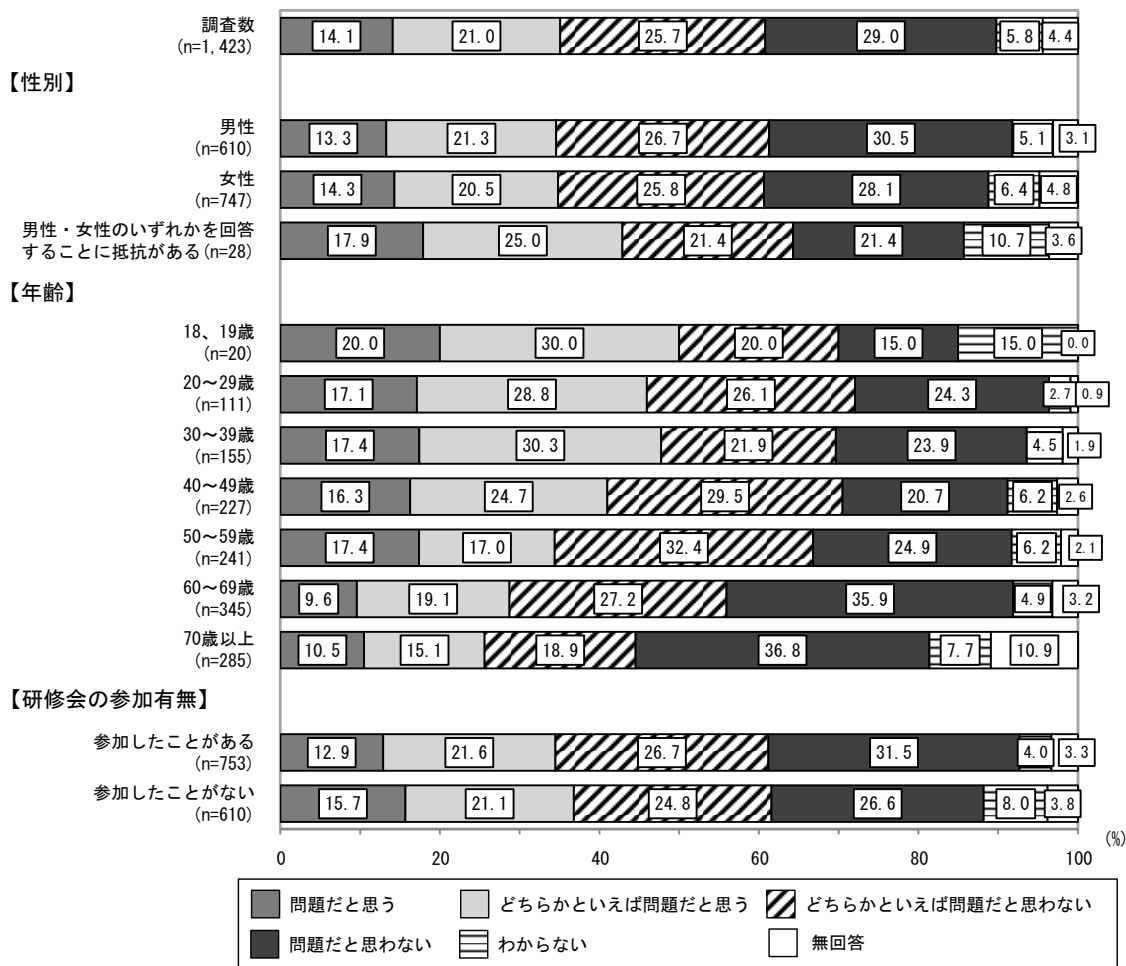
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「学校の授業で教わった」が高く、参加したことがあるでは33.6%、参加したことがないでは45.4%となっている。

(15) 人権の観点からみて問題があるかどうかに関する感じ方

問 12 あなたは、次のようなことは人権の観点から問題があると思いますか。ア～ケのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（○はそれぞれ1つ）

〔ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと〕



【全体】

「問題だと思わない」が29.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が25.7%、「どちらかといえば問題だと思う」が21.0%、「問題だと思う」が14.1%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性では「問題だと思わない」がそれぞれ30.5%、28.1%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらかといえば問題だと思う」が25.0%と最も高くなっている。

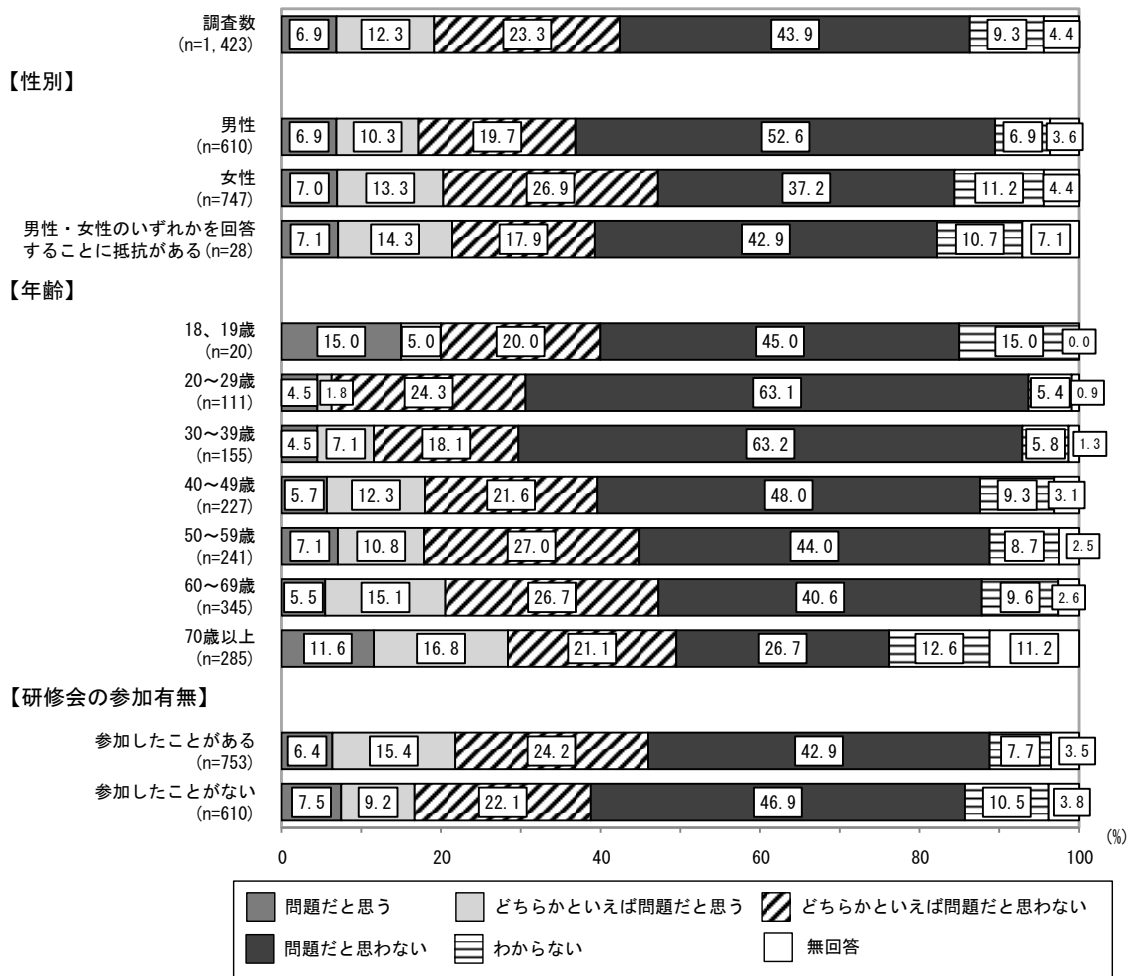
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳では「どちらかといえば問題だと思う」がそれぞれ最も高く、40～49歳、50～59歳では「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、60～69歳、70歳以上では「問題だと思わない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思わない」が高く、参加したことがあるでは31.5%、参加したことがないでは26.6%となっている。

〔イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること〕



【全体】

「問題だと思わない」が43.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が23.3%、「どちらかといえば問題だと思う」が12.3%、「問題だと思う」が6.9%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が高く、男性では52.6%、女性では37.2%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

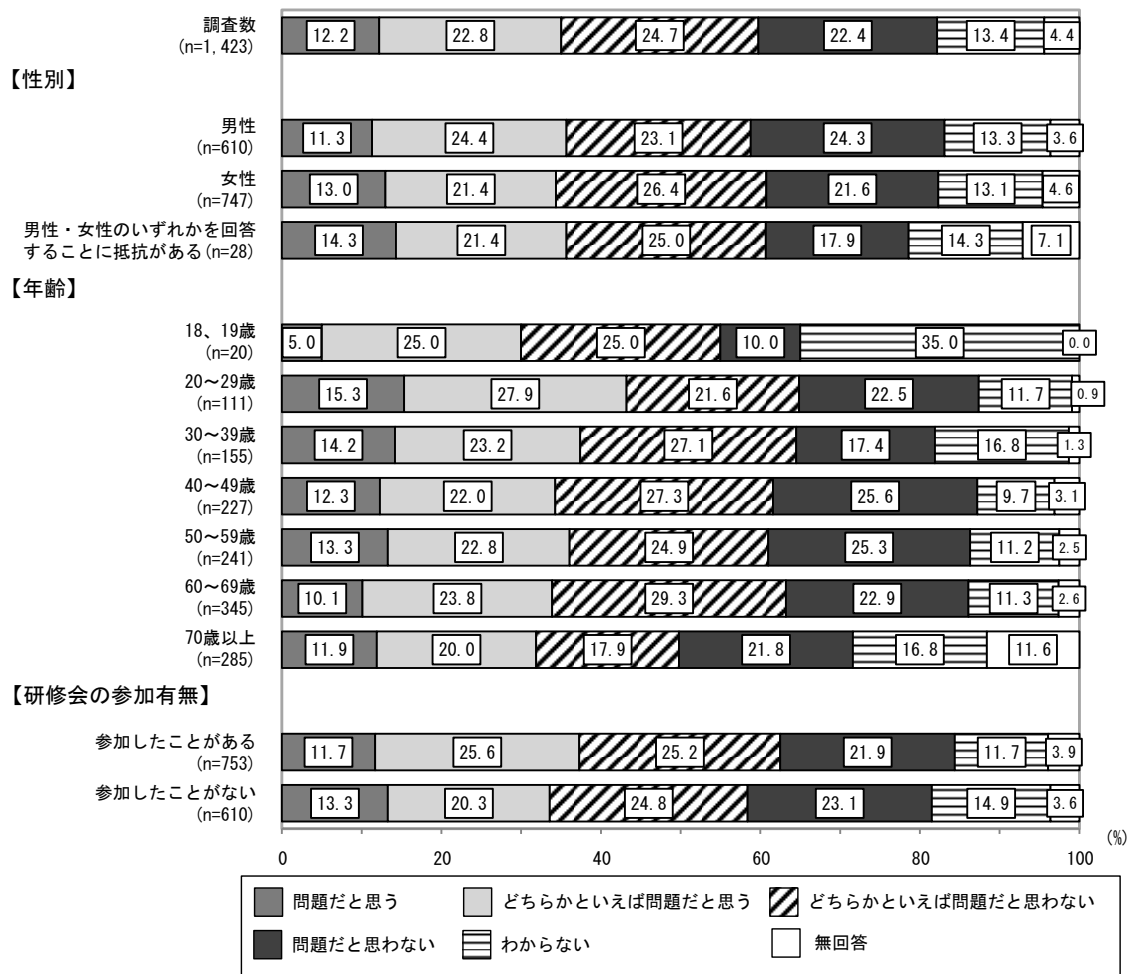
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が高く、参加したことがあるでは42.9%、参加したことがないでは46.9%となっている。

〔ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと〕



【全体】

「どちらかといえば問題だと思わない」が24.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が22.8%、「問題だと思わない」が22.4%、「問題だと思う」が12.2%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「どちらかといえば問題だと思う」が24.4%と最も高く、女性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ26.4%、25.0%と最も高くなっている。

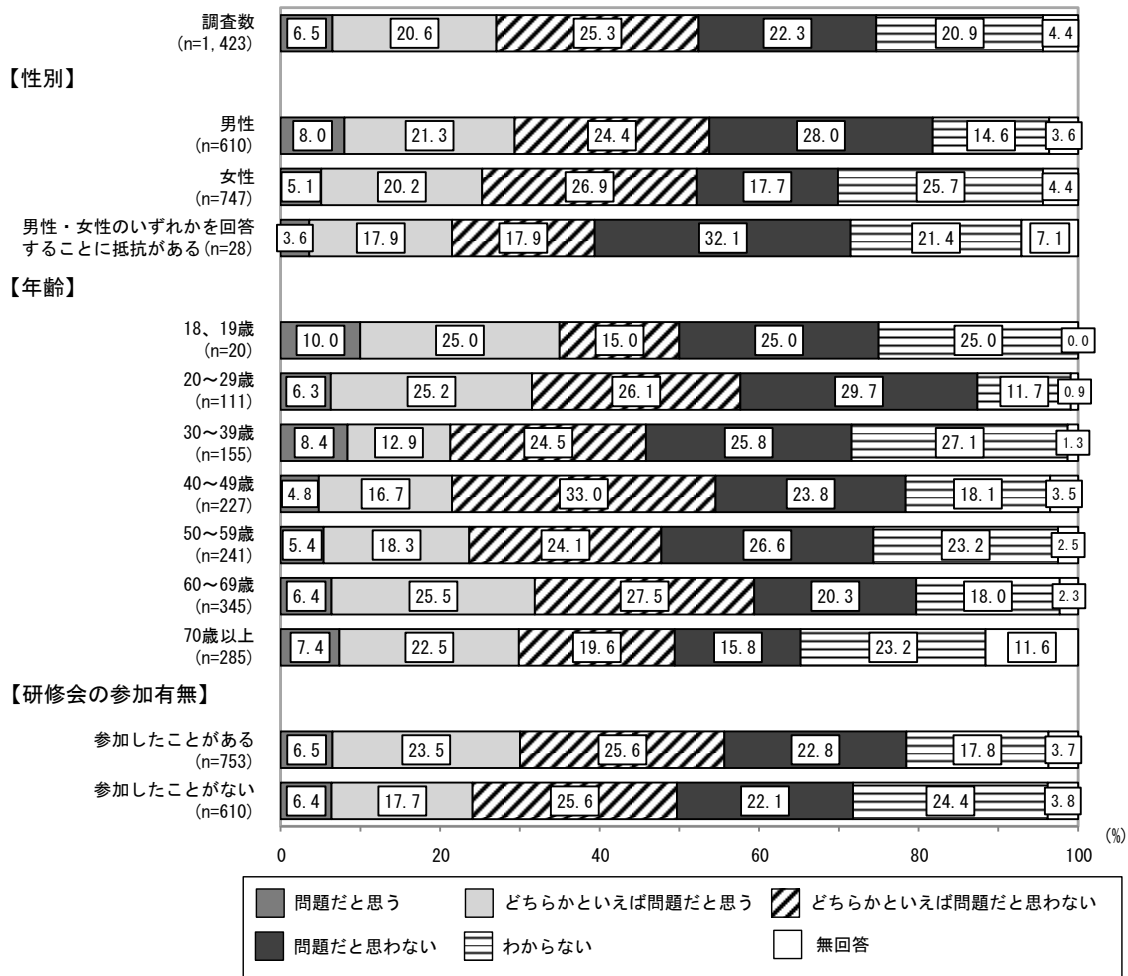
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「どちらかといえば問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思わない」が高く、20～29歳では「どちらかといえば問題だと思う」が最も高く、30～39歳、40～49歳、60～69歳では「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、50～59歳、70歳以上では「問題だと思わない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「どちらかといえば問題だと思う」が25.6%と最も高く、参加したことがないでは「どちらかといえば問題だと思わない」が24.8%と最も高くなっている。

〔エ 国際的に見て、日本が難民の受け入れに消極的であること〕



【全体】

「どちらかといえば問題だと思わない」が25.3%と最も高く、次いで、「問題だと思わない」が22.3%、「どちらかといえば問題だと思う」が20.6%、「問題だと思う」が6.5%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「問題だと思わない」がそれぞれ28.0%、32.1%と最も高く、女性では「どちらかといえば問題だと思わない」が26.9%と最も高くなっている。

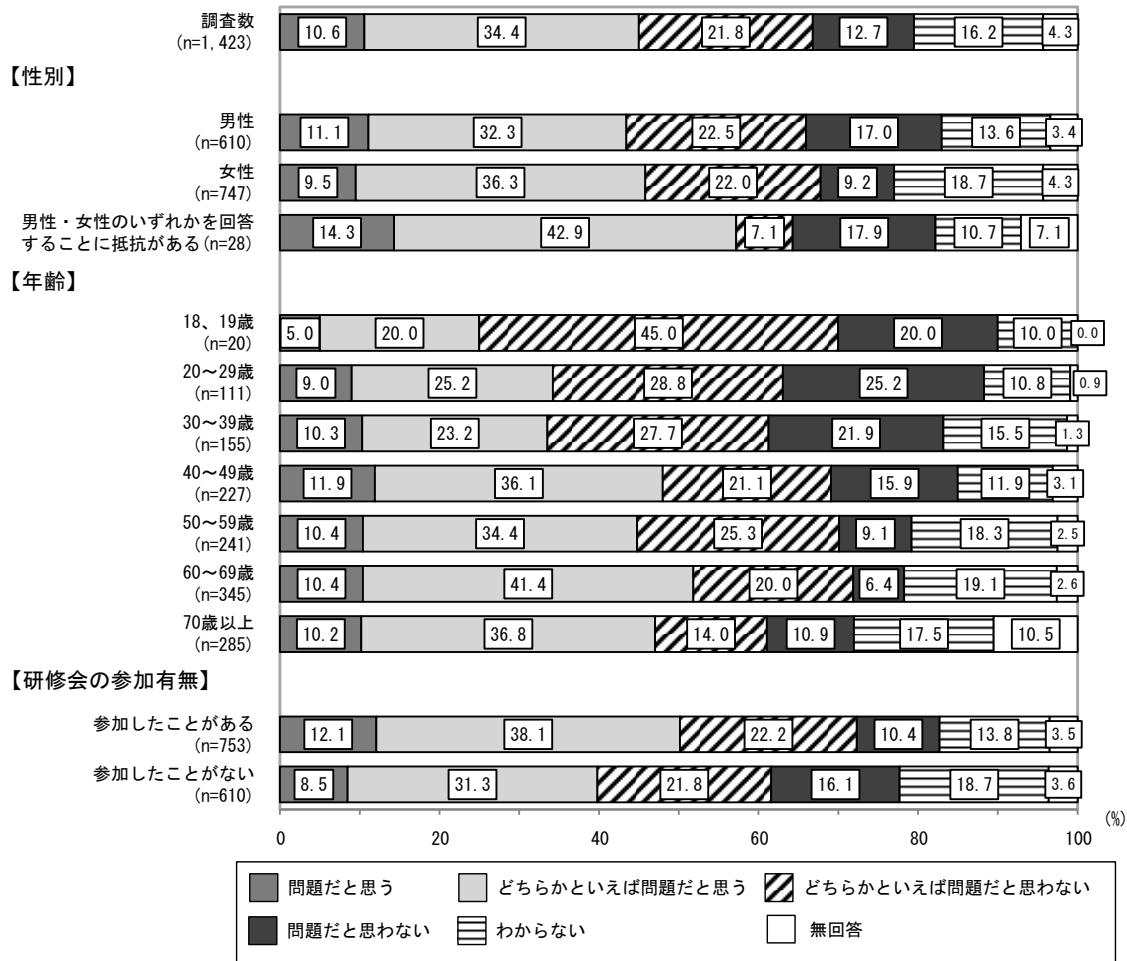
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳では「どちらかといえば問題だと思う」と「問題だと思わない」が高く、20～29歳、30～39歳、50～59歳では「問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、40～49歳、60～69歳では「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「どちらかといえば問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思わない」が高く、参加したことがあるでは25.6%、参加したことがないでは25.6%となっている。

【オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと】



【全体】

「どちらかといえば問題だと思う」が34.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が21.8%、「問題だと思わない」が12.7%、「問題だと思う」が10.6%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、男性では32.3%、女性では36.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

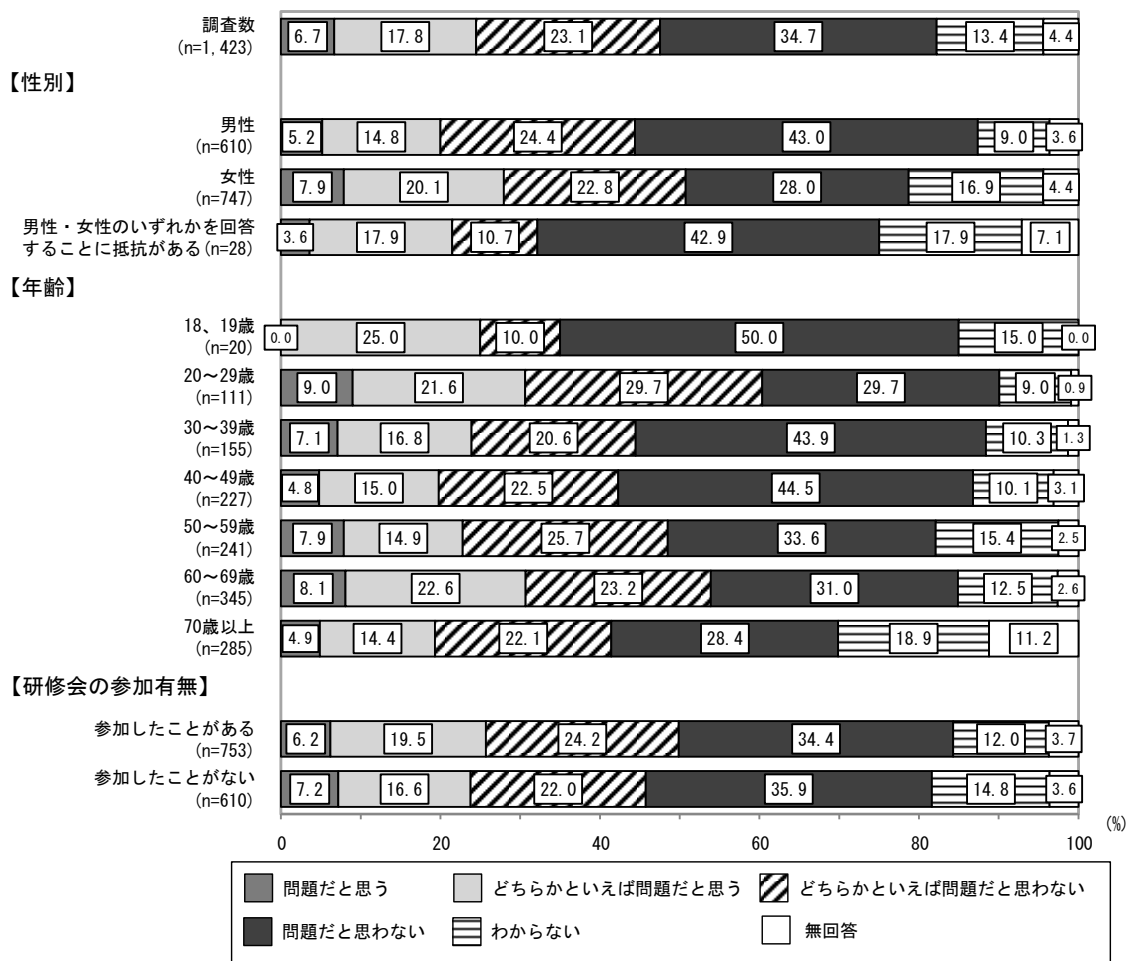
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳では「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「どちらかといえば問題だと思う」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは38.1%、参加したことがないでは31.3%となっている。

【カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること】



【全体】

「問題だと思わない」が34.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が23.1%、「どちらかといえば問題だと思う」が17.8%、「問題だと思う」が6.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思わない」が高く、男性では43.0%、女性では28.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

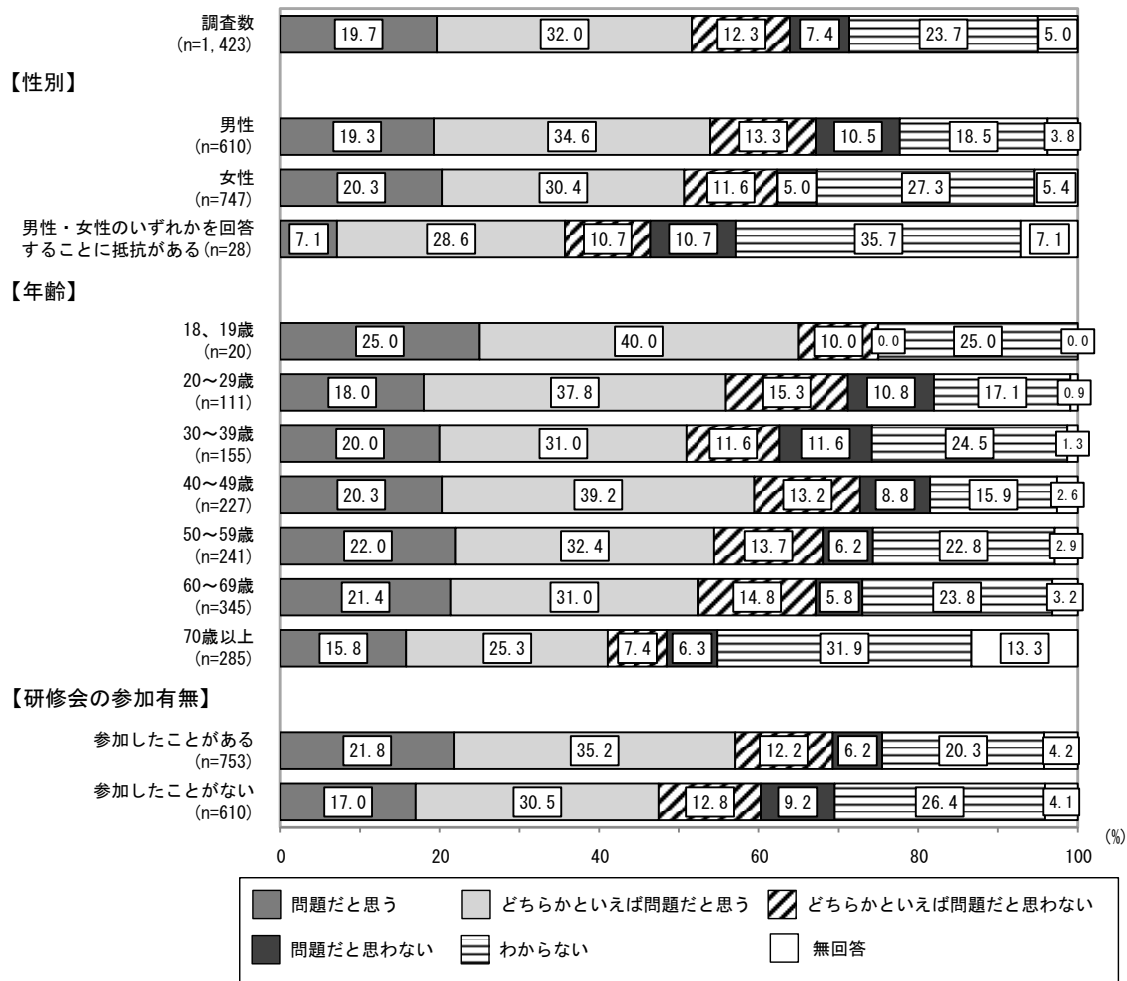
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「問題だと思わない」がそれぞれ最も高く、20～29歳では「どちらかといえば問題だと思わない」と「問題だと思わない」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思わない」が高く、参加したことがあるでは34.4%、参加したことがないでは35.9%となっている。

〔キ ヘイト・スピーチ※に対して法的な罰則が設けられていないこと〕



【全体】

「どちらかといえば問題だと思う」が32.0%と最も高く、次いで、「問題だと思う」が19.7%、「どちらかといえば問題だと思わない」が12.3%、「問題だと思わない」が7.4%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、男性では34.6%、女性では30.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは28.6%となっている。

【年齢】

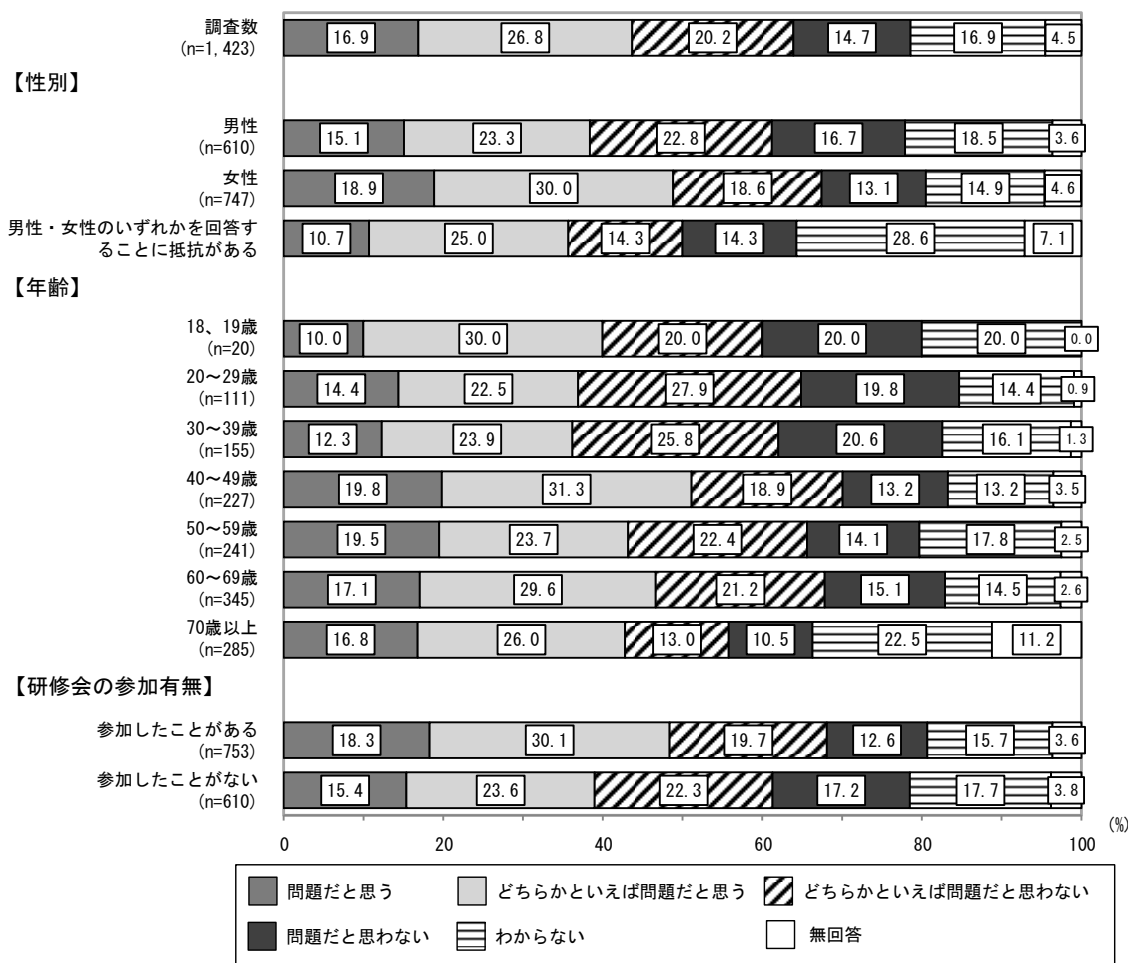
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは35.2%、参加したことがないでは30.5%となっている。

※ヘイトスピーチ：明確な定義はないが、デモやインターネット上で、特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、一方的に日本社会から追い出そうとしたり、危害を加えようとしたりするなどの内容の言動。

〔ク 妊娠した女性に、親や夫の親などが出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること〕



【全体】

「どちらかといえば問題だと思う」が26.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が20.2%、「問題だと思う」が16.9%、「問題だと思わない」が14.7%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、男性では23.3%、女性では30.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは25.0%となっている。

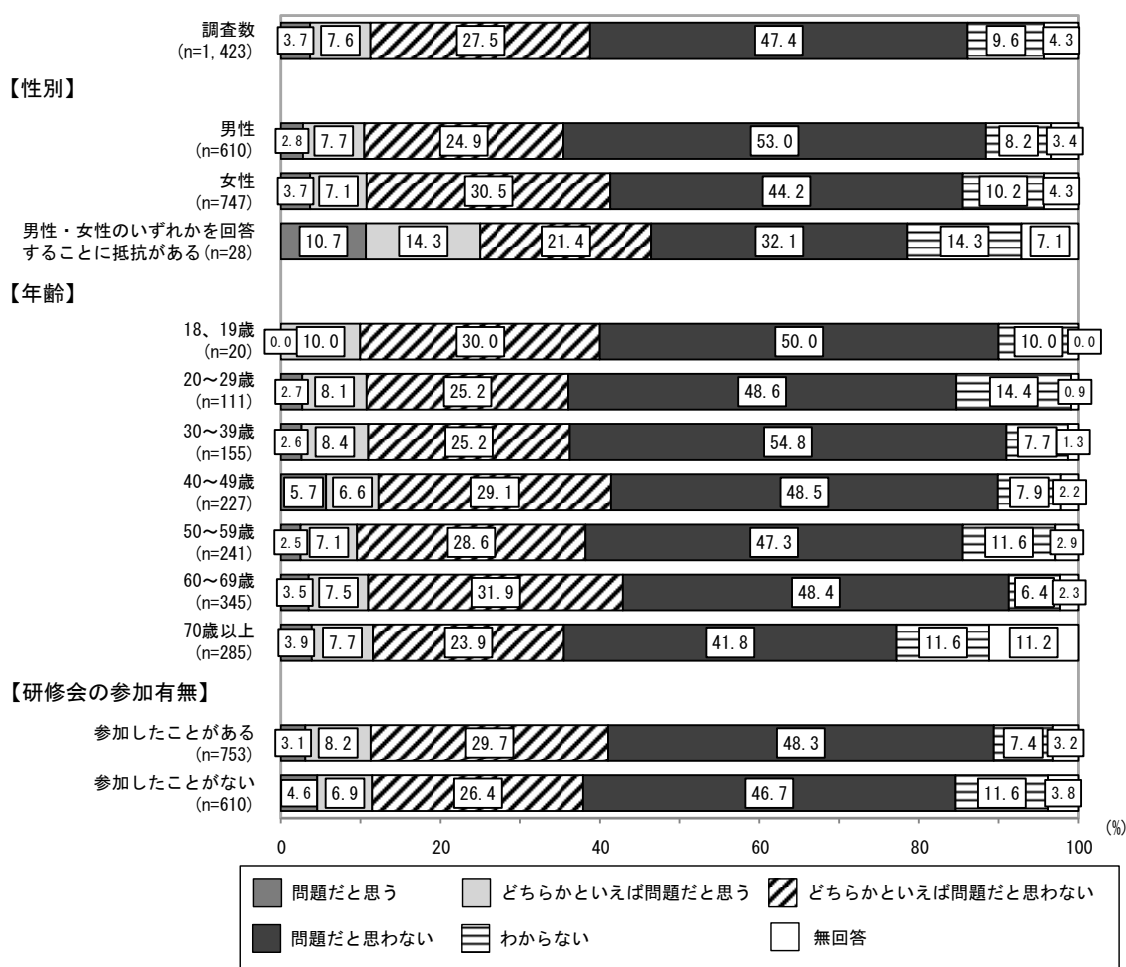
【年齢】

年齢別で見ると、18、19歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「どちらかといえば問題だと思う」がそれぞれ最も高く、20～29歳、30～39歳では「どちらかといえば問題だと思わない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは30.1%、参加したことがないでは23.6%となっている。

〔ケ さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること〕



【全体】

「問題だと思わない」が47.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思わない」が27.5%、「どちらかといえば問題だと思う」が7.6%、「問題だと思う」が3.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が高く、男性では53.0%、女性では44.2%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは32.1%となっている。

【年齢】

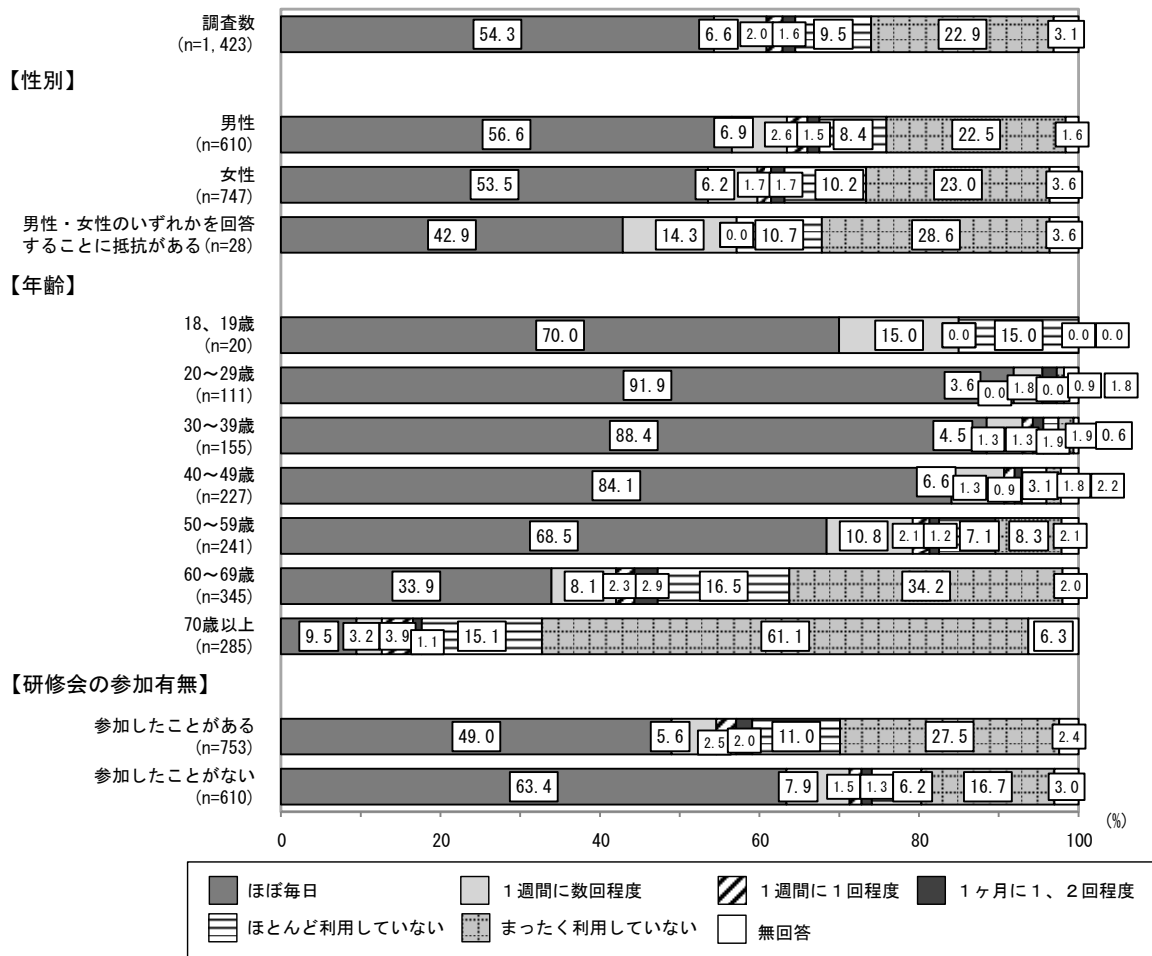
年齢別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「問題だと思わない」が高く、参加したことがあるでは48.3%、参加したことがないでは46.7%となっている。

(16) インターネットの利用頻度

問 13 あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか。(○は1つ)



【全体】

インターネットの利用頻度についてみると、「ほぼ毎日」が54.3%と最も高く、次いで、「まったく利用していない」が22.9%、「ほとんど利用していない」が9.5%、「1週間に数回程度」が6.6%、「1週間に1回程度」が2.0%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「ほぼ毎日」が高く、男性では56.6%、女性では53.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「ほぼ毎日」が最も高く、60～69歳、70歳以上では「まったく利用していない」がそれぞれ最も高くなっている。

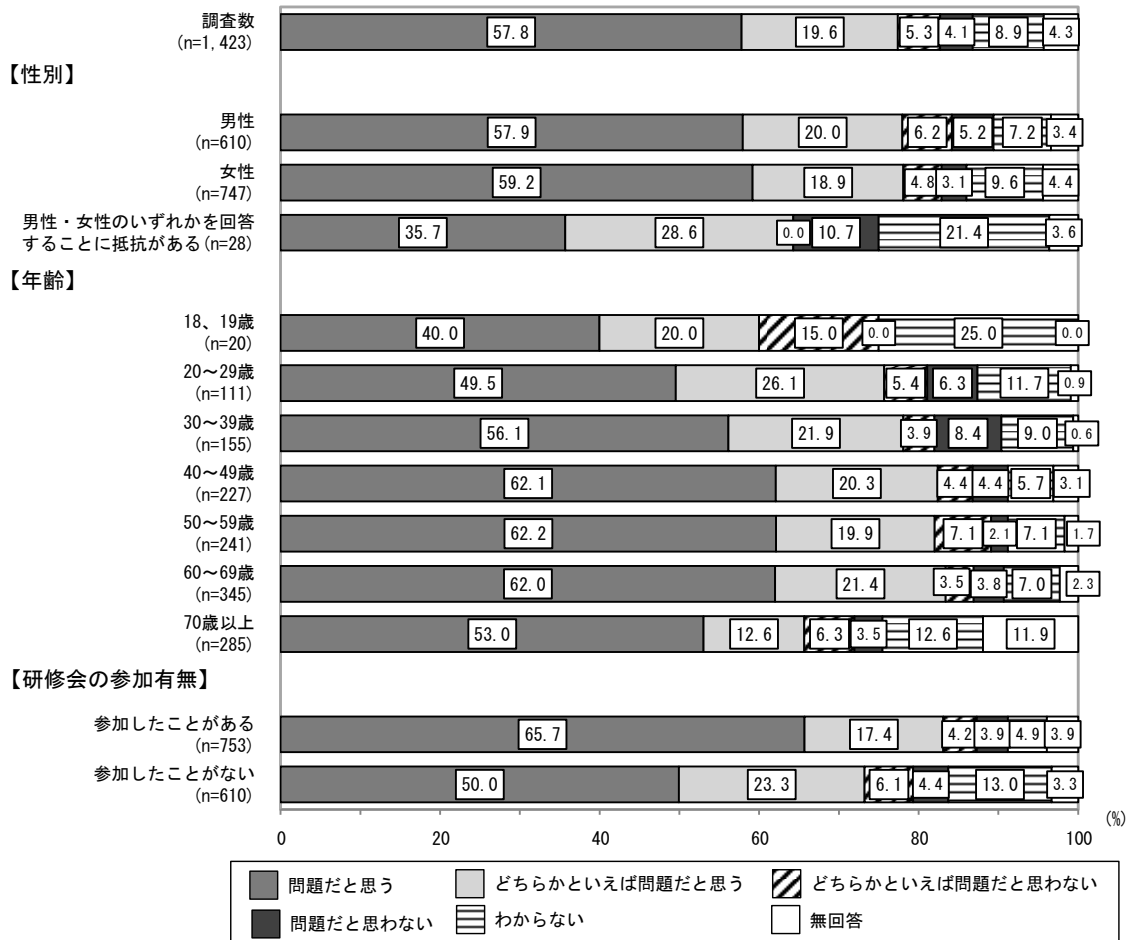
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「ほぼ毎日」が高く、参加したことがあるでは49.0%、参加したことがないでは63.4%となっている。

(17) インターネット上の書き込みに関する感じ方

問 14 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上で下記のような書き込みや行為についてどう思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

【ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み】



【全体】

「問題だと思う」が57.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が19.6%、「どちらかといえば問題だと思わない」が5.3%、「問題だと思わない」が4.1%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では57.9%、女性では59.2%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは35.7%となっている。

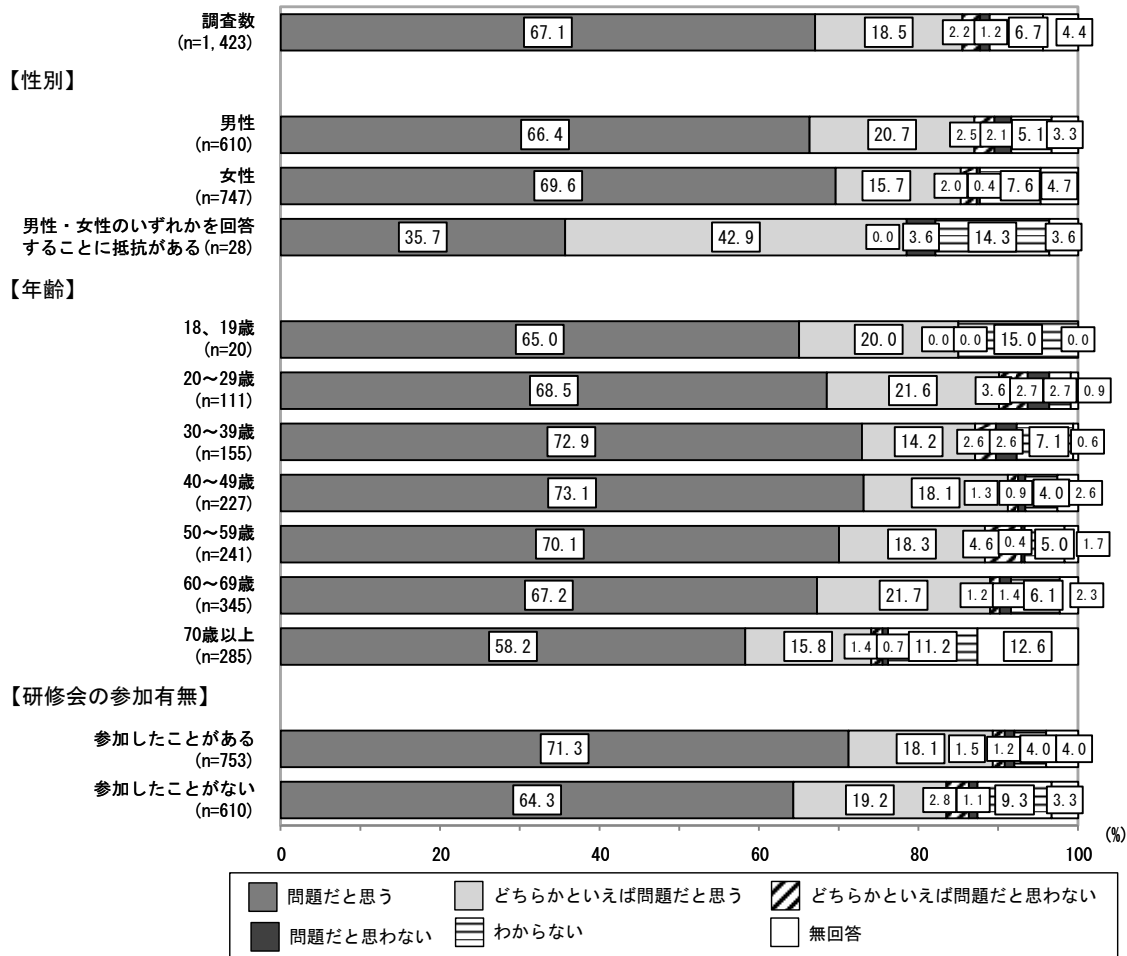
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは65.7%、参加したことがないでは50.0%となっている。

〔イ 同和地区出身者や障害のある人、外国人などに対する差別をあおったり偏見や
マイナスイメージを広げる書き込み〕



【全体】

「問題だと思う」が67.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が18.5%、「どちらかといえば問題だと思わない」が2.2%、「問題だと思わない」が1.2%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性では「問題だと思う」がそれぞれ66.4%、69.6%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「どちらかといえば問題だと思う」が42.9%と最も高くなっている。

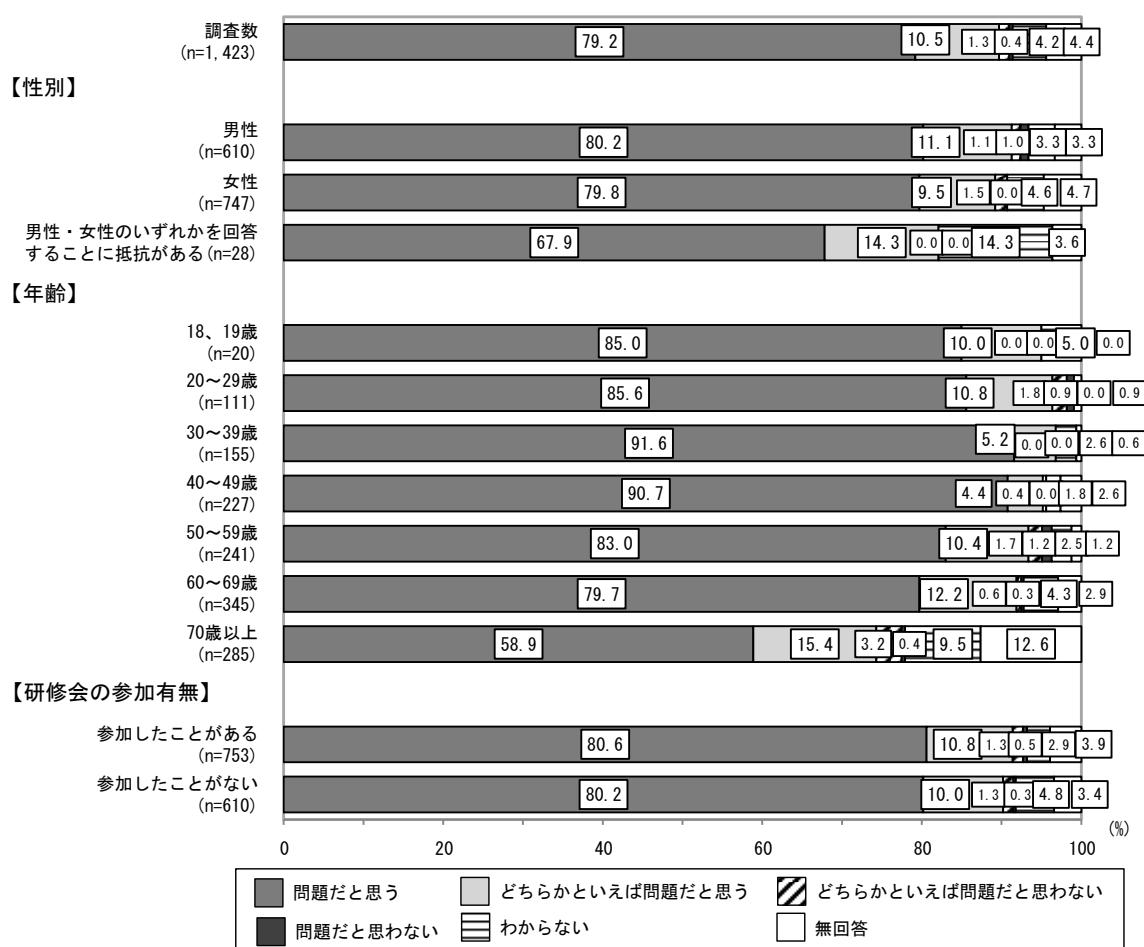
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは71.3%、参加したことがないでは64.3%となっている。

【ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレスなど個人を特定できる情報を流出させる書き込み】



【全体】

「問題だと思う」が79.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が10.5%、「どちらかといえば問題だと思わない」が1.3%、「問題だと思わない」が0.4%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では80.2%、女性では79.8%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは67.9%となっている。

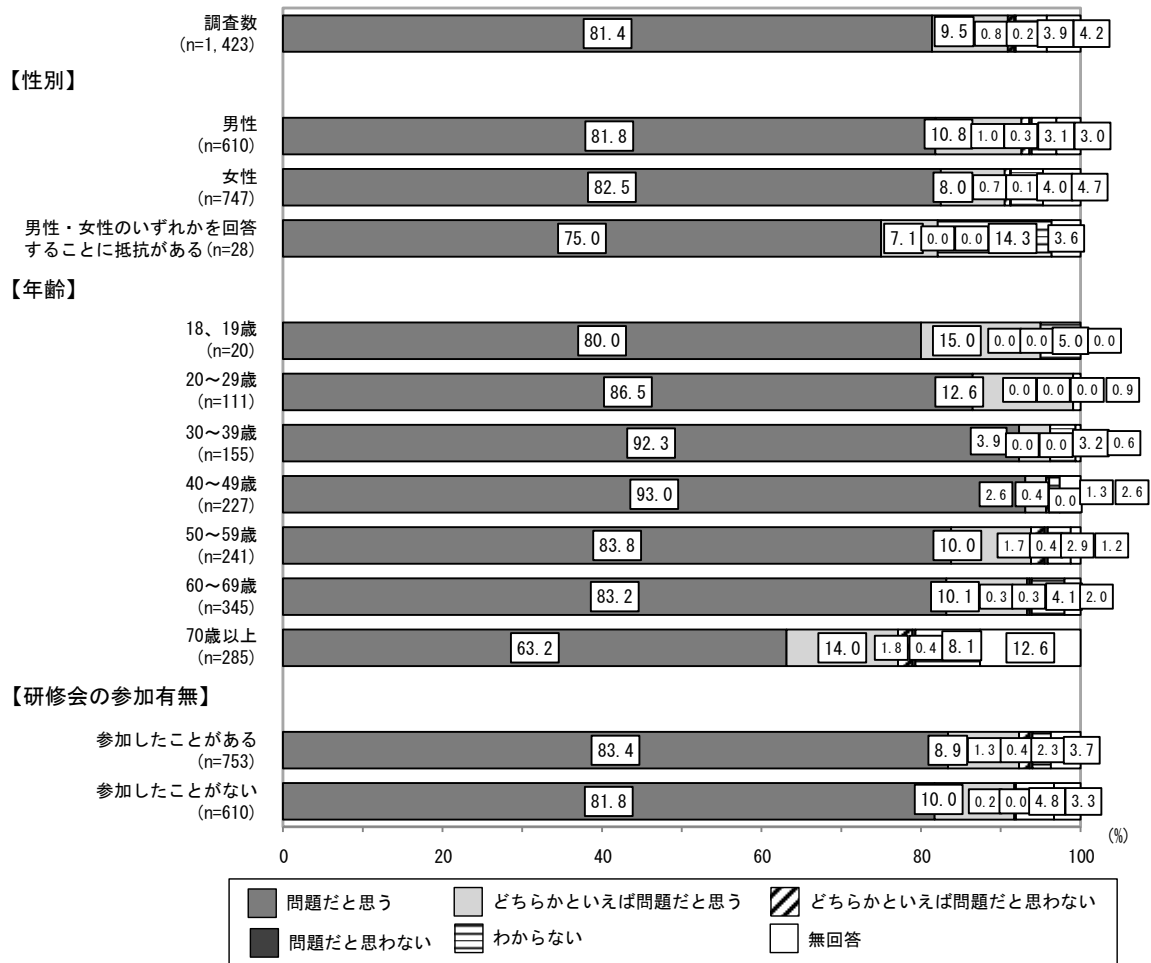
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは80.6%、参加したことがないでは80.2%となっている。

[エ 他人に知られたくない写真、動画などの掲載]



【全体】

「問題だと思う」が81.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が9.5%、「どちらかといえば問題だと思わない」が0.8%、「問題だと思わない」が0.2%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では81.8%、女性では82.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは75.0%となっている。

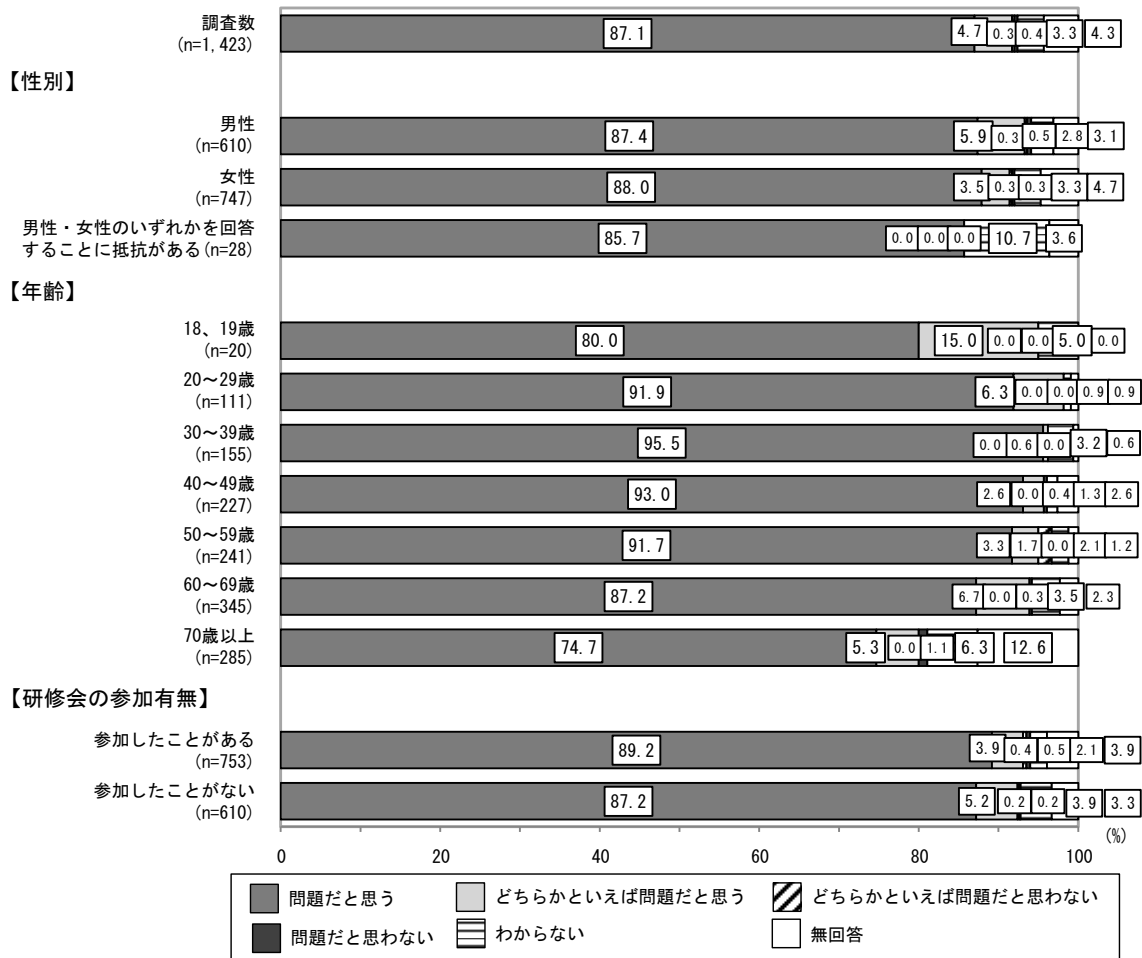
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは83.4%、参加したことがないでは81.8%となっている。

〔オ 児童の裸の写真などの掲載〕



【全体】

「問題だと思う」が87.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が4.7%、「問題だと思わない」が0.4%、「どちらかといえば問題だと思わない」が0.3%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では87.4%、女性では88.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは85.7%となっている。

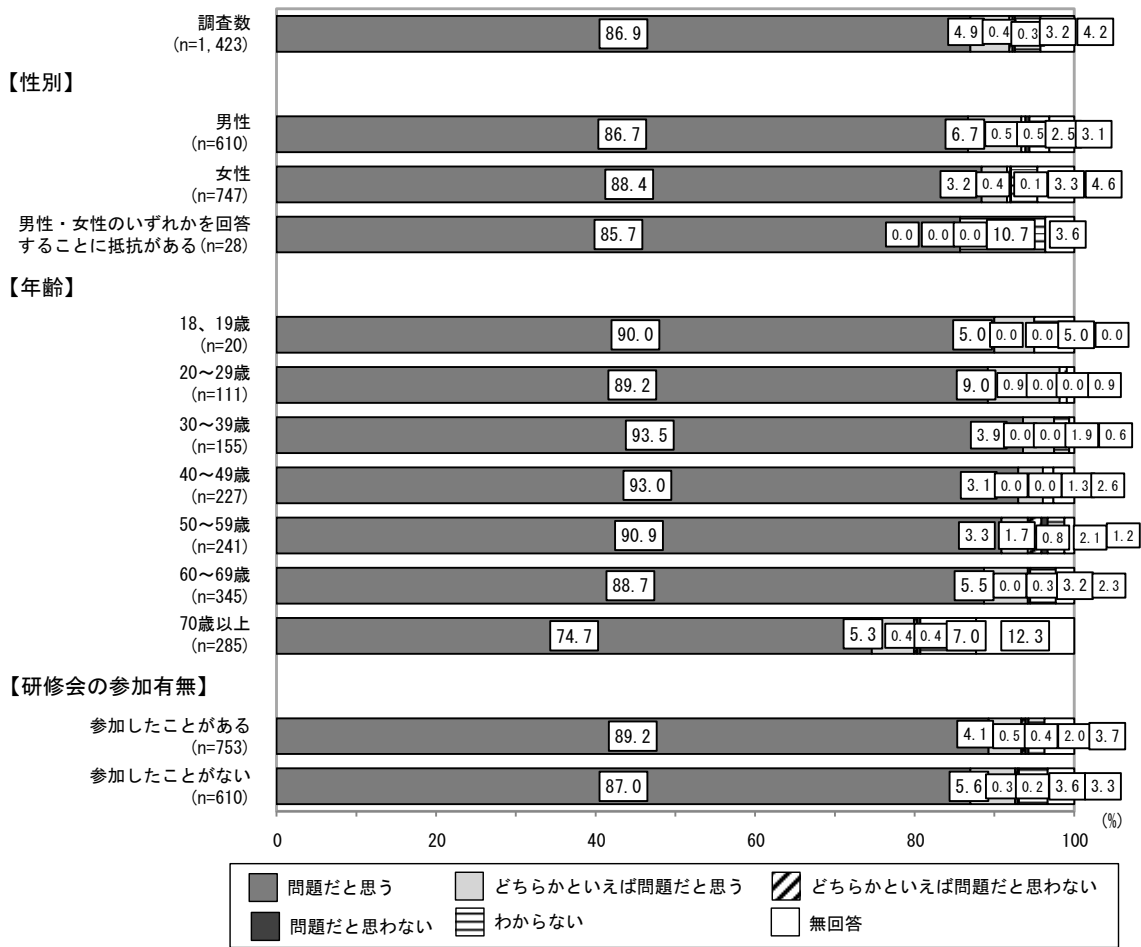
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは89.2%、参加したことがないでは87.2%となっている。

〔カ 相手が嫌がる性的なメールなどの送受信〕



【全体】

「問題だと思う」が86.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が4.9%、「どちらかといえば問題だと思わない」が0.4%、「問題だと思わない」が0.3%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では86.7%、女性では88.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは85.7%となっている。

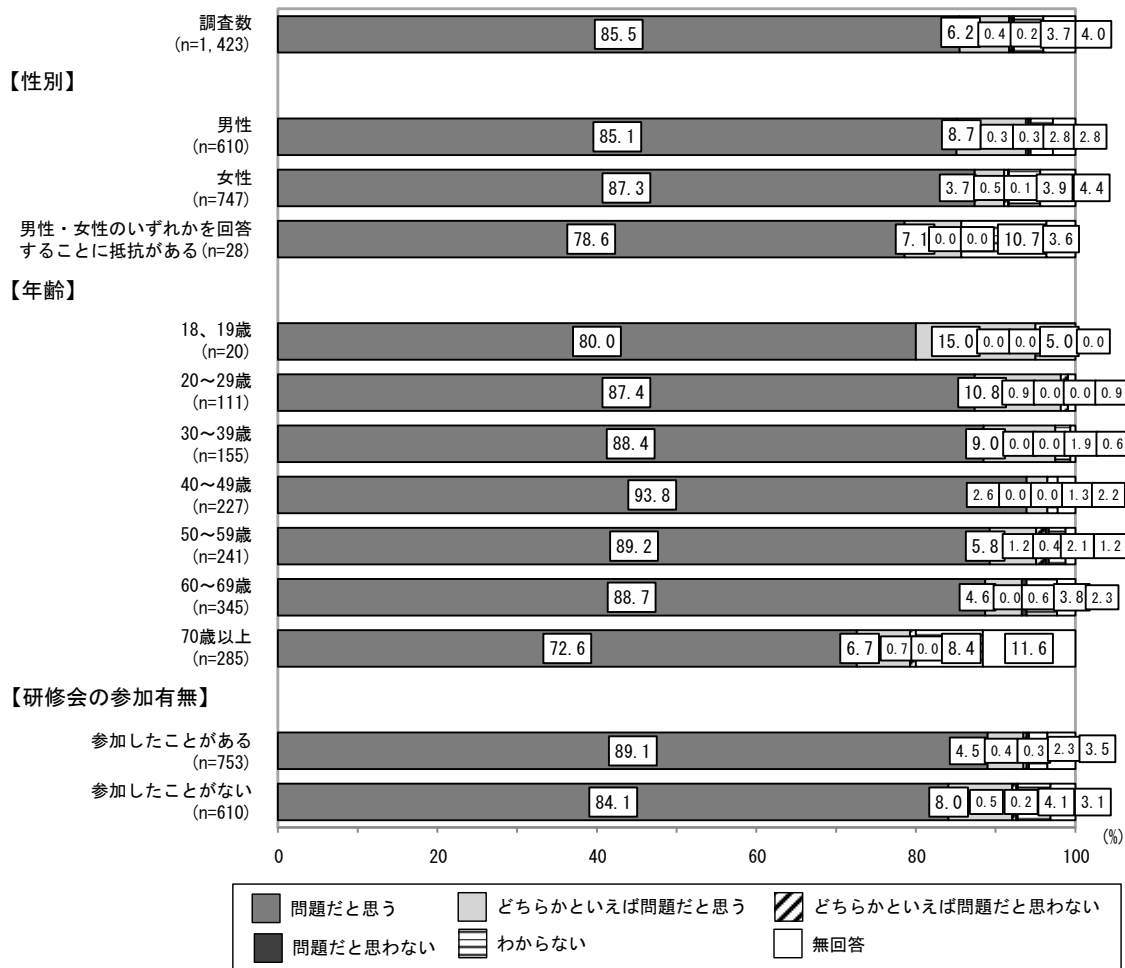
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは89.2%、参加したことがないでは87.0%となっている。

〔キ 学校裏サイトやブログなどへの悪口の書き込みやSNSでの仲間外し〕



【全体】

「問題だと思う」が85.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば問題だと思う」が6.2%、「どちらかといえば問題だと思わない」が0.4%、「問題だと思わない」が0.2%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、男性では85.1%、女性では87.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは78.6%となっている。

【年齢】

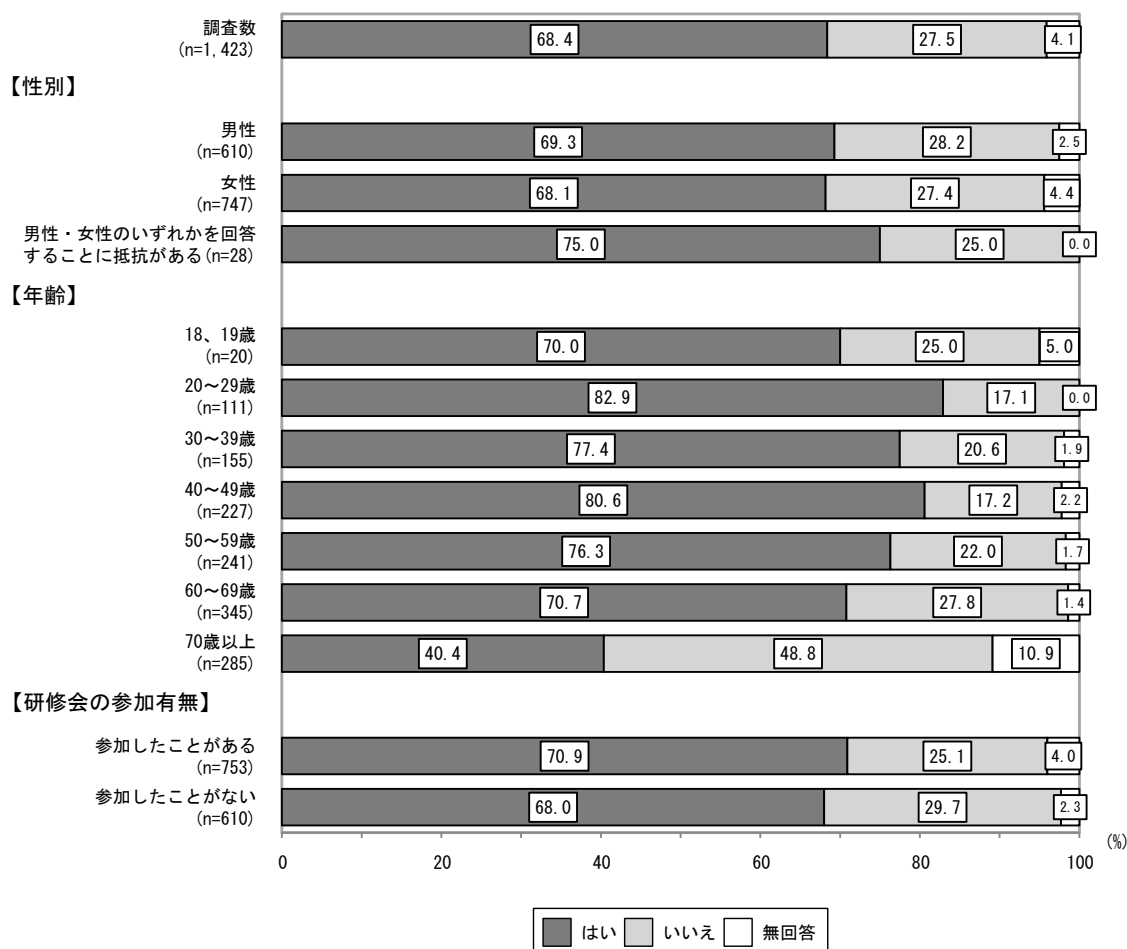
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「問題だと思う」が高く、参加したことがあるでは89.1%、参加したことがないでは84.1%となっている。

(18) 性的少数者（セクシュアルマイノリティ）という言葉の認知度

問 15 あなたは性的少数者※（セクシュアルマイノリティ）という言葉を知っていますか。（○は1つ）



【全体】

性的少数者（セクシュアルマイノリティ）という言葉の認知度についてみると、「はい」が68.4%と最も高く、次いで、「いいえ」が27.5%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「はい」が高く、男性では69.3%、女性では68.1%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは75.0%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「はい」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「いいえ」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

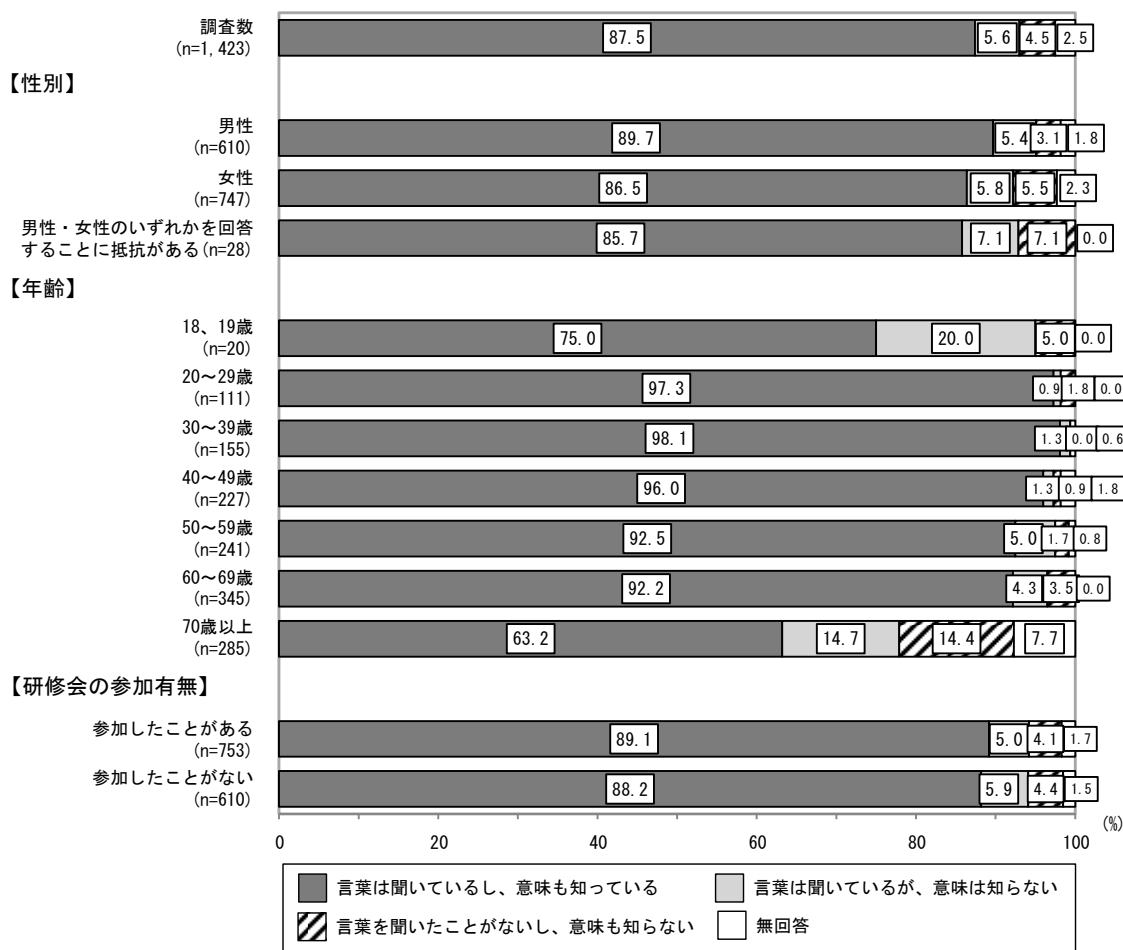
研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「はい」が高く、参加したことがあるでは70.9%、参加したことがないでは68.0%となっている。

※性的少数者（セクシュアルマイノリティ）：同性愛者、両性愛者、身体や戸籍上の性別と自認する性別に違和感を持つ方など。

(19) LGBTQ※1等の言葉の認識度

問 16 あなたは、次のア～カという言葉について意味を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

〔ア レズビアン※2〕



【全体】

「言葉は知っているし、意味も知っている」が87.5%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが、意味は知らない」が5.6%、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が4.5%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリで「言葉は知っているし、意味も知っている」が高く、男性では89.7%、女性では86.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは85.7%となっている。

【年齢】

年齢別で見ると、すべてのカテゴリで「言葉は知っているし、意味も知っている」が最も高くなっている。

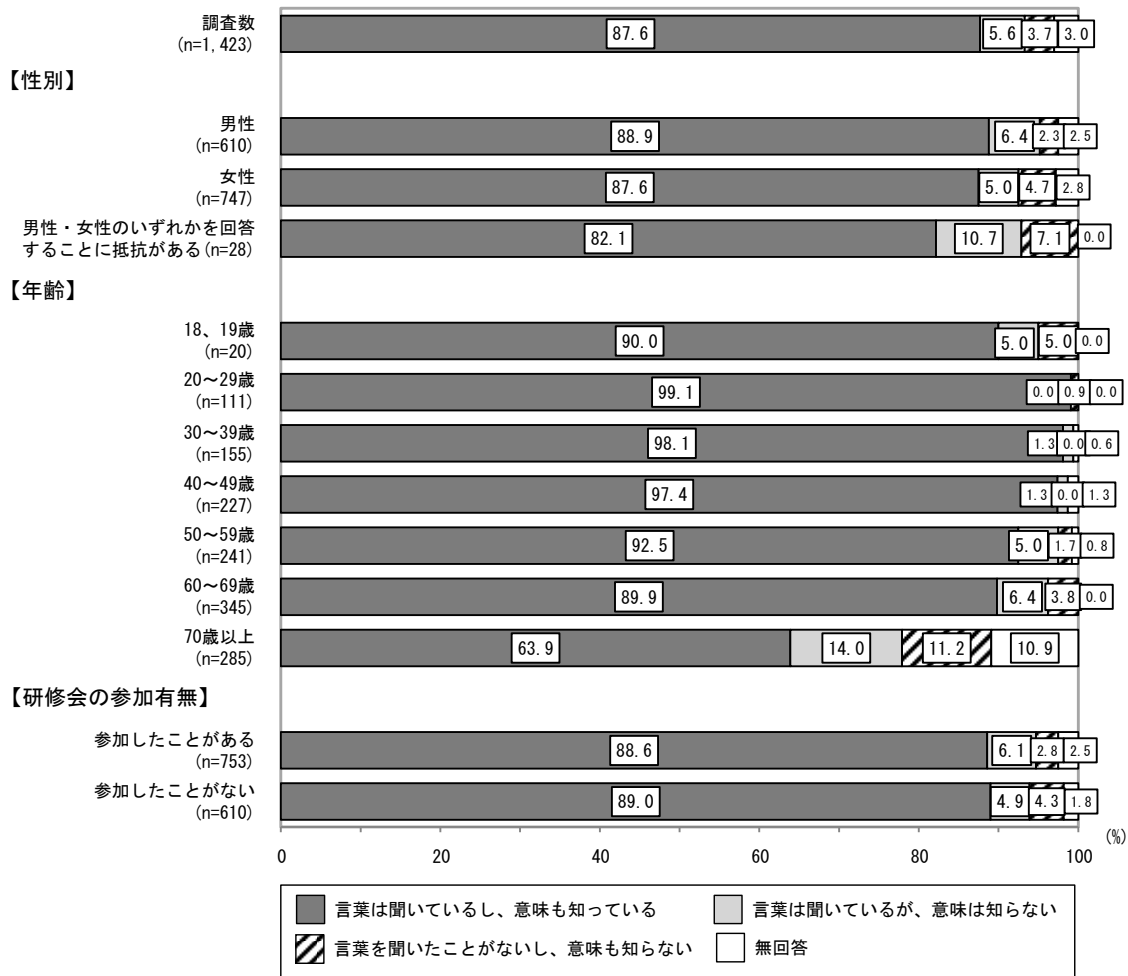
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリで「言葉は知っているし、意味も知っている」が高く、参加したことがあるでは89.1%、参加したことがないでは88.2%となっている。

※LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングそれぞれの英語の頭文字からとった性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の総称。(「LGBTQ」とした場合も、「Q」は、性的マイノリティの総称として用いられる「クィア(Queer)」の意味の場合があります。)

※レズビアン(Lesbian)：女性の同性愛者

〔イ ゲイ※〕



【全体】

「言葉は聞いているし、意味も知っている」が87.6%と最も高く、次いで、「言葉は聞いているが、意味は知らない」が5.6%、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が3.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、男性では88.9%、女性では87.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは82.1%となっている。

【年齢】

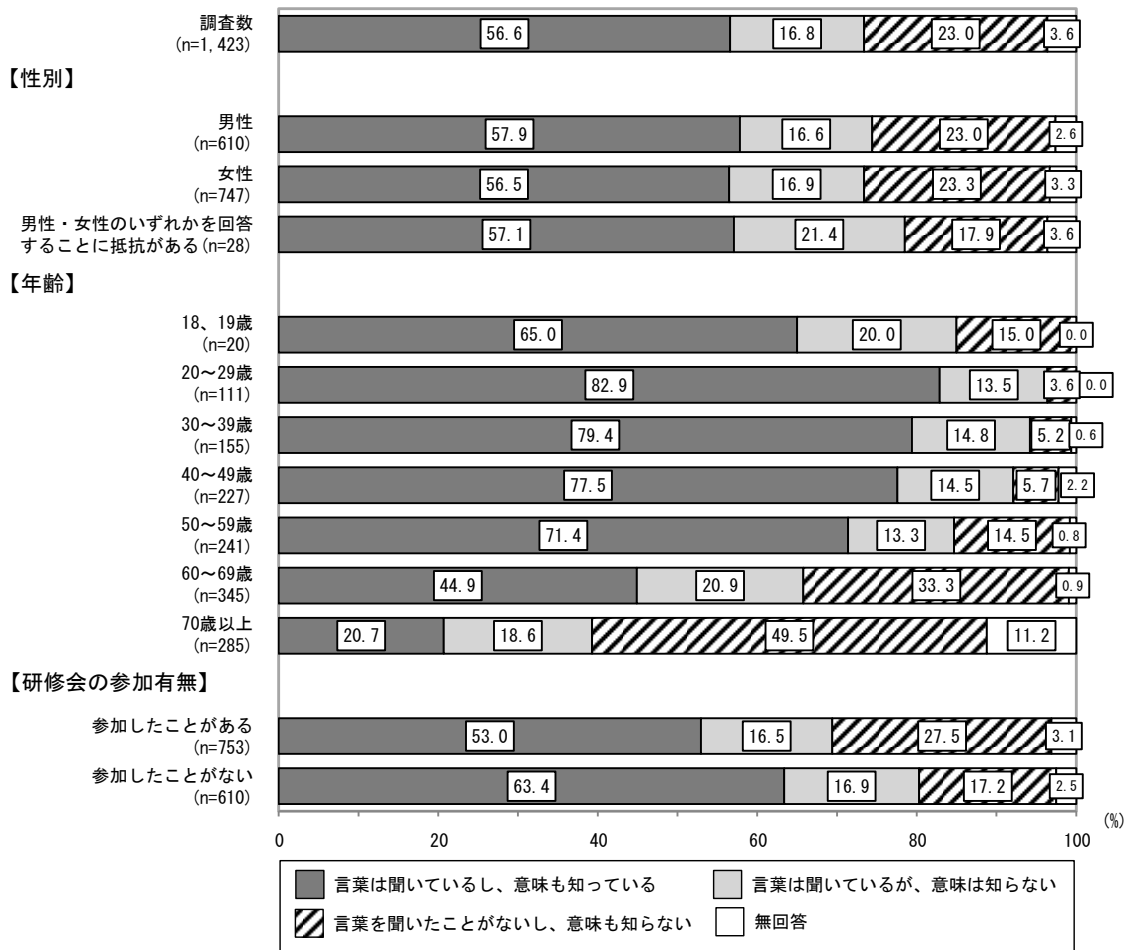
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、参加したことがあるでは88.6%、参加したことがないでは89.0%となっている。

※ゲイ (Gay) 男性の同性愛者

〔ウ バイセクシュアル※〕



【全体】

「言葉は聞いているし、意味も知っている」が56.6%と最も高く、次いで、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が23.0%、「言葉は聞いているが、意味は知らない」が16.8%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、男性では57.9%、女性では56.5%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは57.1%となっている。

【年齢】

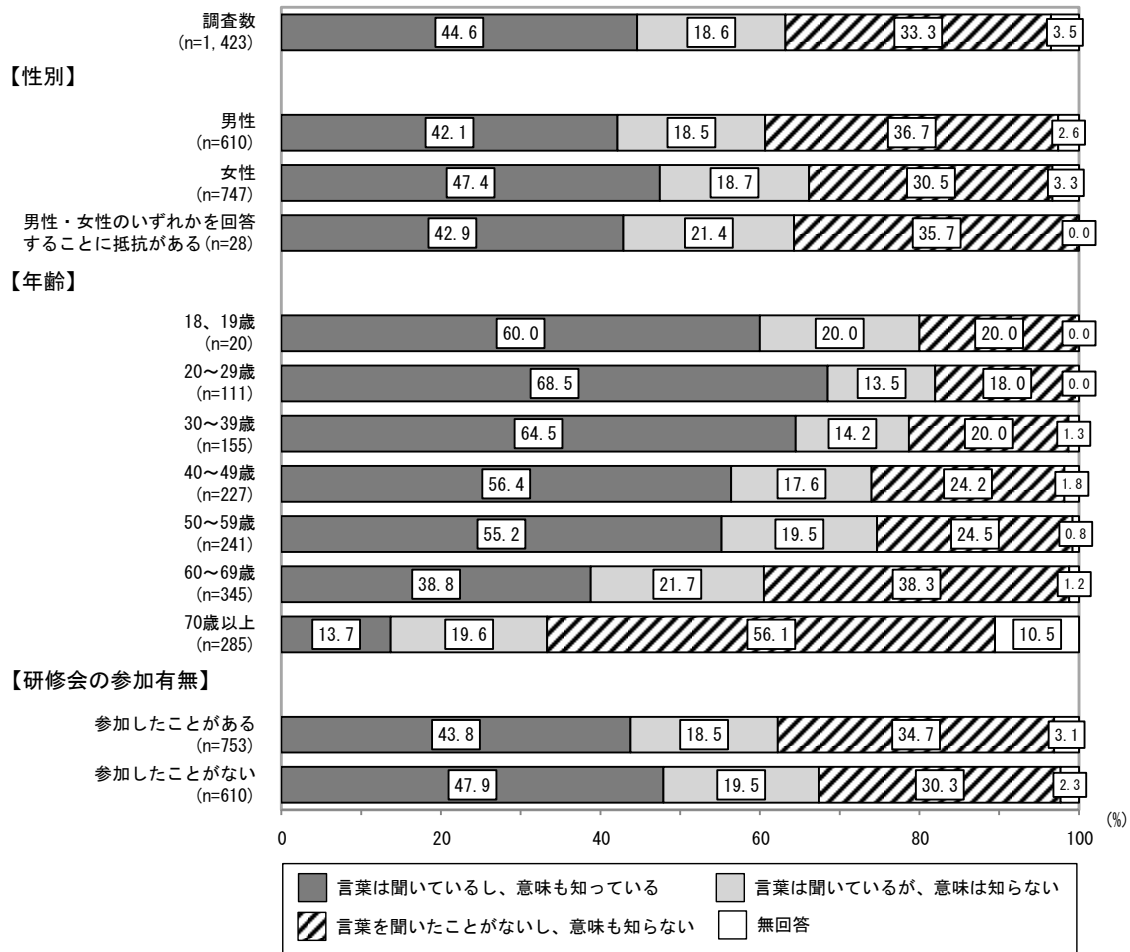
年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「言葉は聞いているし、意味も知っている」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、参加したことがあるでは53.0%、参加したことがないでは63.4%となっている。

※バイセクシュアル (Bisexual) : 両性愛者

[エ トランスジェンダー※]



【全体】

「言葉は聞いているし、意味も知っている」が44.6%と最も高く、次いで、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が33.3%、「言葉は聞いているが、意味は知らない」が18.6%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、男性では42.1%、女性では47.4%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは42.9%となっている。

【年齢】

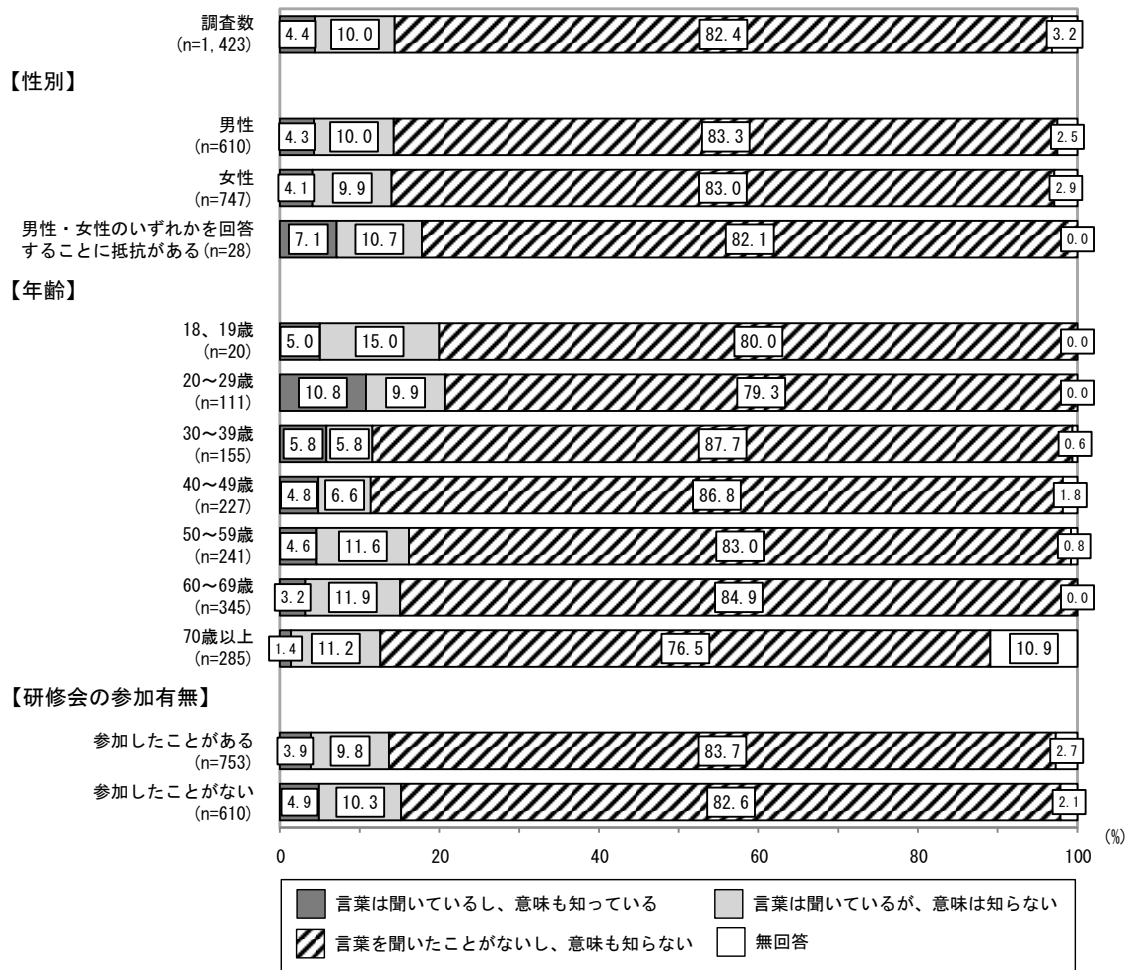
研修会の参加有無別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「言葉は聞いているし、意味も知っている」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉は聞いているし、意味も知っている」が高く、参加したことがあるでは43.8%、参加したことがないでは47.9%となっている。

※トランスジェンダー (Transgender) : こころの性とからだの性との不一致

〔オ ケスチョニング※〕



【全体】

「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が82.4%と最も高く、次いで、「言葉は聞いているが、意味は知らない」が10.0%、「言葉は聞いているし、意味も知っている」が4.4%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が高く、男性では83.3%、女性では83.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは82.1%となっている。

【年齢】

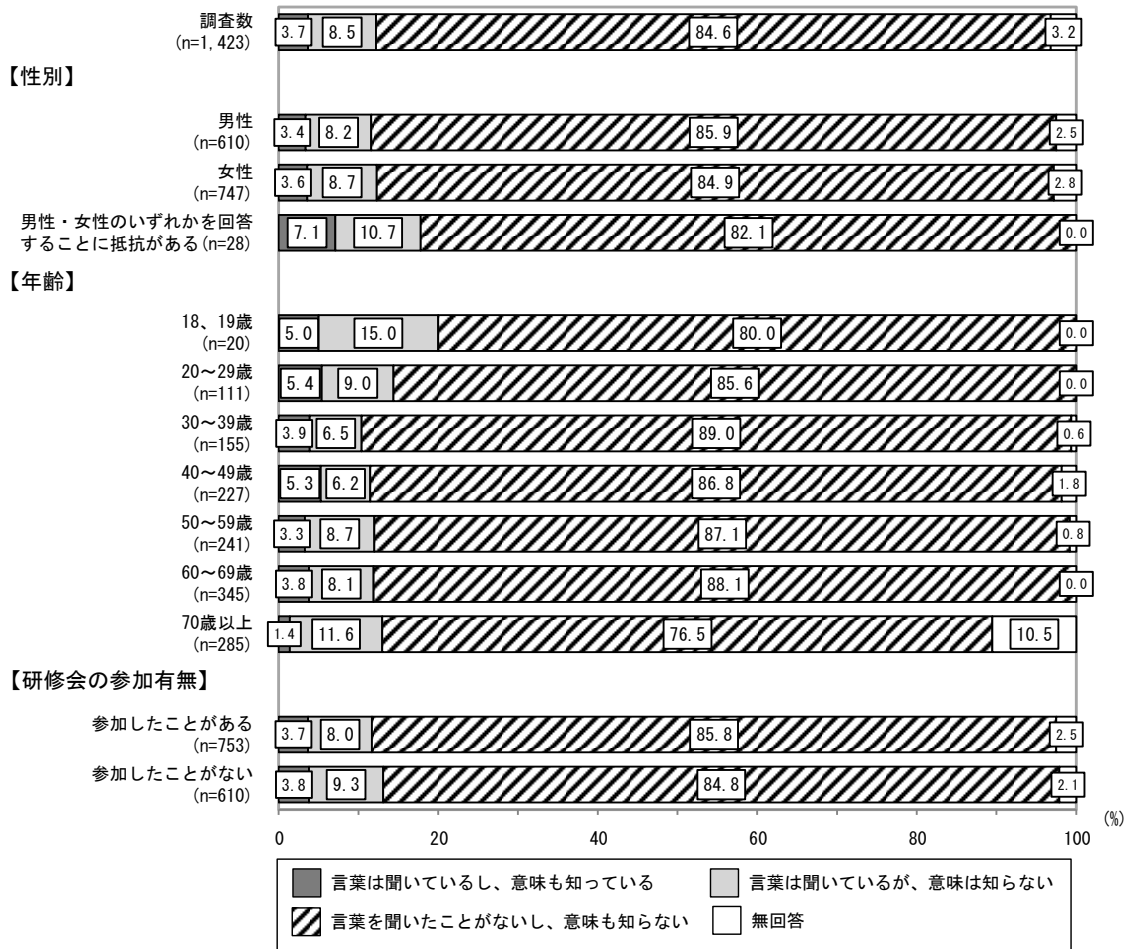
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が高く、参加したことがあるでは83.7%、参加したことがないでは82.6%となっている。

※クエスチョニング (Questioning) : こころの性や、恋愛対象を探している状態の人

〔カ ストレート・アライ※〕



【全体】

「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が84.6%と最も高く、次いで、「言葉は聞いているが、意味は知らない」が8.5%、「言葉は聞いているし、意味も知っている」が3.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が高く、男性では85.9%、女性では84.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは82.1%となっている。

【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

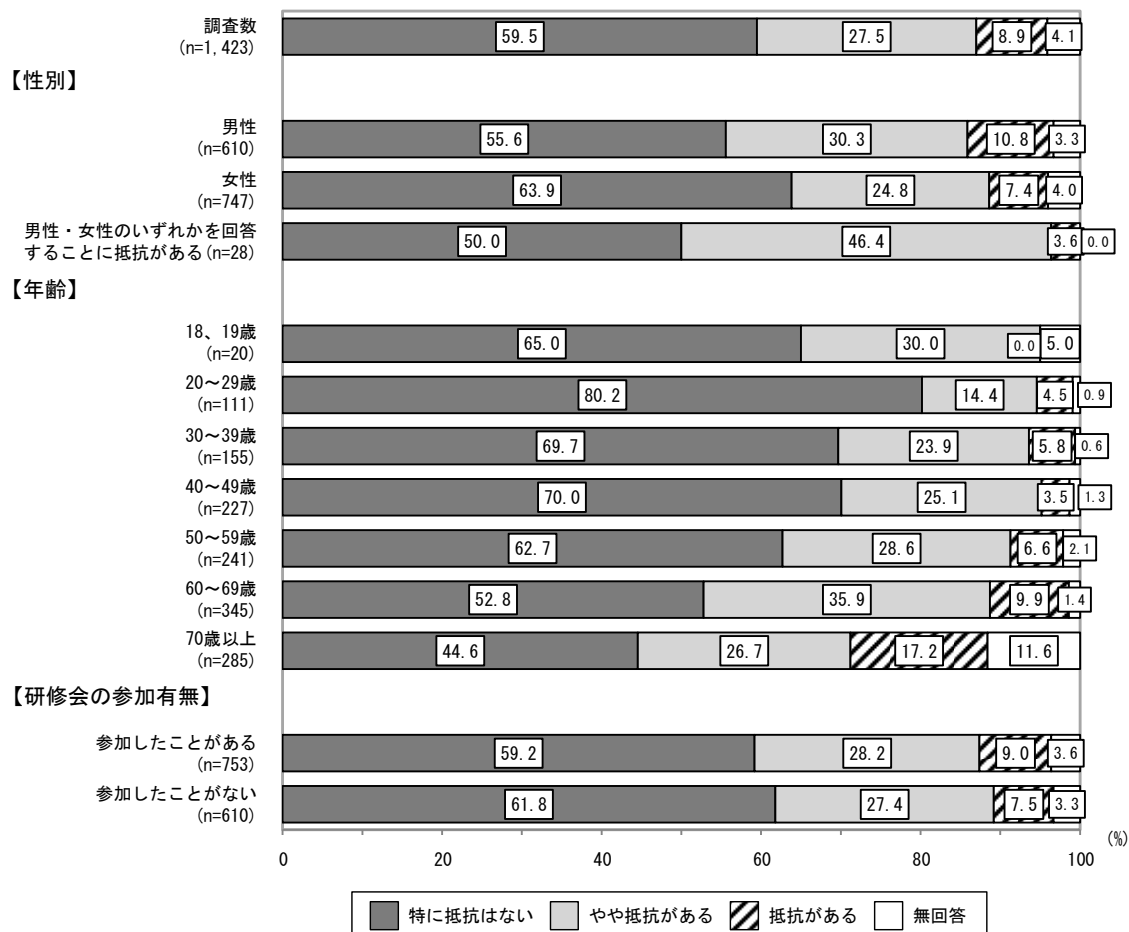
研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が高く、参加したことがあるでは85.8%、参加したことがないでは84.8%となっている。

※ストレート・アライ：性的少数者の人たちの活動を支持し、支援している人

(20) 周囲の人が性的少数者だった場合に関する感じ方

問 17 次の方が性的少数者だったとした場合、あなたはどのように思いますか。
 (○はそれぞれ1つ)
 現在お子さんがいらっしゃらない場合は、いると仮定してお答えください。

【ア 近所の人】



【全体】

近所の人が性的少数者だった場合に関する感じ方についてみると、「特に抵抗はない」が59.5%と最も高く、次いで、「やや抵抗がある」が27.5%、「抵抗がある」が8.9%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「特に抵抗はない」が高く、男性では55.6%、女性では63.9%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは50.0%となっている。

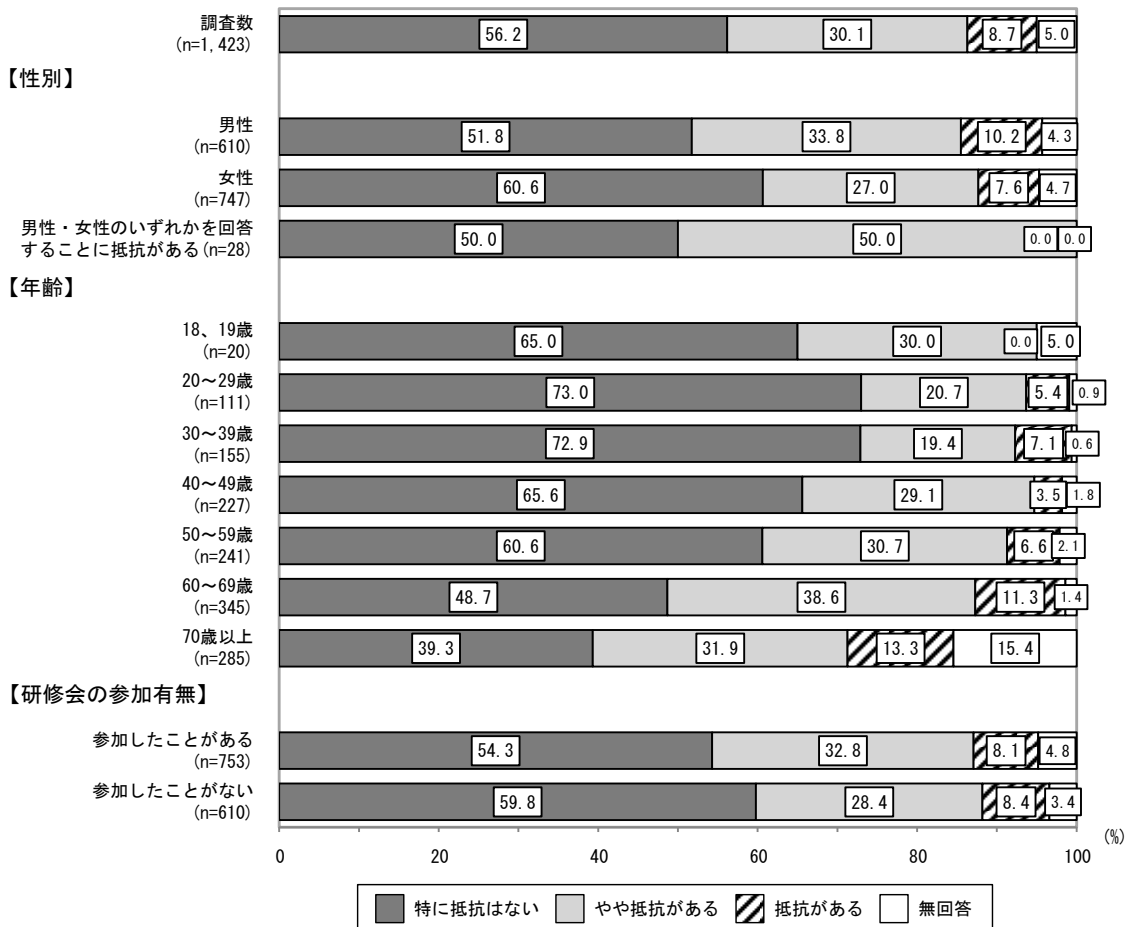
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「特に抵抗はない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「特に抵抗はない」が高く、参加したことがあるでは59.2%、参加したことがないでは61.8%となっている。

〔イ 友人や職場の同僚〕



【全体】

友人や職場の同僚が性的少数者だった場合に関する感じ方についてみると、「特に抵抗はない」が56.2%と最も高く、次いで、「やや抵抗がある」が30.1%、「抵抗がある」が8.7%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリで「特に抵抗はない」が高く、男性では51.8%、女性では60.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは50.0%となっている。

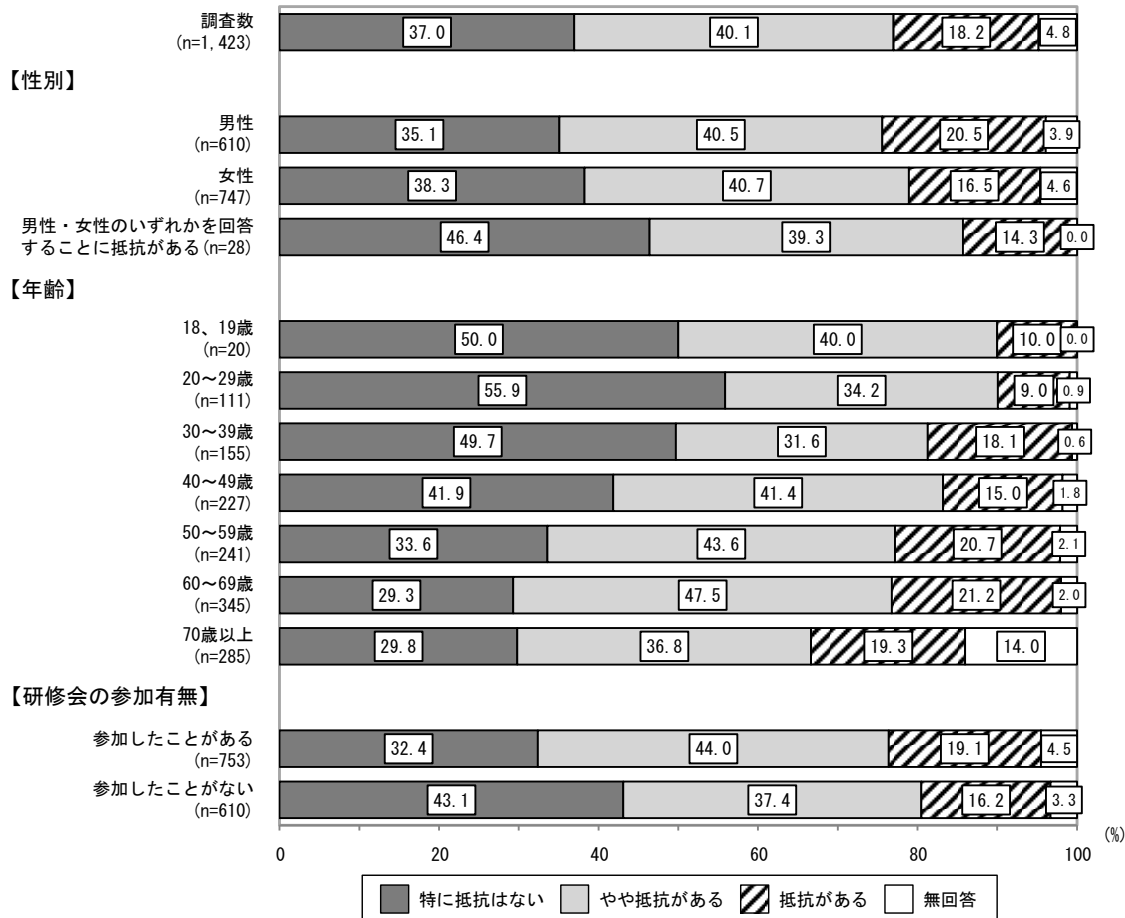
【年齢】

年齢別でみると、すべてのカテゴリで「特に抵抗はない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「特に抵抗はない」が高く、参加したことがあるでは54.3%、参加したことがないでは59.8%となっている。

〔ウ 自分の子ども以外の家族〕



【全体】

自分の子ども以外の家族が性的少数者だった場合に関する感じ方についてみると、「やや抵抗がある」が40.1%と最も高く、次いで、「特に抵抗はない」が37.0%、「抵抗がある」が18.2%となっている。

【性別】

性別でみると、男性、女性では「やや抵抗がある」がそれぞれ40.5%、40.7%と最も高く、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「特に抵抗はない」が46.4%と最も高くなっている。

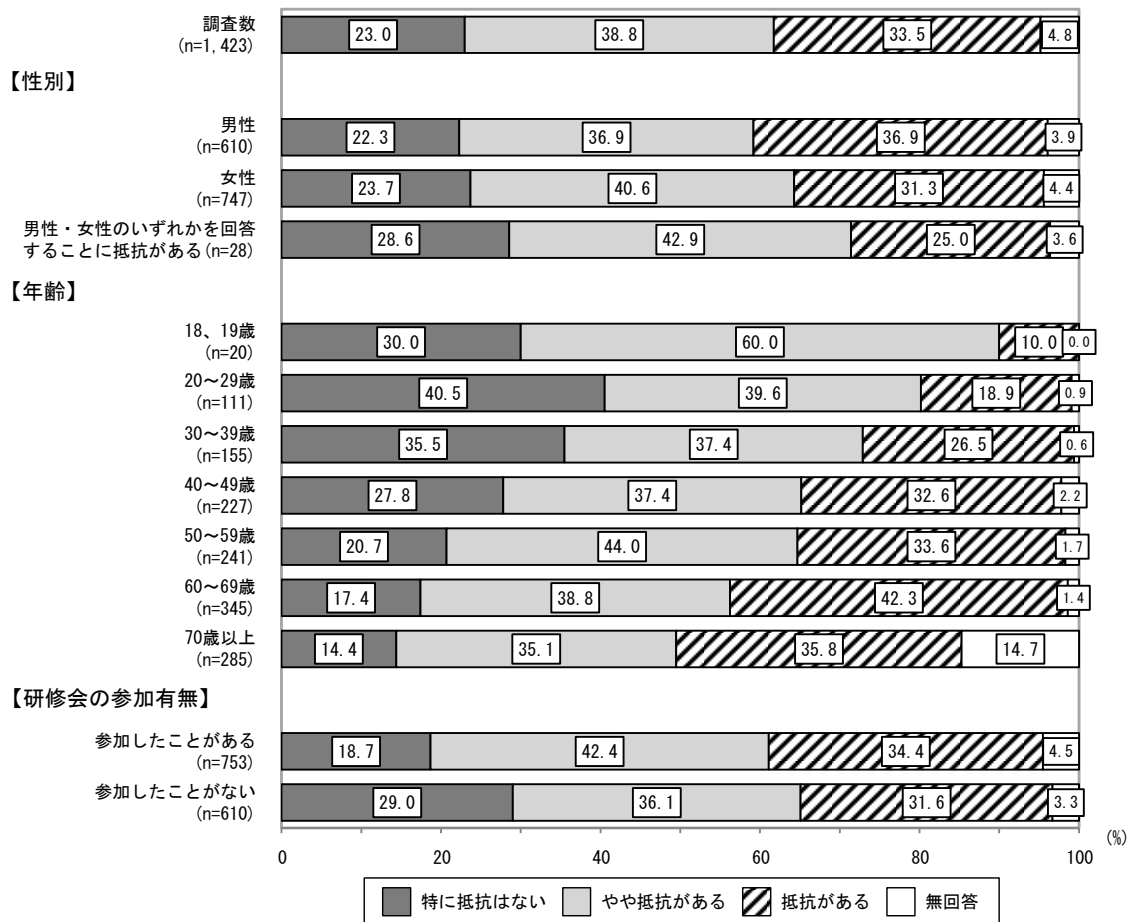
【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「特に抵抗はない」がそれぞれ最も高く、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「やや抵抗がある」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「やや抵抗がある」が44.0%と最も高く、参加したことがないでは「特に抵抗はない」が43.1%と最も高くなっている。

〔エ 自分の子ども〕



【全体】

自分の子どもが性的少数者だった場合に関する感じ方についてみると、「やや抵抗がある」が38.8%と最も高く、次いで、「抵抗がある」が33.5%、「特に抵抗はない」が23.0%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「やや抵抗がある」と「抵抗がある」が36.9%と最も高く、女性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「やや抵抗がある」がそれぞれ40.6%、42.9%と最も高くなっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「やや抵抗がある」がそれぞれ最も高く、20～29歳では「特に抵抗はない」が最も高く、60～69歳、70歳以上では「抵抗がある」がそれぞれ最も高くなっている。

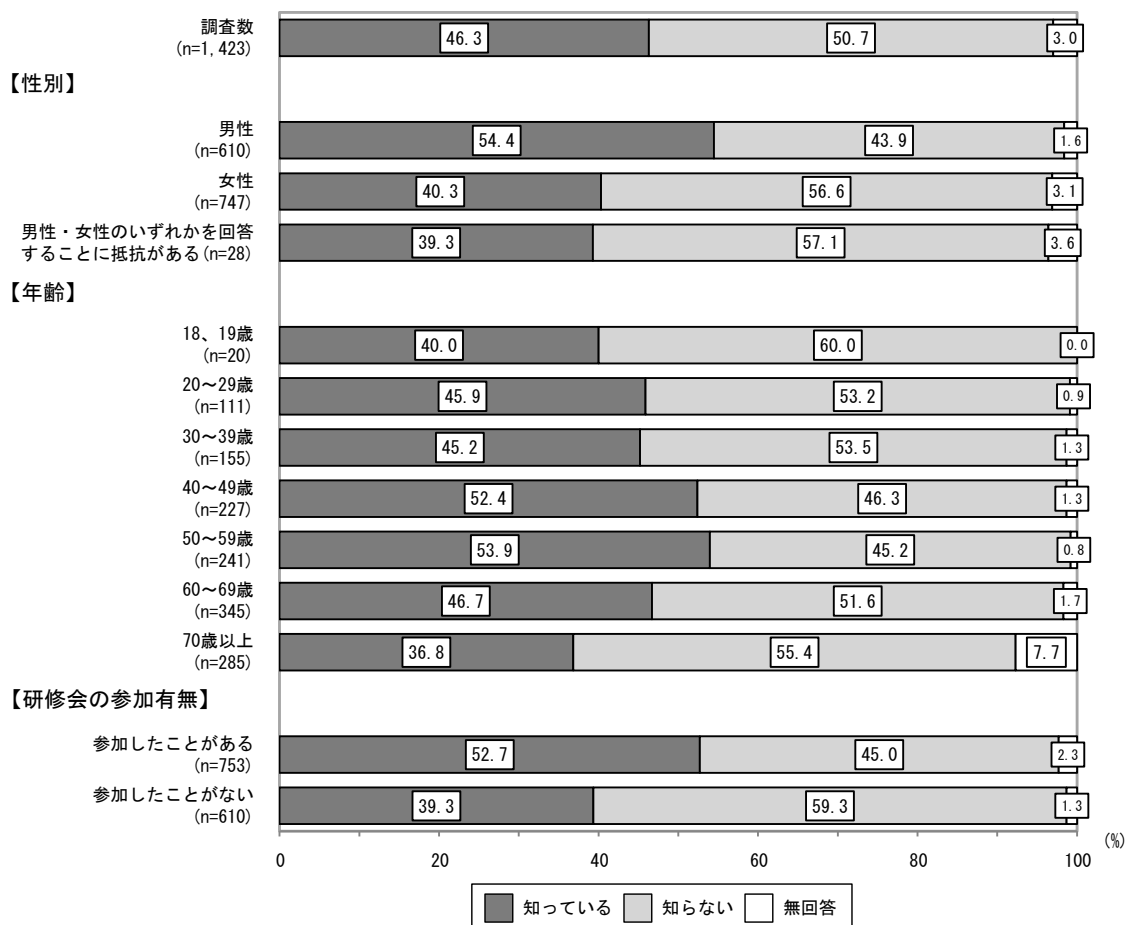
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「やや抵抗がある」が高く、参加したことがあるでは42.4%、参加したことがないでは36.1%となっている。

(21) ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等の認知度

問 18 あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知っていますか。

(○は1つ)



【全体】

ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等の認知度についてみると、「知らない」が50.7%と最も高く、次いで、「知っている」が46.3%となっている。

【性別】

性別でみると、男性では「知っている」が54.4%と最も高く、女性、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは「知らない」がそれぞれ56.6%、57.1%と最も高くなっている。

【年齢】

年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、60～69歳、70歳以上では「知らない」がそれぞれ最も高く、40～49歳、50～59歳では「知っている」がそれぞれ最も高くなっている。

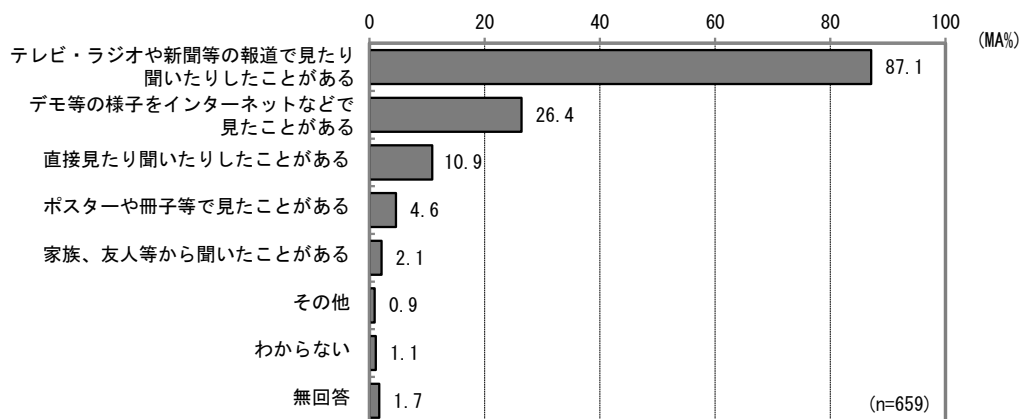
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「知っている」が52.7%と最も高く、参加したことがないでは「知らない」が59.3%と最も高くなっている。

(22) ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知ったきっかけ

問 18-1 問 18 で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。

あなたは、そのようなデモ等をどのようにして知りましたか。(〇はいくつでも)



【全体】

ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知ったきっかけについてみると、「テレビ・ラジオや新聞等の報道で見たり聞いたりしたことがある」が 87.1%と最も高く、次いで、「デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある」が 26.4%、「直接見たり聞いたりしたことがある」が 10.9%、「ポスターや冊子等で見たことがある」が 4.6%、「家族、友人等から聞いたことがある」が 2.1%となっている。

分類/回答		調査数	直接見たり聞いたたりしたことがある	インターネットなどで見たことがある	テレビ・ラジオや新聞等の報道で見たり聞いたことがある	ポスターや冊子等で見たことがある	家族、友人等から聞いたことがある	その他	わからない	無回答
性別年代	調査数	100.0	10.9	26.4	87.1	4.6	2.1	0.9	1.1	1.7
	男性18、19歳	100.0	20.0	40.0	80.0	-	-	-	-	-
	男性20歳代	100.0	28.6	39.3	78.6	7.1	3.6	3.6	-	3.6
	男性30歳代	100.0	21.1	47.4	65.8	2.6	-	-	-	-
	男性40歳代	100.0	11.3	39.6	86.8	-	-	1.9	-	3.8
	男性50歳代	100.0	13.8	38.5	90.8	6.2	4.6	1.5	-	-
	男性60歳代	100.0	10.5	27.9	89.5	5.8	2.3	1.2	1.2	2.3
	男性70歳代以上	100.0	7.1	16.1	89.3	-	-	-	3.6	1.8
	女性18、19歳	100.0	-	33.3	100.0	-	33.3	-	-	-
	女性20歳代	100.0	13.0	30.4	78.3	4.3	4.3	-	4.3	-
	女性30歳代	100.0	10.0	30.0	73.3	3.3	-	-	-	-
	女性40歳代	100.0	4.9	29.5	96.7	8.2	-	-	-	-
	女性50歳代	100.0	4.7	15.6	87.5	4.7	-	-	3.1	3.1
	女性60歳代	100.0	6.8	16.2	95.9	1.4	2.7	-	-	2.7
	女性70歳代以上	100.0	13.3	6.7	84.4	11.1	4.4	2.2	2.2	-
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	抵抗がある40歳代	100.0	-	-	75.0	-	25.0	25.0	-	-
	抵抗がある50歳代	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
抵抗がある70歳代以上	100.0	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	
無回答	100.0	17.6	17.6	88.2	11.8	5.9	-	-	5.9	
研修会	調査数	100.0	10.9	26.4	87.1	4.6	2.1	0.9	1.1	1.7
	参加したことがある	100.0	10.3	26.2	89.2	5.3	2.5	1.0	0.8	1.8
	参加したことがない	100.0	11.3	27.5	83.8	2.9	1.3	0.8	1.3	1.3
	無回答	100.0	18.2	18.2	86.4	9.1	4.5	-	4.5	4.5

【性別年代】

性別年代別でみると、すべてのカテゴリーで「テレビ・ラジオや新聞等の報道で見たり聞いたたりしたことがある」が最も高くなっている。

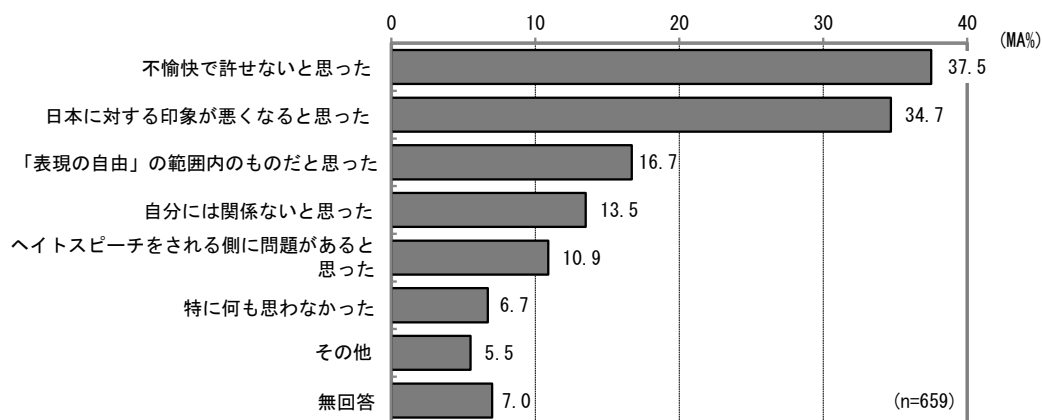
【研修会の参加有無別】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「テレビ・ラジオや新聞等の報道で見たり聞いたたりしたことがある」が高く、参加したことがあるでは89.2%、参加したことがないでは83.8%となっている。

(23) ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等に関する考え方

問 18-2 問 18 で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。

あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。あなたの意見に近いものを選んでください。(〇はいくつでも)



【全体】

ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等に関する考え方についてみると、「不愉快で許せないと思った」が 37.5%と最も高く、次いで、「日本に対する印象が悪くなると思った」が 34.7%、「「表現の自由」の範囲内のものだった」が 16.7%、「自分には関係ないと思った」が 13.5%、「ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った」が 10.9%となっている。

分類／回答		調査数	不愉快で許せないと思つた	日本に対する印象が悪くなると思つた	自分には関係ないと思つた	ヘイトスピーチをされる側に問題があると 思つた	「表現の自由」の範囲内のものだと思つた	特に何も思わなかつた	その他	無回答
性別年代	調査数	100.0	37.5	34.7	13.5	10.9	16.7	6.7	5.5	7.0
	男性18、19歳	100.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-
	男性20歳代	100.0	28.6	25.0	17.9	17.9	17.9	14.3	3.6	14.3
	男性30歳代	100.0	31.6	39.5	21.1	13.2	15.8	5.3	10.5	15.8
	男性40歳代	100.0	34.0	32.1	18.9	20.8	18.9	5.7	13.2	3.8
	男性50歳代	100.0	43.1	41.5	12.3	15.4	12.3	3.1	7.7	3.1
	男性60歳代	100.0	43.0	46.5	10.5	15.1	10.5	5.8	2.3	4.7
	男性70歳代以上	100.0	37.5	39.3	12.5	14.3	25.0	5.4	-	5.4
	女性18、19歳	100.0	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-
	女性20歳代	100.0	26.1	34.8	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3
	女性30歳代	100.0	36.7	36.7	20.0	3.3	20.0	10.0	6.7	10.0
	女性40歳代	100.0	45.9	29.5	13.1	6.6	14.8	8.2	6.6	4.9
	女性50歳代	100.0	31.3	31.3	7.8	4.7	25.0	7.8	4.7	4.7
	女性60歳代	100.0	39.2	27.0	8.1	5.4	18.9	6.8	5.4	8.1
	女性70歳代以上	100.0	37.8	28.9	17.8	6.7	11.1	8.9	2.2	15.6
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	100.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	抵抗がある40歳代	100.0	-	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0
	抵抗がある50歳代	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
抵抗がある70歳代以上	100.0	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	
無回答	100.0	35.3	35.3	11.8	11.8	23.5	5.9	-	5.9	
研修会	調査数	100.0	37.5	34.7	13.5	10.9	16.7	6.7	5.5	7.0
	参加したことがある	100.0	38.3	38.5	14.1	10.1	17.1	5.0	5.8	5.8
	参加したことがない	100.0	36.3	31.3	12.1	12.9	17.1	9.6	5.0	6.7
	無回答	100.0	36.4	4.5	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5	31.8

【性別年代】

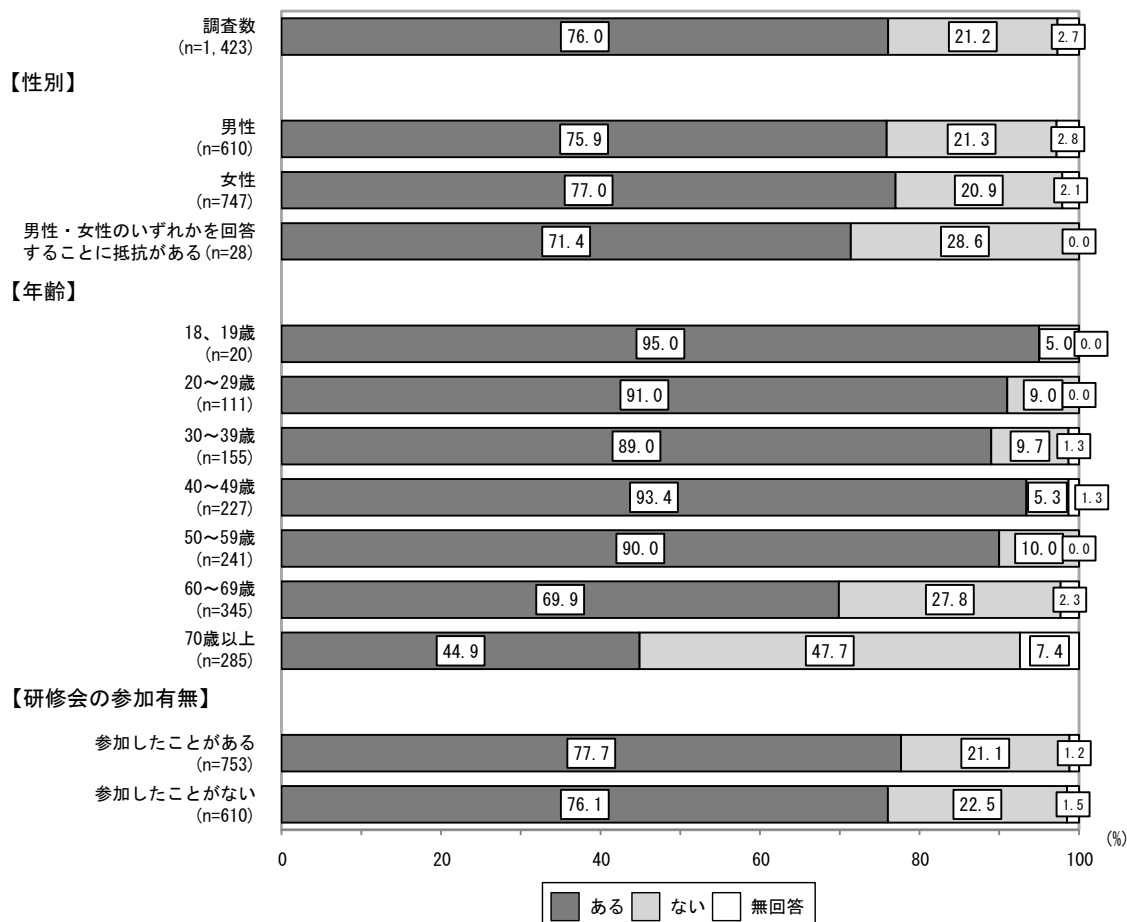
性別年代別でみると、男性 18、19 歳、男性 20 歳代、男性 40 歳代、男性 50 歳代、女性 18、19 歳、女性 40 歳代、女性 60 歳代、女性 70 歳代以上、抵抗がある 50 歳代では「不愉快で許せないと思った」がそれぞれ最も高く、男性 30 歳代、男性 60 歳代、男性 70 歳代以上、女性 20 歳代、抵抗がある 70 歳代以上では「日本に対する印象が悪くなると思った」がそれぞれ最も高く、女性 30 歳代、女性 50 歳代では「不愉快で許せないと思った」と「日本に対する印象が悪くなると思った」が高く、抵抗がある 30 歳代では「日本に対する印象が悪くなると思った」と「表現の自由」の範囲内のものだと思った」、「ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った」が 50.0%と最も高く、抵抗がある 40 歳代では「日本に対する印象が悪くなると思った」と「ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った」が高く、抵抗がある 60 歳代では「自分には関係ないと思った」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「日本に対する印象が悪くなると思った」が 38.5%と最も高く、参加したことがないでは「不愉快で許せないと思った」が 36.3%と最も高くなっている。

(24) 学校で差別や人権に関する教育を受けた経験

問 19 あなたは、これまで学校で差別や人権に関する教育をうけたことがありますか。
(○は1つ)



【全体】

学校で差別や人権に関する教育を受けた経験についてみると、「ある」が76.0%と最も高く、次いで、「ない」が21.2%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「ある」が高く、男性では75.9%、女性では77.0%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは71.4%となっている。

【年齢】

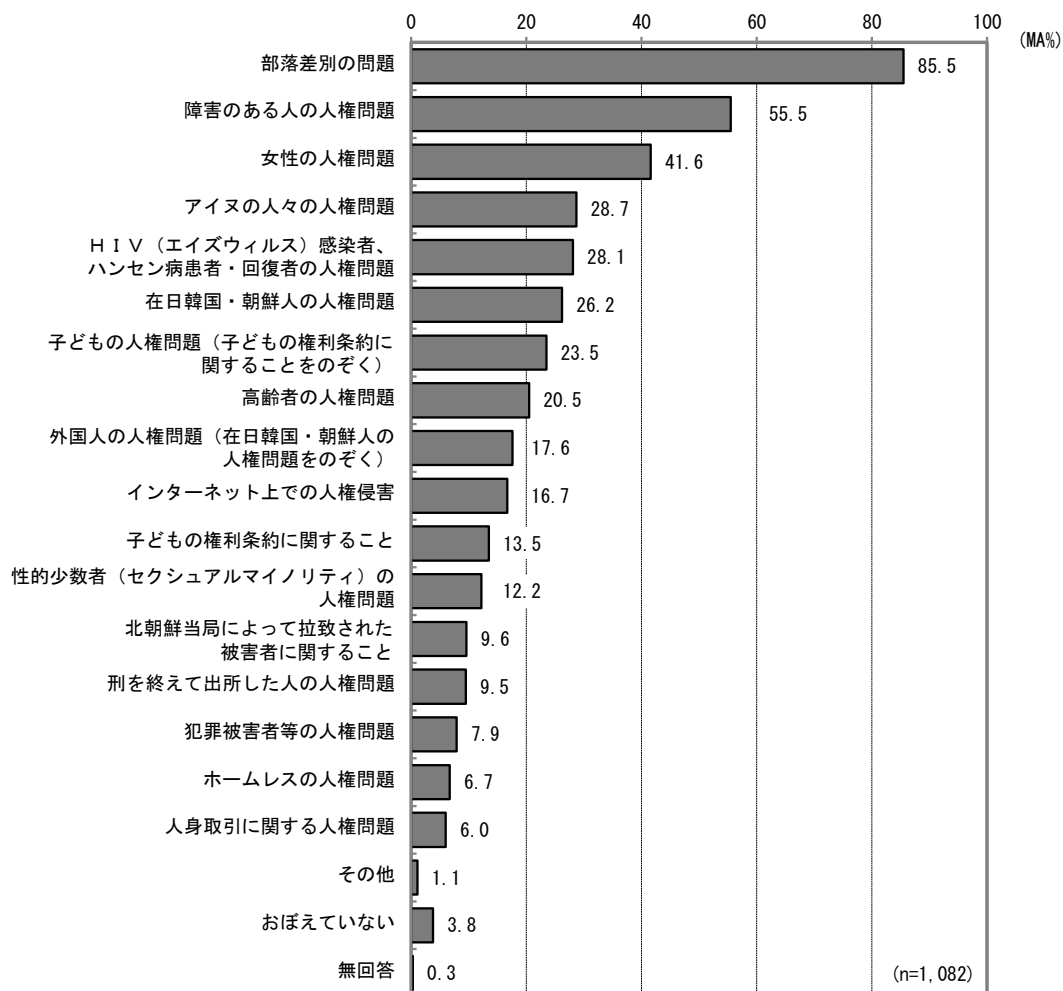
年齢別でみると、18、19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「ある」がそれぞれ最も高く、70歳以上では「ない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「ある」が高く、参加したことがあるでは77.7%、参加したことがないでは76.1%となっている。

(25) 学校で受けた差別や人権に関する教育の内容

問 19-1 問 19 で「1 ある」と回答された方にお聞きします。
 どのような内容を教わりましたか。(〇はいくつでも)



【全体】

学校で受けた差別や人権に関する教育の内容についてみると、「部落差別の問題」が 85.5%と最も高く、次いで、「障害のある人の人権問題」が 55.5%、「女性の人権問題」が 41.6%、「アイヌの人々の人権問題」が 28.7%、「HIV (エイズウィルス) 感染者、ハンセン病患者・回復者の人権問題」が 28.1%となっている。

分類/回答		調査数	女性の 人権問題	子どもの 権利条約に 関する こと	子どもの 権利条約に 関 すること	高 齢者 の 人 権 問 題	障 害 の あ る 人 の 人 権 問 題	部 落 差 別 の 問 題	ア イ ヌ の 人 々 の 人 権 問 題	外 国 人 の 人 権 問 題 （ 日 韓 国 ・ 朝 鮮 人 の 人 権 問 題 を の ぞ く ）	在 日 韓 国 ・ 朝 鮮 人 の 人 権 問 題	H I V （ エ イ ズ ウ イ ル ） 感 染 者 ・ ハ ン セ ン 病 患 者 ・ 回 復 者 の 人 権 問 題	
性別年代	調査数	100.0	41.6	23.5	13.5	20.5	55.5	85.5	28.7	17.6	26.2	28.1	
	男性18、19歳	100.0	62.5	25.0	12.5	25.0	62.5	62.5	37.5	25.0	12.5	37.5	
	男性20歳代	100.0	61.4	38.6	20.5	29.5	72.7	56.8	34.1	31.8	25.0	38.6	
	男性30歳代	100.0	47.4	22.8	12.3	22.8	66.7	80.7	40.4	19.3	26.3	42.1	
	男性40歳代	100.0	29.8	11.9	2.4	11.9	48.8	90.5	25.0	9.5	23.8	23.8	
	男性50歳代	100.0	37.1	23.7	12.4	21.6	52.6	95.9	38.1	26.8	37.1	28.9	
	男性60歳代	100.0	32.7	21.5	7.5	13.1	47.7	86.0	30.8	17.8	29.0	22.4	
	男性70歳代以上	100.0	31.3	21.9	12.5	15.6	45.3	90.6	17.2	12.5	28.1	12.5	
	女性18、19歳	100.0	54.5	18.2	27.3	9.1	54.5	72.7	45.5	27.3	27.3	36.4	
	女性20歳代	100.0	59.6	26.3	28.1	19.3	73.7	61.4	38.6	17.5	24.6	45.6	
	女性30歳代	100.0	62.8	44.9	24.4	16.7	73.1	87.2	35.9	28.2	35.9	51.3	
	女性40歳代	100.0	42.5	23.3	14.2	18.3	60.0	88.3	31.7	18.3	28.3	31.7	
	女性50歳代	100.0	39.3	20.5	12.0	20.5	55.6	91.5	27.4	13.7	26.5	23.1	
	女性60歳代	100.0	39.7	24.4	16.0	29.0	45.0	90.8	20.6	12.2	19.8	20.6	
	女性70歳代以上	100.0	30.5	8.5	5.1	25.4	40.7	74.6	10.2	6.8	8.5	10.2	
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	100.0	-	66.7	66.7	-	
	抵抗がある40歳代	100.0	50.0	12.5	12.5	37.5	75.0	87.5	-	-	12.5	25.0	
	抵抗がある50歳代	100.0	66.7	-	-	-	33.3	100.0	33.3	-	33.3	-	
抵抗がある60歳代	100.0	33.3	33.3	-	33.3	66.7	100.0	-	-	-	33.3		
抵抗がある70歳代以上	100.0	33.3	-	-	33.3	-	100.0	-	-	-	-		
無回答	100.0	35.7	28.6	14.3	32.1	60.7	85.7	32.1	25.0	21.4	32.1		
研修会	調査数	100.0	41.6	23.5	13.5	20.5	55.5	85.5	28.7	17.6	26.2	28.1	
	参加したことがある	100.0	41.5	26.2	15.2	25.3	55.9	89.4	29.4	19.7	28.7	26.8	
	参加したことがない	100.0	42.0	20.9	11.6	14.7	55.8	81.3	28.9	15.1	22.8	30.4	
	無回答	100.0	36.4	12.1	9.1	18.2	42.4	75.8	15.2	15.2	27.3	18.2	

分類／回答		刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者等の人権問題	インターネット上での人権侵害	ホームレスの人権問題	性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の人権問題	北朝鮮当局によって拉致された被害者に 関すること	人身取引に関する人権問題	その他	おぼえていない	無回答
性別年代	調査数	9.5	7.9	16.7	6.7	12.2	9.6	6.0	1.1	3.8	0.3
	男性18、19歳	12.5	25.0	37.5	12.5	37.5	12.5	12.5	-	12.5	-
	男性20歳代	11.4	13.6	50.0	18.2	20.5	13.6	2.3	-	2.3	-
	男性30歳代	5.3	7.0	21.1	10.5	15.8	10.5	5.3	1.8	5.3	-
	男性40歳代	11.9	8.3	10.7	6.0	10.7	8.3	7.1	1.2	4.8	-
	男性50歳代	13.4	12.4	19.6	12.4	15.5	11.3	10.3	1.0	1.0	-
	男性60歳代	12.1	7.5	9.3	3.7	8.4	8.4	3.7	0.9	2.8	1.9
	男性70歳代以上	10.9	7.8	7.8	3.1	1.6	9.4	4.7	1.6	1.6	-
	女性18、19歳	9.1	9.1	27.3	-	18.2	18.2	-	-	18.2	-
	女性20歳代	7.0	8.8	42.1	8.8	31.6	15.8	7.0	1.8	8.8	-
	女性30歳代	10.3	11.5	23.1	5.1	15.4	3.8	5.1	1.3	2.6	-
	女性40歳代	5.0	4.2	17.5	5.8	15.0	6.7	6.7	-	3.3	0.8
	女性50歳代	8.5	4.3	10.3	5.1	9.4	6.8	6.0	0.9	3.4	-
	女性60歳代	6.9	6.1	9.9	3.8	7.6	12.2	4.6	-	4.6	-
	女性70歳代以上	10.2	5.1	3.4	5.1	3.4	10.2	3.4	3.4	6.8	-
	抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	抵抗がある40歳代	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	25.0	-	-	-
	抵抗がある50歳代	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
抵抗がある70歳代以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17.9	14.3	25.0	14.3	14.3	17.9	14.3	7.1	-	-	
研修会	調査数	9.5	7.9	16.7	6.7	12.2	9.6	6.0	1.1	3.8	0.3
	参加したことがある	12.3	9.2	18.5	7.7	13.5	12.3	6.5	1.4	2.9	0.3
	参加したことがない	5.4	5.8	15.1	5.2	11.0	6.5	5.2	0.6	4.3	0.2
	無回答	18.2	15.2	9.1	9.1	6.1	6.1	9.1	3.0	12.1	-

【性別年代】

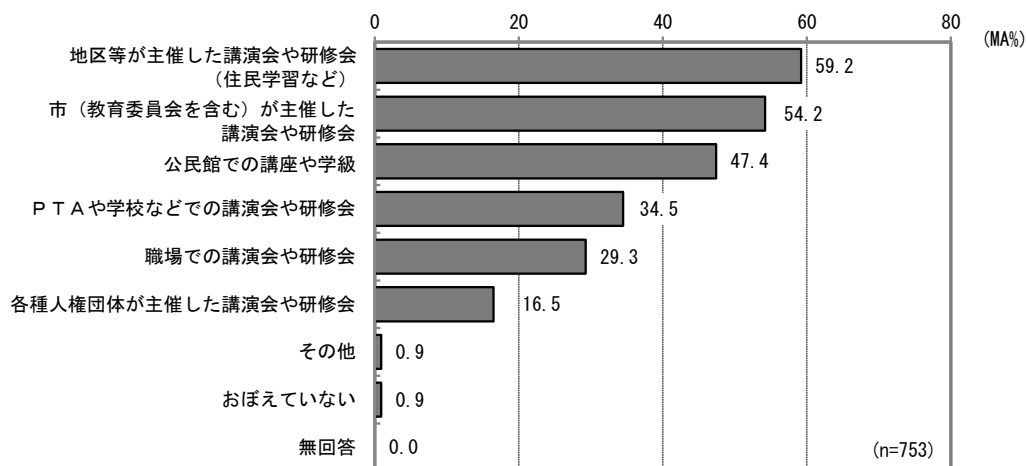
性別年代でみると、男性18、19歳では「部落差別の問題」と「障害のある人の人権問題」、「女性の人権問題」が最も高く、男性20歳代、女性20歳代では「障害のある人の人権問題」がそれぞれ最も高く、男性30歳代、男性40歳代、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳代以上、女性18、19歳、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある30歳代、抵抗がある40歳代、抵抗がある50歳代、抵抗がある60歳代、抵抗がある70歳代以上では「部落差別の問題」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「部落差別の問題」が高く、参加したことがあるでは89.4%、参加したことがないでは81.3%となっている。

(27) 参加した講演会や研修会の内容

問 20-1 問 20 で「1 参加したことがある」と回答された方にお聞きします。
それはどういう種類のものでしたか。(〇はいくつでも)



【全体】

参加した講演会や研修会の内容についてみると、「地区等が主催した講演会や研修会 (住民学習など)」が 59.2% と最も高く、次いで、「市 (教育委員会を含む) が主催した講演会や研修会」が 54.2%、「公民館での講座や学級」が 47.4%、「P T A や学校などでの講演会や研修会」が 34.5%、「職場での講演会や研修会」が 29.3% となっている。

分類/回答	調査数	市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会	公民館での講座や学級	P T A や学校などの講演会や研修会	職場での講演会や研修会	地区等が主催した講演会や研修会（住民学習など）	各種人権団体が主催した講演会や研修会	その他	おぼえていない	無回答
調査数	100.0	54.2	47.4	34.5	29.3	59.2	16.5	0.9	0.9	-
性別年代										
男性18、19歳	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
男性20歳代	100.0	50.0	8.3	8.3	58.3	25.0	-	8.3	-	-
男性30歳代	100.0	35.0	35.0	35.0	25.0	30.0	15.0	-	-	-
男性40歳代	100.0	63.4	34.1	26.8	26.8	46.3	12.2	2.4	-	-
男性50歳代	100.0	61.5	49.2	35.4	30.8	66.2	12.3	-	1.5	-
男性60歳代	100.0	53.9	49.6	27.8	40.0	68.7	19.1	1.7	0.9	-
男性70歳代以上	100.0	59.6	61.7	17.0	25.5	70.2	19.1	-	2.1	-
女性18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	100.0	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	-	12.5	-	-
女性30歳代	100.0	42.1	10.5	52.6	52.6	10.5	-	-	5.3	-
女性40歳代	100.0	58.0	22.0	72.0	42.0	30.0	12.0	-	-	-
女性50歳代	100.0	51.4	43.2	52.7	31.1	54.1	5.4	-	1.4	-
女性60歳代	100.0	53.8	54.5	34.1	25.8	70.5	18.2	-	-	-
女性70歳代以上	100.0	47.8	57.8	25.6	12.2	70.0	31.1	1.1	1.1	-
抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある30歳代	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
抵抗がある40歳代	100.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
抵抗がある50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある60歳代	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-
抵抗がある70歳代以上	100.0	100.0	66.7	-	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-
無回答	100.0	66.7	71.4	52.4	14.3	52.4	19.0	-	-	-
研修会										
調査数	100.0	54.2	47.4	34.5	29.3	59.2	16.5	0.9	0.9	-
参加したことがある	100.0	54.2	47.4	34.5	29.3	59.2	16.5	0.9	0.9	-
参加したことがない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【性別年代】

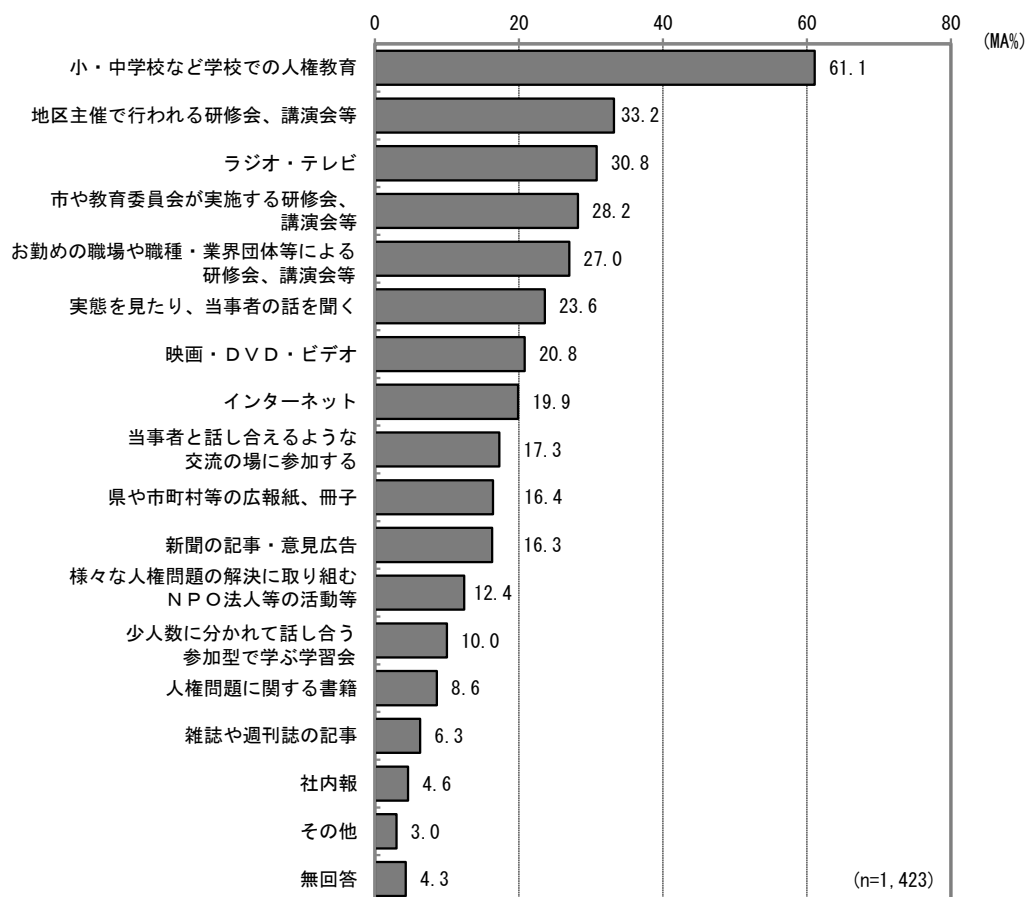
性別年代別でみると、男性 18、19 歳では「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」と「PTAや学校などでの講演会や研修会」が高く、男性 20 歳代、女性 20 歳代では「職場での講演会や研修会」がそれぞれ最も高く、男性 30 歳代では「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」と「公民館での講座や学級」、「PTAや学校などでの講演会や研修会」が高く、男性 40 歳代、抵抗がある 70 歳代以上では「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」がそれぞれ最も高く、男性 50 歳代、男性 60 歳代、男性 70 歳代以上、女性 50 歳代、女性 60 歳代、女性 70 歳代以上、抵抗がある 60 歳代では「地区等が主催した講演会や研修会（住民学習など）」がそれぞれ最も高く、女性 30 歳代では「PTAや学校などでの講演会や研修会」と「職場での講演会や研修会」が高く、女性 40 歳代では「PTAや学校などでの講演会や研修会」が最も高く、抵抗がある 30 歳代では「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」と「PTAや学校などでの講演会や研修会」、「職場での講演会や研修会」が高く、抵抗がある 40 歳代では「地区等が主催した講演会や研修会（住民学習など）」と「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」、「PTAや学校などでの講演会や研修会」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、参加したことがあるでは「地区等が主催した講演会や研修会（住民学習など）」が 59.2%と最も高く、次いで「市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会」が 54.2%、「公民館での講座や学級」が 47.4%となっている。

(28) 人権問題について理解や認識を深めるために役立つもの

問 21 あなたは人権問題について理解や認識を深めるためには、どういうものが役立つと思いますか。(〇はいくつでも)



【全体】

人権問題について理解や認識を深めるために役立つものについてみると、「小・中学校など学校での人権教育」が61.1%と最も高く、次いで、「地区主催で行われる研修会、講演会等」が33.2%、「ラジオ・テレビ」が30.8%、「市や教育委員会が実施する研修会、講演会等」が28.2%、「お勤めの職場や職種・業界団体等による研修会、講演会等」が27.0%となっている。

分類/回答	調査数	地区主催で行われる研修会、講演会等	市や教育委員会が実施する研修会、講演会等	会費負担等による研修会、講演会等	お勤めの職場や職場・業界団体等による研修・講演会等	小・中学校など学校での人権教育	学習会	少人数に分かれて話し合う参加型で学ぶ学習会	当事者と話し合えるような交流の場に参加する	当事者を見たり、当事者の話を聞いたり、当事者の紙、冊子	県や市町村等の広報	社内報	新聞の記事・意見広告	雑誌や週刊誌の記事	人権問題に関する書籍	ラジオ・テレビ	インターネット	映画・DVD・ビデオ	様々な人権問題の解決に取り組むNPO法人等の活動等	その他	無回答
調査数	100.0	33.2	28.2	27.0	61.1	10.0	17.3	23.6	16.4	4.6	16.3	6.3	8.6	30.8	19.9	20.8	12.4	3.0	4.3		
男性18、19歳	100.0	-	-	11.1	100.0	11.1	22.2	11.1	-	-	11.1	-	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-		
男性20歳代	100.0	17.0	14.9	23.4	66.0	12.8	25.5	27.7	8.5	4.3	17.0	10.6	8.5	40.4	40.4	23.4	8.5	2.1	-		
男性30歳代	100.0	18.2	13.6	31.8	69.7	12.1	18.2	36.4	10.6	7.6	24.2	13.6	7.6	33.3	34.8	19.7	7.6	4.5	1.5		
男性40歳代	100.0	27.5	26.4	22.0	63.7	6.6	17.6	25.3	14.3	8.8	17.6	6.6	9.9	34.1	27.5	16.5	9.9	2.2	2.2		
男性50歳代	100.0	39.1	36.4	30.0	59.1	10.9	18.2	27.3	9.1	4.5	14.5	6.4	6.4	32.7	21.8	21.8	12.7	7.3	2.7		
男性60歳代	100.0	44.6	36.3	29.3	58.6	14.6	13.4	22.3	16.6	5.7	13.4	5.7	10.2	27.4	12.7	19.7	13.4	2.5	3.2		
男性70歳代以上	100.0	49.6	41.7	23.6	41.7	11.0	14.2	14.2	27.6	4.7	15.0	7.9	10.2	20.5	6.3	11.0	9.4	1.6	10.2		
女性18、19歳	100.0	-	-	18.2	81.8	9.1	18.2	9.1	9.1	-	18.2	-	18.2	27.3	45.5	27.3	18.2	-	-		
女性20歳代	100.0	12.5	12.5	48.4	85.9	10.9	35.9	43.8	18.8	7.8	14.1	12.5	12.5	46.9	43.8	34.4	6.3	1.6	-		
女性30歳代	100.0	12.8	12.8	38.4	80.2	11.6	30.2	31.4	17.4	5.8	18.6	7.0	10.5	43.0	48.8	34.9	15.1	-	-		
女性40歳代	100.0	26.0	29.9	32.3	73.2	8.7	19.7	27.6	18.1	2.4	22.8	7.1	3.1	37.0	25.2	23.6	15.7	5.5	0.8		
女性50歳代	100.0	37.0	28.3	25.2	61.4	6.3	13.4	22.0	14.2	3.9	18.1	7.9	11.0	33.9	15.7	25.2	10.2	3.1	1.6		
女性60歳代	100.0	40.3	34.3	28.2	64.1	9.4	14.4	20.4	17.1	4.4	14.4	2.8	9.9	28.7	11.0	22.7	17.1	1.7	2.8		
女性70歳代以上	100.0	42.6	27.0	13.5	42.6	8.8	12.2	15.5	18.2	2.0	15.5	2.7	5.4	19.6	2.7	13.5	13.5	2.7	11.5		
抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
抵抗がある30歳代	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	66.7	-	-	33.3	-		
抵抗がある40歳代	100.0	12.5	25.0	25.0	50.0	12.5	12.5	37.5	25.0	-	37.5	-	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5	-	-		
抵抗がある50歳代	100.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-		
抵抗がある60歳代	100.0	57.1	28.6	14.3	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	14.3		
抵抗がある70歳代以上	100.0	-	33.3	16.7	66.7	-	-	50.0	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7		
無回答	100.0	22.7	18.2	13.6	40.9	9.1	13.6	15.9	13.6	2.3	6.8	2.3	4.5	18.2	11.4	9.1	6.8	6.8	22.7		
調査数	100.0	33.2	28.2	27.0	61.1	10.0	17.3	23.6	16.4	4.6	16.3	6.3	8.6	30.8	19.9	20.8	12.4	3.0	4.3		
参加したことがある	100.0	45.6	39.4	30.1	60.6	12.4	17.5	23.8	17.3	4.2	14.7	4.9	8.5	26.6	15.0	23.2	13.7	2.7	2.8		
参加したことがない	100.0	19.0	15.6	24.3	63.4	7.5	17.7	24.9	15.6	5.2	18.2	8.0	9.0	37.4	26.9	18.4	11.3	3.4	3.3		
無回答	100.0	23.3	15.0	15.0	43.3	5.0	10.0	8.3	13.3	1.7	16.7	6.7	5.0	16.7	10.0	15.0	8.3	3.3	33.3		

【性別年代】

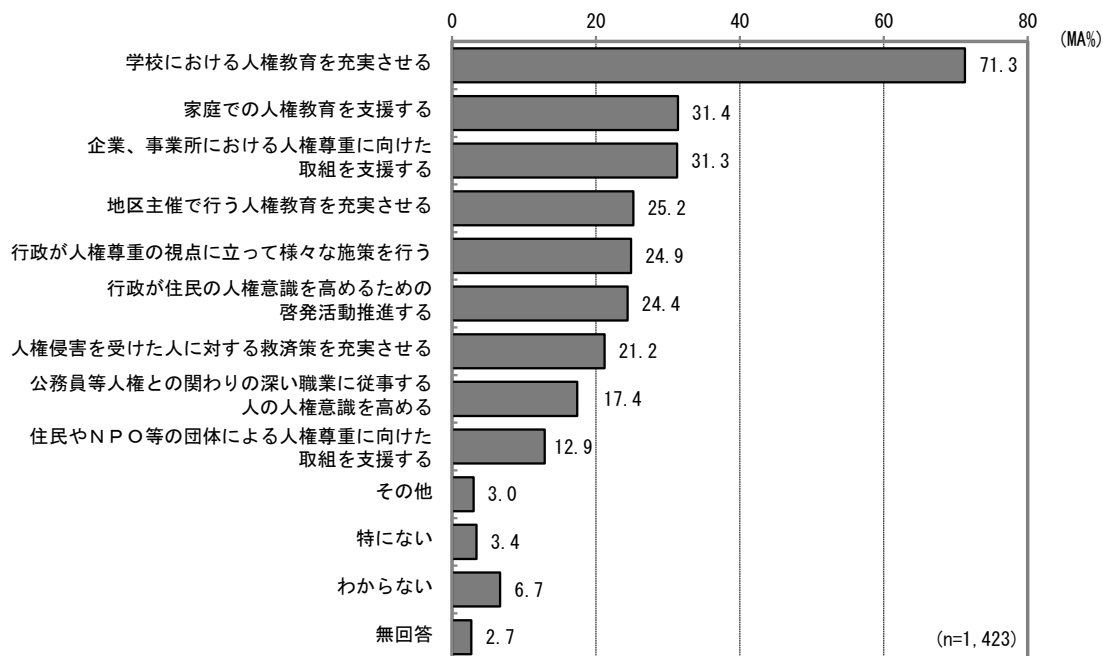
性別年代別でみると、男性18、19歳、男性20歳代、男性30歳代、男性40歳代、男性50歳代、男性60歳代、女性18、19歳、女性20歳代、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、抵抗がある70歳代以上では「小・中学校など学校での人権教育」がそれぞれ最も高く、男性70歳代以上、抵抗がある60歳代では「地区主催で行われる研修会、講演会等」がそれぞれ最も高く、女性70歳代以上では「小・中学校など学校での人権教育」と「地区主催で行われる研修会、講演会等」が最も高く、抵抗がある30歳代では「ラジオ・テレビ」と「インターネット」が66.7%と高く、抵抗がある40歳代では「小・中学校など学校での人権教育」と「ラジオ・テレビ」が50.0%と最も高く、抵抗がある50歳代では「小・中学校など学校での人権教育」と「ラジオ・テレビ」、「様々な人権問題の解決に取り組むNPO法人等の活動等」が高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「小・中学校など学校での人権教育」が高く、参加したことがあるでは60.6%、参加したことがないでは63.4%となっている。

(29) 人権が尊重される社会を実現するために必要な施策

問 22 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、どのような人権教育や啓発の施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



【全体】

人権が尊重される社会を実現するために必要な施策についてみると、「学校における人権教育を充実させる」が71.3%と最も高く、次いで、「家庭での人権教育を支援する」が31.4%、「企業、事業所における人権尊重に向けた取組を支援する」が31.3%、「地区主催で行う人権教育を充実させる」が25.2%、「行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う」が24.9%となっている。

分類/回答	調査数	学校における人権教育を充実させる	家庭での人権教育を支援する	地区主催で行う人権教育を充実させる	企業、事業所における人権尊重に向けた取組を支援する	行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する	行政が人権尊重の視点を立って様々な施策を行う	公務員等の人権意識を高める	住民やNPO等の団体による人権尊重に向けた取組を支援する	人権侵害を受けた人に対する救済策を充実させる	その他	特になし	わからない	無回答
調査数	100.0	71.3	31.4	25.2	31.3	24.4	24.9	17.4	12.9	21.2	3.0	3.4	6.7	2.7
性別年代														
男性18、19歳	100.0	77.8	33.3	-	22.2	22.2	33.3	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	-
男性20歳代	100.0	78.7	36.2	19.1	27.7	12.8	21.3	10.6	10.6	21.3	4.3	2.1	6.4	-
男性30歳代	100.0	69.7	36.4	13.6	36.4	21.2	22.7	13.6	18.2	25.8	6.1	4.5	9.1	1.5
男性40歳代	100.0	69.2	34.1	18.7	30.8	23.1	22.0	14.3	15.4	18.7	3.3	5.5	8.8	1.1
男性50歳代	100.0	71.8	30.0	24.5	35.5	27.3	22.7	15.5	15.5	21.8	7.3	6.4	2.7	1.8
男性60歳代	100.0	73.2	26.1	32.5	34.4	31.2	24.2	19.7	15.9	20.4	1.9	0.6	6.4	0.6
男性70歳代以上	100.0	63.0	25.2	35.4	28.3	32.3	31.5	14.2	10.2	15.7	1.6	2.4	7.9	7.1
女性18、19歳	100.0	72.7	18.2	18.2	27.3	9.1	27.3	-	18.2	9.1	-	-	18.2	-
女性20歳代	100.0	92.2	43.8	15.6	42.2	18.8	31.3	15.6	10.9	29.7	1.6	1.6	3.1	-
女性30歳代	100.0	82.6	39.5	14.0	41.9	14.0	22.1	20.9	12.8	33.7	1.2	2.3	5.8	-
女性40歳代	100.0	81.1	36.2	18.1	30.7	22.0	22.8	18.1	11.8	23.6	4.7	0.8	6.3	0.8
女性50歳代	100.0	72.4	33.1	29.1	30.7	20.5	26.0	22.0	14.2	22.8	2.4	2.4	8.7	0.8
女性60歳代	100.0	71.8	34.8	33.7	32.6	27.6	26.5	19.3	13.8	21.0	0.6	2.2	5.0	2.2
女性70歳代以上	100.0	57.4	25.0	27.7	21.6	29.1	21.6	18.9	8.1	13.5	4.1	8.1	8.8	6.8
抵抗がある18、19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
抵抗がある30歳代	100.0	33.3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-
抵抗がある40歳代	100.0	75.0	25.0	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	-	37.5	-	-	-	-
抵抗がある50歳代	100.0	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-
抵抗がある60歳代	100.0	28.6	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	14.3	14.3	-	-	42.9	-
抵抗がある70歳代以上	100.0	66.7	-	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7
無回答	100.0	54.5	15.9	13.6	15.9	15.9	29.5	13.6	9.1	18.2	4.5	6.8	2.3	18.2
研修会														
調査数	100.0	71.3	31.4	25.2	31.3	24.4	24.9	17.4	12.9	21.2	3.0	3.4	6.7	2.7
参加したことがある	100.0	73.4	32.8	34.1	34.8	30.3	26.7	18.6	13.7	21.4	4.2	1.9	4.8	1.9
参加したことがない	100.0	70.8	31.0	14.4	27.9	17.7	23.9	16.4	12.1	21.5	1.3	5.1	9.2	1.3
無回答	100.0	50.0	18.3	21.7	21.7	18.3	13.3	11.7	11.7	15.0	3.3	5.0	6.7	28.3

【性別年代】

性別年代別でみると、男性18、19歳、男性20歳代、男性30歳代、男性40歳代、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳代以上、女性18、19歳、女性20歳代、女性30歳代、女性40歳代、女性50歳代、女性60歳代、女性70歳代以上、抵抗がある40歳代、抵抗がある50歳代、抵抗がある70歳代以上では「学校における人権教育を充実させる」がそれぞれ最も高く、抵抗がある30歳代では「家庭での人権教育を支援する」が最も高く、抵抗がある60歳代では「学校における人権教育を充実させる」と「企業、事業所における人権尊重に向けた取組を支援する」が高くなっている。

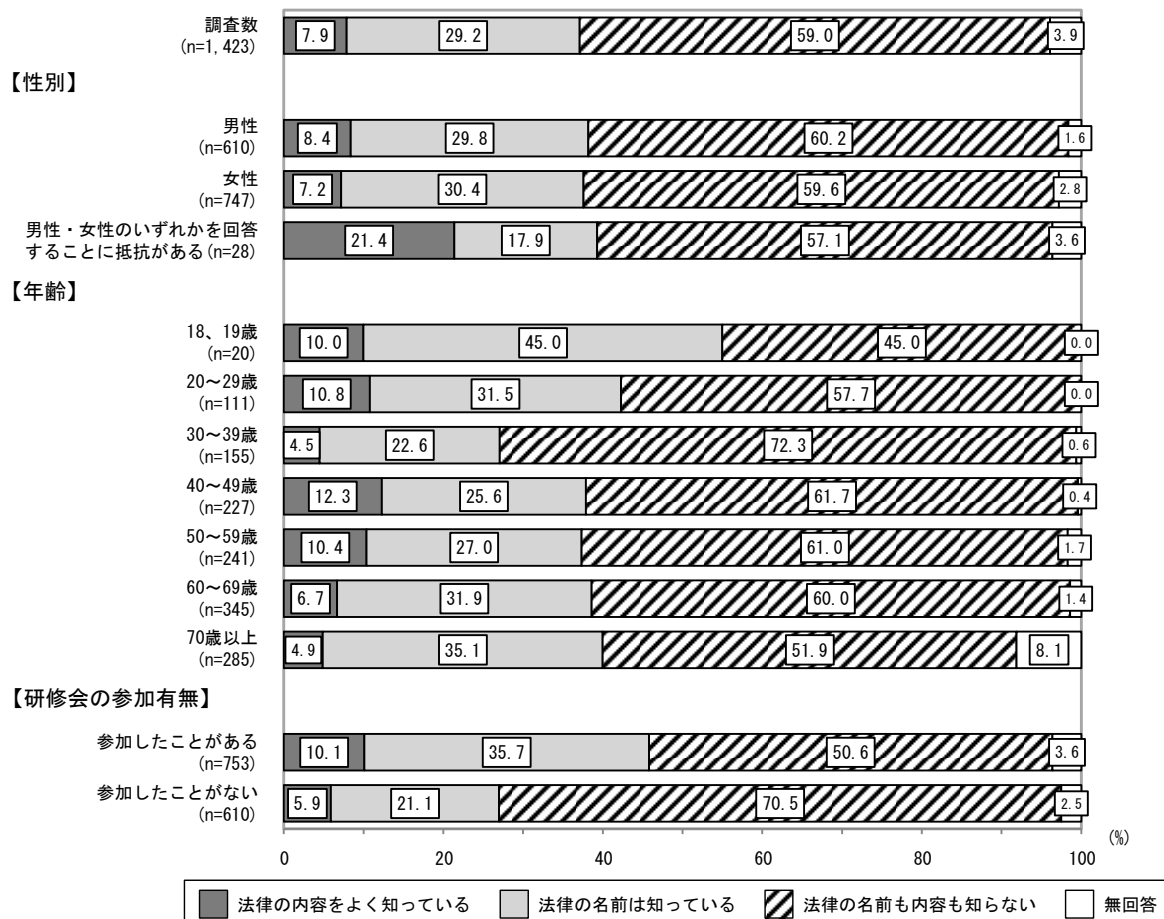
【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリで「学校における人権教育を充実させる」が高く、参加したことがあるでは73.4%、参加したことがないでは70.8%となっている。

(30) 法律の認識度

問 23 あなたは、次の法律について知っていますか。ア～ウのそれぞれについて、最もあてはまるものを選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

〔ア 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）※〕



【全体】

「法律の名前も内容も知らない」が59.0%と最も高く、次いで、「法律の名前は知っている」が29.2%、「法律の内容をよく知っている」が7.9%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「法律の名前も内容も知らない」が高く、男性では60.2%、女性では59.6%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは57.1%となっている。

【年齢】

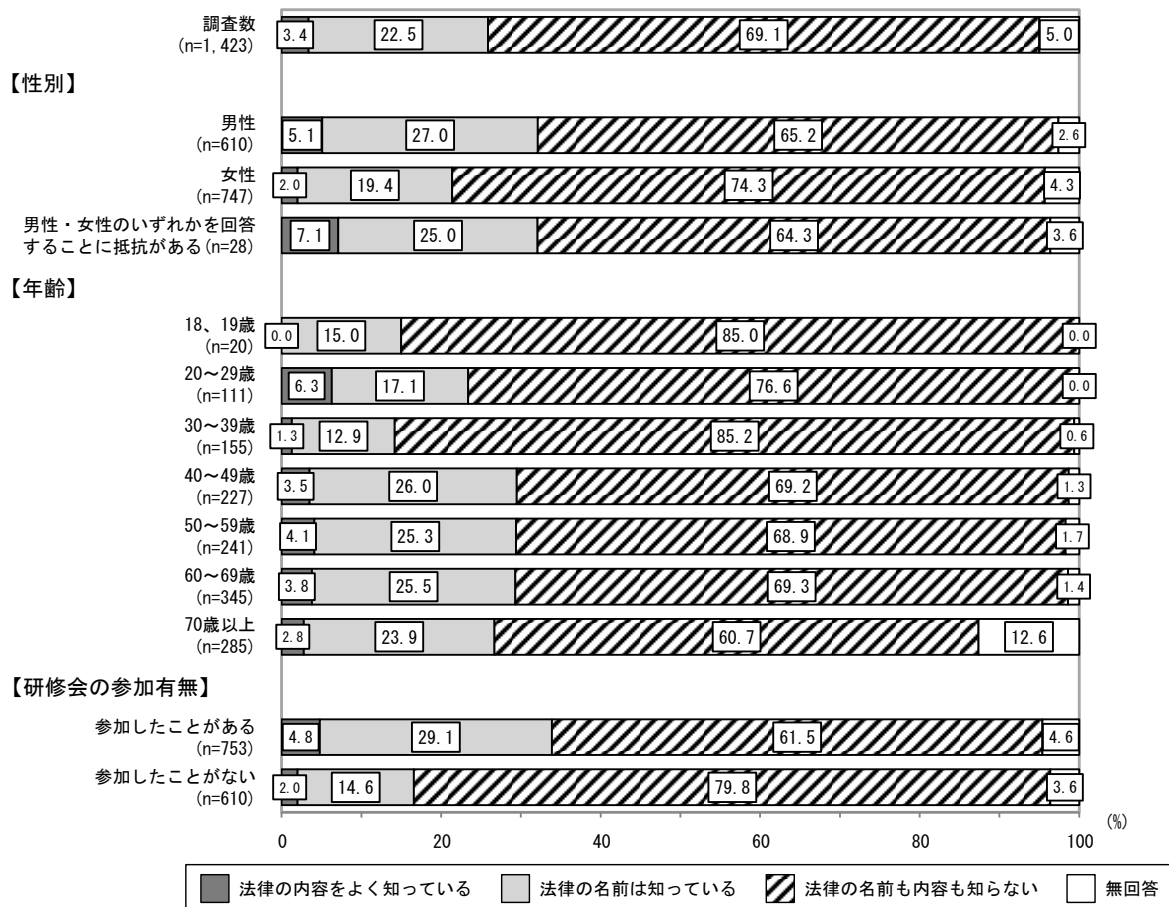
年齢別でみると、18、19歳では「法律の名前は知っている」と「法律の名前も内容も知らない」が最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「法律の名前も内容も知らない」がそれぞれ最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「法律の名前も内容も知らない」が高く、参加したことがあるでは50.6%、参加したことがないでは70.5%となっている。

※障害者差別解消法：すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざす法律です。（平成28年4月1日施行）

〔イ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律
(ヘイトスピーチ解消法) ※〕



【全体】

「法律の名前も内容も知らない」が69.1%と最も高く、次いで、「法律の名前は知っている」が22.5%、「法律の内容をよく知っている」が3.4%となっている。

【性別】

性別でみると、すべてのカテゴリーで「法律の名前も内容も知らない」が高く、男性では65.2%、女性では74.3%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは64.3%となっている。

【年齢】

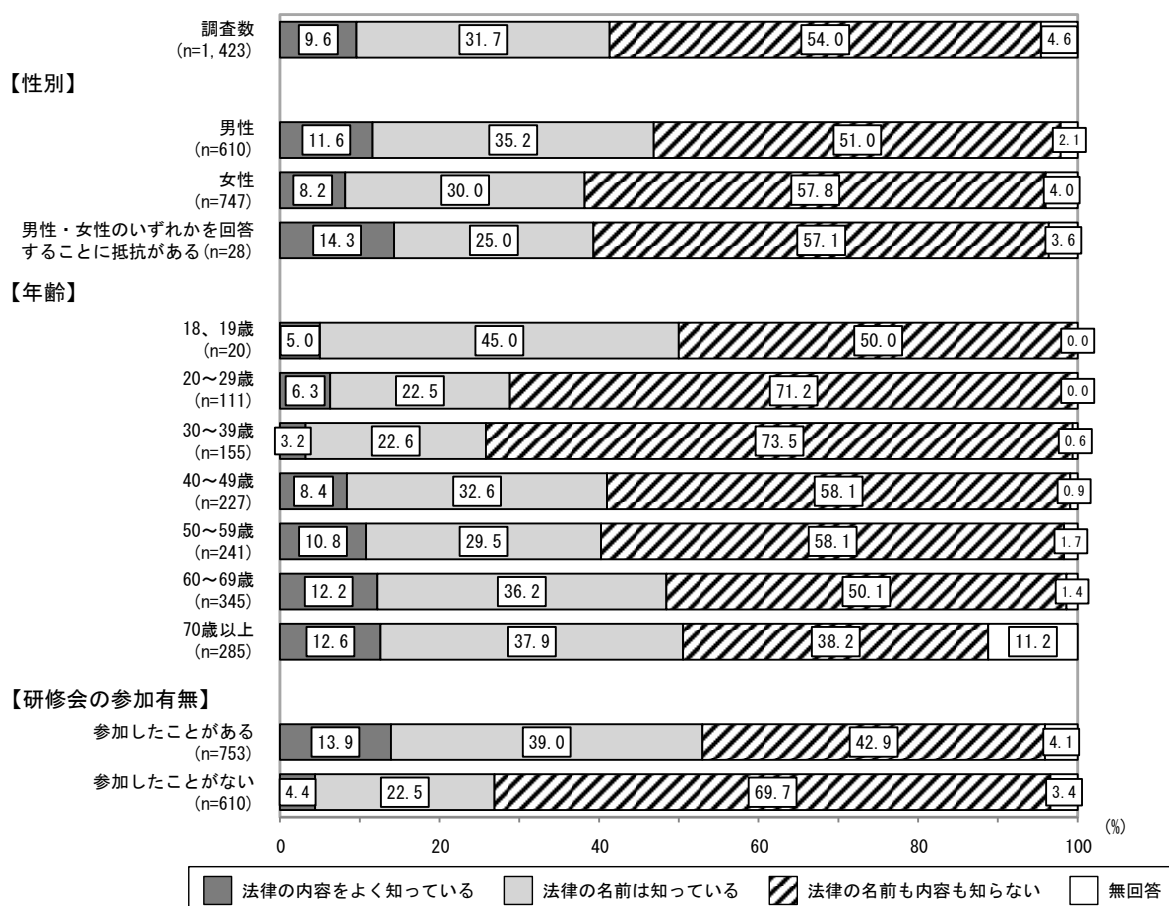
年齢別でみると、すべてのカテゴリーで「法律の名前も内容も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別でみると、すべてのカテゴリーで「法律の名前も内容も知らない」が高く、参加したことがあるでは61.5%、参加したことがないでは79.8%となっている。

※ヘイトスピーチ解消法：日本に住む日本以外の出身者や子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排斥することを扇動するような言動の解消をめざす法律です。
(平成28年6月3日施行)

〔ウ 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）※〕



【全体】

「法律の名前も内容も知らない」が54.0%と最も高く、次いで、「法律の名前は知っている」が31.7%、「法律の内容をよく知っている」が9.6%となっている。

【性別】

性別で見ると、すべてのカテゴリで「法律の名前も内容も知らない」が高く、男性では51.0%、女性では57.8%、男性・女性のいずれかを回答することに抵抗があるでは57.1%となっている。

【年齢】

年齢別で見ると、すべてのカテゴリで「法律の名前も内容も知らない」が最も高くなっている。

【研修会の参加有無】

研修会の参加有無別で見ると、すべてのカテゴリで「法律の名前も内容も知らない」が高く、参加したことがあるでは42.9%、参加したことがないでは69.7%となっている。

※部落差別解消推進法：現在もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴ってその状況に変化が生じていることを踏まえ、たうえで「部落差別は許されないもの」という認識のもと、部落差別のない社会の実現をめざす法律です。（平成28年12月16日施行）

(31) 自由意見

問 27 人権学習や人権啓発のあり方などについてご意見などがあれば、下記にご自由にお書きください。

意見提出者総数は 203 件。記入者の年齢をみると、若年層をはじめ各年層から意見・要望が寄せられており、60 歳代（45 件）が最も多く、次いで 50 歳代（43 件）、70 歳以上（38 件）、40 歳代（33 件）、30 歳代（22 件）、20 歳代（17 件）、年齢不明の方（3 件）、18、19 歳（2 件）となっている。以下の表では記入内容にしたがって項目を作成し、内容を分類している。

なお、複数の事柄に関する記述があった場合は、それぞれでカウントしている。

記述内容は以下のとおり（一部回答を言い換え・省略している）

【人権尊重のまちづくりについて】
<ul style="list-style-type: none">・「自分がされて嫌なことは他人にもしない」、これだけで多くの問題はなくなると思う・相手を尊重し合える、相手の立場になった時の心の重さを、子供の頃より育ててもらえたらと思う・人間対人間としてお互いを認め助け合い、日々健やかに暮らせるよう努力が必要・1日も早く差別のない加東市になればと思う・一人一人が自分で考えることが大切だと考える
ほか
合計：15 件
【女性の人権について】
<ul style="list-style-type: none">・男尊女卑が今も平然と行われている。人権問題がこれだけ様々に取り上げられているのに
合計：1 件
【子どもの人権について】
<ul style="list-style-type: none">・子供の頃から小学校において、しっかりと道徳教育を受けさせてもらっている事が自身の人間形成にも大きく影響していると思う・大人が子供達に区別をして教えるからそういう目で見るとは・これからは人権についての学習も子どもたちに、たくさん学んでいって欲しいと感じる・義務教育の期間であれば小さい頃から人権問題について、意識づけできるのではないかと・人がありのまま生きて OK という感覚と、互いを認めあう感覚をこれからの子どもに持たせるには、固い言葉で作文を書かせたり、発表させたりする授業はやめてほしい・教科書をとおしてだけでなく、実際にあった事例等を通して話し合っ考える時間や、性的少数者や同和出身の方の生の声を聞く時間等、勉強としてではなく、体験させてあげたい
ほか
合計：23 件

【高齢者の人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の方へのイメージや対応について、もっと身近に小さな子供達むけに、イベントや交流をひろめてほしい ・ 同和地区の問題について、高齢者の方々になるほど拒絶感が強いと感じる
ほか
合計：4件

【障がい者の人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者への雇用促進や、一人ひとりが大切にされる社会、一人ひとりの個性が大切にされる社会になっていって欲しいと思う ・ 障害者の方たちの人権を守るあまりに、他の人の人権が守られていない事実に関して、非常に疑問を持つ
ほか
合計：4件

【同和問題について】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同和など知らなければ問題とならないのではないかと考える事もある ・ ネット上で調べると部落である地区名が出てくる。それにより知らなかった地区が部落であることが分かった。そのこと自体なくなればいいとは思う ・ 同和地区で区別したり、特別な支援をする事で余計に差別を生むきっかけになっている一面もあるのではないかと思う ・ 同和地区について本来の差別されてしまう立場の人の講演なんかを聞かないと、同和地区問題は私には全く実感も関係もない
ほか
合計：25件

【外国人の人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 加東市には多くの外国人が住んでいるので外国人の人権についても取り組むべきでは。 ・ 少子高齢化が進み、外国人の労働力が必要なのは明白だ。外国人を人間としての扱いに関する議論の場、政策（きめの細かい）の必要を強く感じている ・ 外国人労働者や在日朝鮮人に関しては、国民と同じ扱い（就職その他）にすることの方が、問題だと考えている（納税等）
ほか
合計：6件

【インターネットの人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・最近ではネット上の書きこみや、いやがらせで、問題が起きているように思う ・ネット社会である今の世の中、匿名であるのを良いことに何を発言してもかまわない、「表現の自由」だと思い込んでいる人が目につくように感じる ・インターネット上での子供達の人権問題は何回もあらゆる機会を通じて、教育する講演会を開催される必要があると思う。。 <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：6件

【労働者の人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・パワハラ問題は社会的にも大きな問題だと思う。また市でもこのような研修会があってもよいのではと思う ・公報をより身近になる取組みが必要である。また、半強制的に会社（企業）での取組みが必要である <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：5件

【その他さまざまな人権について】
<ul style="list-style-type: none"> ・未だに増えている、「いじめ」人権無視の現状を論議するべき ・健康被害を被ることなどは、「健康で文化的な生活を送る権利」でもある人権を侵害されていることになると思う <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：10件

【市の人権施策について】
<ul style="list-style-type: none"> ・企業内で行われている人権問題は取組又は教育等は問題外、行政においてももっと力を入れて施策を行ってもらいたい ・市、地区の主催の人権学習会、講習会には、通常一定の方しか参加されていない。 ・CATVで人権に関する番組を作ってみてはどうだろうか。後日アンケートを取り、番組を改善していく材料にしてはどうか ・意識調査や学習会等の内容に対するアンケート、学習効果など継続的な調査が必要であると感じる ・実際差別を受けた事のある方々の意見を取り入れるか、そういった方々が主体になって行政と共に取り組む事が望ましいと思う ・気にならないと興味のないまま生活してってしまうので、調べなくても目にはいる場所（図書館、スーパーなど）に具体的に「こんなことが加東市でもおこっている」などの提示をしてほしい <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：29件

【人権や差別問題全般について】
<ul style="list-style-type: none"> ・今のところまわりに人権について考えるような事がなく、深く考えた事がない ・人権に対する政治家の理解が乏しいのではないかと思う ・いつまでも部落差別、人権問題が無くならないのは、当時差別や被害に遭っていた人達が忘れまいと、後世に、伝えようと活動しているのも一つの要因だと思う ・人権学習や人権啓発はより低年齢から始めるべきだと考える ・田舎ほど差別、偏見が残っているように思う ・人は生まれた時から等しく人権があるべきと思う ・人権、差別の問題を自分のことのように重要視するのは、まだまだ遠いことなのかと感じる <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：66件

【人権教育について】
<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが子供のころに比べて、今の学校での道德教育のあり方が薄れてきているように思える ・行政の行っている人権学習、人権啓発は形式的過ぎてあまり効果がないと感じている ・人権学習会の参加者が年々少なくなっている ・大人もたくさん学ぶべきことがあるので人権についてたくさん知っていききたい ・なにより小中学校からの地道な啓発教育だと思う。大人になってからの学習、意識改革はむずかしいと思う ・今後女性や様々な世代層も学習できる場が大切だと考えている <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：64件

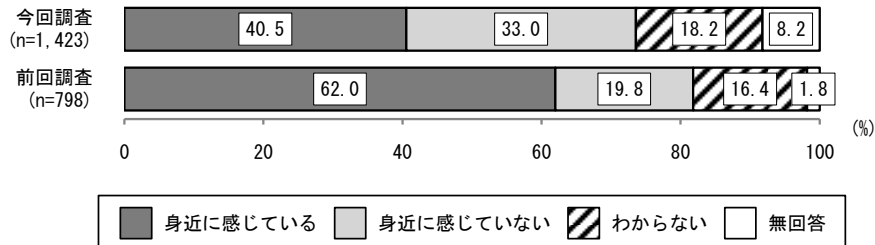
【アンケートについて】
<ul style="list-style-type: none"> ・これからは若い人の時代だから、特に若い方々にアンケートをお願いしてほしい ・改めて人権について思い返すことができよかった ・意識調査をしたいのなら、記載された問題以外の問題、未だに皆が意識していない問題について探していかないといけないのでは ・アンケートの結果の公表は何時するのか <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：34件

【その他の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・学校で習うまで全く知らなかったの。ただの一個人の意見なので学校でのアンケートにも同じようなことをずっと書き続けてきましたが、反映されず ・自分自身が差別に対してかたよった考え方があると思った <p style="text-align: right;">ほか</p>
合計：19件

3. 前回調査との経年比較

(1) 人権への親近感

問1 あなたは人権を身近な問題として感じていますか。(〇は1つ)

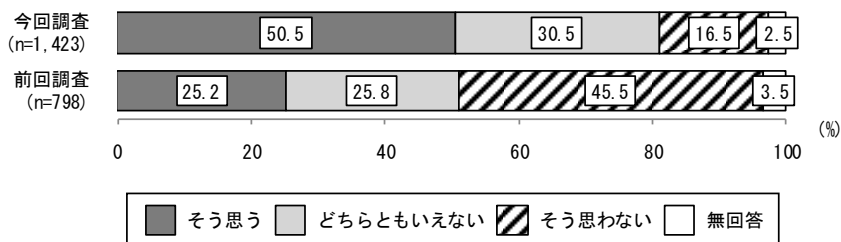


人権への親近感についてみると、すべてのカテゴリで「身近に感じている」が高く、今回調査では40.5%、前回調査では62.0%となっている。

(2) 人権や部落差別の問題に関する感じ方

問2 日本の社会での人権や部落差別の問題に関する次のような意見について、あなたはどう思いますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

〔ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である〕



※今回調査

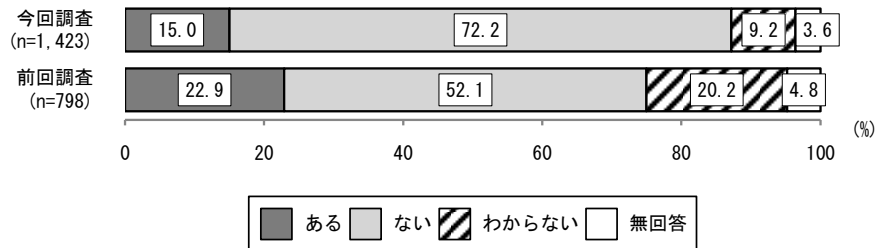
『そう思う（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）』

『そう思わない（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）』として比較

人権や部落差別の問題に関する感じ方についてみると、今回調査では「そう思う」が50.5%と最も高く、前回調査では「そう思わない」が45.5%と最も高くなっている。

(3) 人権侵害を受けた経験の有無

問4 あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○は1つ)



※今回調査

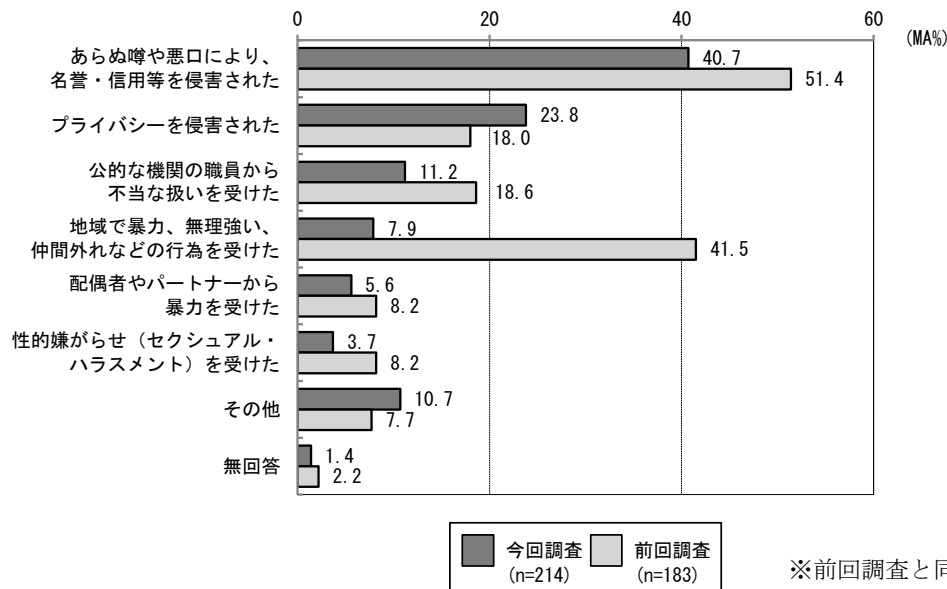
『ある（「よくある」＋「ときどきある」）』

『ない（「ほとんどない」＋「まったくない」）』として比較

人権侵害を受けた経験の有無についてみると、すべてのカテゴリーで「ない」が高く、今回調査では72.2%、前回調査では52.1%となっている。

(4) 人権侵害を受けた経験の内容

問4-1 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
それはどのような人権侵害でしたか。(○はいくつでも)

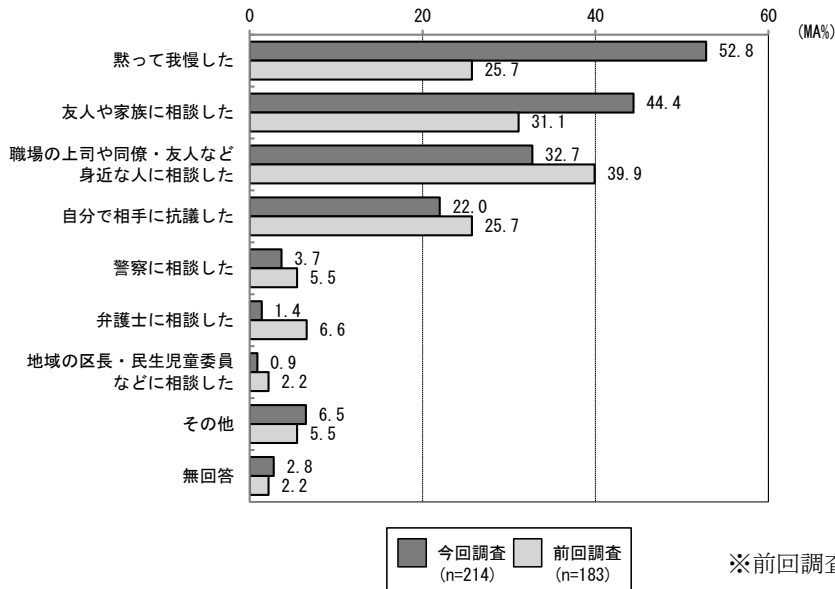


※前回調査と同一項目のみ比較

人権侵害を受けた経験の内容についてみると、すべてのカテゴリーで「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」が高く、今回調査では40.7%、前回調査では51.4%となっている。

(5) 人権侵害を受けた経験の対応

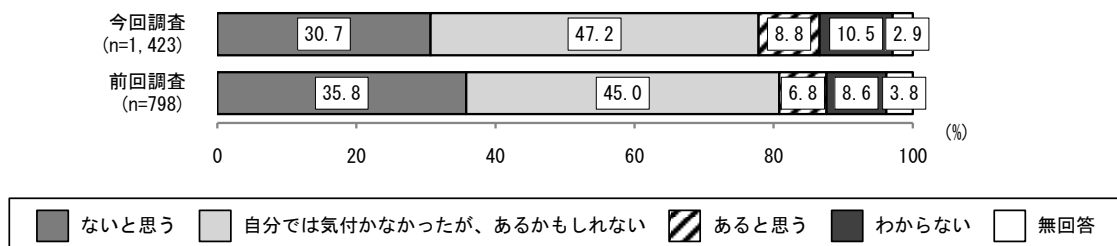
問4-2 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)



人権侵害を受けた経験の対応についてみると、今回調査では「黙って我慢した」が52.8%と最も高く、前回調査では「職場の上司や同僚・友人など身近な人に相談した」が39.9%と最も高くなっている。

(6) 人権侵害をした経験の有無

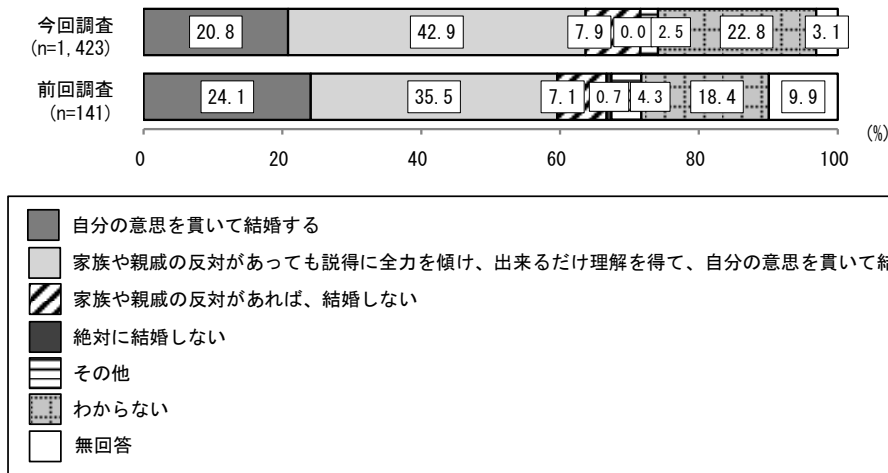
問5 あなたは今までに人権侵害をしたことがあると思いますか。(〇は1つ)



人権侵害をした経験の有無についてみると、すべてのカテゴリーで「自分では気付かなかったが、あるかもしれない」が高く、今回調査では47.2%、前回調査では45.0%となっている。

(7) 自身の結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応

問7 たとえば、あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

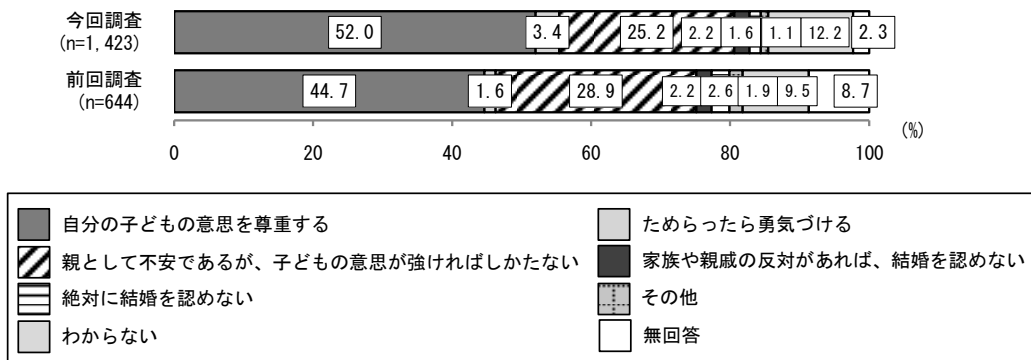


※「絶対に結婚しない」は今回調査の選択肢にない

自身の結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応についてみると、すべてのカテゴリーで「家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が高く、今回調査では42.9%、前回調査では35.5%となっている。

(8) 子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応

問8 たとえば、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)
(お子さんがいない場合はいと仮定して)



子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合の対応についてみると、すべてのカテゴリーで「自分の子どもの意思を尊重する」が高く、今回調査では52.0%、前回調査では44.7%となっている。

參考資料

第2次加東市人権尊重のまちづくり基本計画に関するアンケート

調査ご協力をお願い

日頃からまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、加東市では、市民一人一人がかけがえのない大切な存在として、互いに生かしあっていく、笑顔と喜びの多い明るい地域社会をつくるため、平成22年に「加東市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定しました。

この調査は、平成31年度末で計画期間が終了する基本計画を見直し、「第2次加東市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定するために、市民のみなさまの意識や意向、ニーズを的確に把握し、今後の施策展開の参考にしようとするものです。

ご多用のところ、大変お手数をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞご回答いただきますようお願いいたします。

平成30年10月

加 東 市

●ご記入にあたってのお願い●

- 1 ご回答は、あて名のご本人にお願いします。
なお、ご高齢の方や目の不自由な方など、やむを得ない事情によって、ご本人が記入しづらい場合には、ご本人の回答を確認のうえ、同居されているご家族の方が代筆いただきますようお願いいたします。
- 2 ご回答は、選択肢の番号に「○」をつけてください。
設問によって、回答が「○は1つ」「○はいくつでも」などがあります。
- 3 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、(具体的に_____)内にその内容を具体的に
ご記入ください。
- 4 設問によっては、ご回答いただく必要がない場合があります。
- 5 返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありません。

●お問い合わせ先●

加東市 市民協働部 人権協働課 TEL：43-0544 FAX：42-1735
E-mail：jinken-kyodo@city.kato.lg.jp

問1 あなたは人権を身近な問題として感じていますか。(○は1つ)

1 身近に感じている	2 身近に感じていない	3 わからない
------------	-------------	---------

問2 日本の社会での人権や部落差別の問題に関する次のような意見について、あなたはどう思いますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

		そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	どちらかといえば思わない	そう思わない
ア	今の日本は、人権が尊重されている社会である	1	2	3	4	5
イ	国民一人一人の人権意識はここ5年前に比べて高くなっている	1	2	3	4	5
ウ	部落差別の問題は、人権にかかわる問題だから社会全体で取り組み、自分も努力すべきだ	1	2	3	4	5
エ	部落差別の問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ	1	2	3	4	5

問3 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。
 ア～スのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
 (○はそれぞれ1つ)

		よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
ア	女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること	1	2	3	4	5
イ	企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること	1	2	3	4	5
ウ	障害のある人が結婚したり、子どもを育てたりすることに周囲が反対すること	1	2	3	4	5
エ	高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなったりすること	1	2	3	4	5
オ	結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか身元調査をすること	1	2	3	4	5
カ	家族が、寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること	1	2	3	4	5
キ	性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出したからだ」、「スキがあったからだ」などと周囲が非難すること	1	2	3	4	5
ク	HIV（エイズウイルス）感染を理由に労働者が採用されなかったり解雇されたりすること	1	2	3	4	5
ケ	犯罪被害者が名前や住所などを報道されること	1	2	3	4	5
コ	非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること	1	2	3	4	5
サ	知的障害者や精神障害者、身体障害者の雇用が進まないこと	1	2	3	4	5
シ	外国人であることを理由に、賃貸住宅への入居が拒否されること	1	2	3	4	5
ス	女性にだけ再婚禁止期間が設けられること	1	2	3	4	5

問4 あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○は1つ)

1 よくある 2 ときどきある 3 ほとんどない 4 まったくない 5 わからない

→問5へ

▶ 問4-1 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
それはどのような人権侵害でしたか。(○はいくつでも)

- 1 職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた
- 2 あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された
- 3 差別待遇(出身地・国籍・信条・性別等により不平等または不利益な扱い)を受けた
- 4 プライバシーを侵害された
- 5 地域で暴力、無理強い、仲間外れなどの行為を受けた
- 6 学校で友人から暴力、無理強い、仲間外れなどの行為を受けた
- 7 教師から、体罰や暴言などの行為を受けた
- 8 公的な機関の職員から不当な扱いを受けた
- 9 配偶者やパートナーから暴力を受けた
- 10 性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント)を受けた
- 11 インターネット(SNS*を含む)による中傷・いじめなどを受けた
- 12 その他(具体的に_____)
- 13 おぼえていない

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことを言います。

▶ 問4-2 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を回答された方にお聞きします。
人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(○はいくつでも)

- 1 黙って我慢した
- 2 友人や家族に相談した
- 3 自分で相手に抗議した
- 4 職場の上司や同僚・友人など身近な人に相談した
- 5 学校の先生に相談した
- 6 警察に相談した
- 7 市役所に相談した
- 8 弁護士に相談した
- 9 法務局や人権擁護委員などに相談した
- 10 地域の区長・民生児童委員などに相談した
- 11 市民団体等に相談した
- 12 その他(具体的に_____)
- 13 おぼえていない

問5 あなたは今までに人権侵害をしたことがあると思いますか。(〇は1つ)

1 ないと思う	2 自分では気付かなかったが、あるかもしれない
3 あると思う	4 わからない

問6 あなたは、ここ5年くらいの間に、同和地区や同和地区の人々に対して、次のことについて直接差別を見たり、聞いたりしたことがありますか。ア～オのそれぞれについてあてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

		見たり、 聞いたりした	見たり、 聞いたりして いない	わからない
ア	日常の交流や交際について	1	2	3
イ	就職について	1	2	3
ウ	結婚について	1	2	3
エ	引越しや住宅の購入について	1	2	3
オ	インターネットを介した差別的な情報	1	2	3

問7 たとえば、あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに〇をつけてください。(〇は1つ)

1 自分の意思を貫いて結婚する
2 家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、出来るだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する
3 家族や親戚の反対があれば、結婚しない
4 その他(具体的に_____)
5 わからない

問8 たとえば、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに最も近いものに〇をつけてください。(〇は1つ)
(お子さんがいない場合はいと仮定して)

1 自分の子どもの意思を尊重する
2 ためらったら勇気づける
3 親として不安であるが、子どもの意思が強ければしかたない
4 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない
5 絶対に結婚を認めない
6 その他(具体的に_____)
7 わからない

問9 結婚相手が「同和地区出身者」であるかどうか、あなたは何を基準に判断すると思いますか。あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 本人が現在、同和地区に住んでいる | 2 本人が過去に、同和地区に住んだことがある |
| 3 本人の本籍が同和地区である | 4 本人の出生地が同和地区である |
| 5 父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる | 6 父母あるいは祖父母の本籍が同和地区である |
| 7 父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である | 8 職業によって判断している |
| 9 その他(具体的に_____) | |
| 10 わからない | |

問10 もしあなたが家を購入したりマンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区を含む小学校区内の物件は避けることがあると思いますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 同和地区の物件だけでなく、同和地区を含む小学校区の物件も避けると思う。 |
| 2 同和地区の物件は避けるが、同和地区を含む小学校区の物件は避けないと思う。 |
| 3 いずれにあってもこだわらない |
| 4 わからない |
- 問11へ

→ 問10-1 問10で「1」「2」と回答された方にお聞きします。あなたはなぜそのように思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1 こわいイメージがあるから |
| 2 自分も同和地区出身者だと思われるから |
| 3 周りの人から避けたほうがよいと言われるから |
| 4 その他(具体的に_____) |

問11 あなたは、部落差別の問題について、初めて知ったきっかけは、何ですか。あてはまるものに○をつけてください(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた | 2 親戚の人から聞いた |
| 3 近所の人から聞いた | 4 職場の人から聞いた |
| 5 友人から聞いた | 6 学校の授業で教わった |
| 7 テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った | 8 都道府県や市区町村の広報紙や冊子等で知った |
| 9 部落差別の問題に関する集会や研修会で知った | |
| 10 この調査票で、初めて知った | |
| 11 部落差別の問題は知っているがきっかけはおぼえていない | |
| 12 その他(具体的に_____) | |

問 12 あなたは、次のようなことは人権の観点から問題があると思いますか。ア～ケのそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

		問題だと思 う	問題だと思 う どちらかといえ ば	問題だと思わ ない どちらかといえ ば	問題だと思わ ない	わ か ら な い
ア	就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと	1	2	3	4	5
イ	凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること	1	2	3	4	5
ウ	中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと	1	2	3	4	5
エ	国際的に見て、日本が難民の受け入れに消極的であること	1	2	3	4	5
オ	刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと	1	2	3	4	5
カ	理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること	1	2	3	4	5
キ	ヘイト・スピーチ※に対して法的な罰則が設けられていないこと	1	2	3	4	5
ク	妊娠した女性に、親や夫の親などが出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること	1	2	3	4	5
ケ	さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること	1	2	3	4	5

※ヘイトスピーチ：明確な定義はないが、デモやインターネット上で、特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、一方的に日本社会から追い出そうとしたり、危害を加えようとするなどの内容の言動。

問 13 あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 1週間に数回程度	3 1週間に1回程度
4 1ヶ月に1、2回程度	5 ほとんど利用していない	6 まったく利用していない

問 14 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上での下記のような書き込みや行為についてどう思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

		問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	どちらかといえば問題だと思わない	問題だと思わない	わからない
ア	同和地区の地名を明らかにするような書き込み	1	2	3	4	5
イ	同和地区出身者や障害のある人、外国人などに対する差別をあおったり偏見やマイナスイメージを広げる書き込み	1	2	3	4	5
ウ	名前、電話番号、住所、メールアドレスなど個人を特定できる情報を流出させる書き込み	1	2	3	4	5
エ	他人に知られたくない写真、動画などの掲載	1	2	3	4	5
オ	児童の裸の写真などの掲載	1	2	3	4	5
カ	相手が嫌がる性的なメールなどの送受信	1	2	3	4	5
キ	学校裏サイトやブログなどへの悪口の書き込みや SNS での仲間外し	1	2	3	4	5

問 15 あなたは性的少数者^{※1}(セクシュアルマイノリティ)という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

※1. 性的少数者：同性愛者、両性愛者、身体や戸籍上の性別と自認する性別に違和感を持つ方など。

問 16 あなたは、次のア～カという言葉について意味を知っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

※この質問で言葉を知った場合は「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない(3)」、
以前から言葉は知っていたが意味はこの質問で初めて知った場合は「言葉は聞いているが、
意味は知らない(2)」を選択してください。

		言葉は聞いているし、 意味も知っている	言葉は聞いているが、 意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、 意味も知らない
ア	レズビアン ^{※2}	1	2	3
イ	ゲイ ^{※3}	1	2	3
ウ	バイセクシュアル ^{※4}	1	2	3
エ	トランスジェンダー ^{※5}	1	2	3
オ	クエスチョニング ^{※6}	1	2	3
カ	ストレート・アライ ^{※7}	1	2	3

※2. レズビアン (Lesbian)：女性の同性愛者

※3. ゲイ (Gay)：男性の同性愛者

※4. バイセクシュアル (Bisexual)：両性愛者

※5. トランスジェンダー (Transgender)：こころの性とからだの性との不一致

※6. クエスチョニング (Questioning)：こころの性や、恋愛対象を探している状態の人

※7. ストレート・アライ：性的少数者の人たちの活動を支持し、支援している人

LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングそれぞれの英語の頭文字からとった性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の総称。

(「Q」を含めずにLGBTと表現される場合もあります。)

(「LGBTQ」とした場合も、「Q」は、性的マイノリティの総称として用いられる「クィア(Queer)」の意味の場合があります。)

問 17 次の方が性的少数者だったとした場合、あなたはどう思いますか。(○はそれぞれ1つ)
現在お子さんがいらっしゃらない場合は、いると仮定してお答えください。

		特に抵抗はない	やや抵抗がある	抵抗がある
ア	近所の人	1	2	3
イ	友人や職場の同僚	1	2	3
ウ	自分の子ども以外の家族	1	2	3
エ	自分の子ども	1	2	3

問 18 あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知っていますか。(○は1つ)

1 知っている

2 知らない

→問 19へ

→問 18-1 問 18で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。

あなたは、そのようなデモ等をどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

- 1 直接見たり聞いたりしたことがある
- 2 デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある
- 3 テレビ・ラジオや新聞等の報道で見たり聞いたりしたことがある
- 4 ポスターや冊子等を見たことがある
- 5 家族、友人等から聞いたことがある
- 6 その他(具体的に_____)
- 7 わからない

→問 18-2 問 18で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。

あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。

あなたの意見に近いものを選んでください。(○はいくつでも)

- 1 不愉快で許せないと思った
- 2 日本に対する印象が悪くなると思った
- 3 自分には関係ないと思った
- 4 ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った
- 5 「表現の自由」の範囲内のものだと思った
- 6 特に何も思わなかった
- 7 その他(具体的に_____)

問 19 あなたは、これまで学校で差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。(○は 1 つ)

1 ある

2 ない

→ 問 20 へ

問 19-1 問 19 で「1 ある」と回答された方にお聞きします。
どのような内容を教わりましたか。(○はいくつでも)

- 1 女性の人権問題
- 2 子どもの人権問題 (子どもの権利条約に関するものをのぞく)
- 3 子どもの権利条約に関すること
- 4 高齢者の人権問題
- 5 障害のある人の人権問題
- 6 部落差別の問題
- 7 アイヌの人々の人権問題
- 8 外国人の人権問題 (在日韓国・朝鮮人の人権問題をのぞく)
- 9 在日韓国・朝鮮人の人権問題
- 10 HIV (エイズウイルス) 感染者、ハンセン病患者・回復者の人権問題
- 11 刑を終えて出所した人の人権問題
- 12 犯罪被害者等の人権問題
- 13 インターネット上での人権侵害
- 14 ホームレスの人権問題
- 15 性的少数者 (セクシュアルマイノリティ) の人権問題
- 16 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関すること
- 17 人身取引に関する人権問題
- 18 その他 (具体的に_____)
- 19 おぼえていない

問 20 さまざまな人権問題に関する市民の理解を深めるため、市 (教育委員会を含む) や団体などが主催している講演会、研修会などに、あなたは参加したことがありますか。(○は 1 つ)

1 参加したことがある

2 参加したことがない

→ 問 21 へ

問 20-1 問 20 で「1 参加したことがある」と回答された方にお聞きします。
それはどのような種類のものでしたか。(○はいくつでも)

- 1 市 (教育委員会を含む) が主催した講演会や研修会
- 2 公民館での講座や学級
- 3 PTA や学校などでの講演会や研修会
- 4 職場での講演会や研修会
- 5 地区等が主催した講演会や研修会 (住民学習など)
- 6 各種人権団体が主催した講演会や研修会
- 7 その他 (具体的に_____)
- 8 おぼえていない

問 21 あなたは人権問題について理解や認識を深めるためには、どのようなものが役立つと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 地区主催で行われる研修会、講演会等
- 2 市や教育委員会が実施する研修会、講演会等
- 3 お勤めの職場や職種・業界団体等による研修会、講演会等
- 4 小・中学校など学校での人権教育
- 5 少人数に分かれて話し合う参加型で学ぶ学習会
- 6 当事者と話し合えるような交流の場に参加する
- 7 実態を見たり、当事者の話を聞く
- 8 県や市町村等の広報紙、冊子
- 9 社内報
- 10 新聞の記事・意見広告
- 11 雑誌や週刊誌の記事
- 12 人権問題に関する書籍
- 13 ラジオ・テレビ
- 14 インターネット
- 15 映画・DVD・ビデオ
- 16 様々な人権問題の解決に取り組む NPO 法人等の活動等
- 17 その他(具体的に_____)

問 22 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、どのような人権教育や啓発の施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 学校における人権教育を充実させる
- 2 家庭での人権教育を支援する
- 3 地区主催で行う人権教育を充実させる
- 4 企業、事業所における人権尊重に向けた取組を支援する
- 5 行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する
- 6 行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う
- 7 公務員等人権との関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める
- 8 住民やNPO等の団体による人権尊重に向けた取組を支援する
- 9 人権侵害を受けた人に対する救済策を充実させる
- 10 その他(具体的に_____)
- 11 特にない
- 12 わからない

問 23 あなたは、次の法律について知っていますか。ア～ウのそれぞれについて、最もあてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

		法律の内容をよく知っている	法律の名前は知っている	法律の名前も内容も知らない
ア	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法) ※1	1	2	3
イ	本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた 取組の推進に関する法律 (ヘイトスピーチ解消法) ※2	1	2	3
ウ	部落差別の解消の推進に関する法律 (部落差別解消推進法) ※3	1	2	3

※1. 障害者差別解消法：すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざす法律です。
(平成 28 年 4 月 1 日施行)

※2. ヘイトスピーチ解消法：日本に住む日本以外の出身者や子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排斥することを扇動するような言動の解消をめざす法律です。
(平成 28 年 6 月 3 日施行)

※3. 部落差別解消推進法：現在もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴ってその状況に変化が生じていることを踏まえ、たうえて「部落差別は許されないもの」という認識のもと、部落差別のない社会の実現をめざす法律です。
(平成 28 年 12 月 16 日施行)

問 24 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|---------------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 男性・女性のいずれかを回答することに抵抗がある |
|------|------|---------------------------|

問 25 あなたの年齢について教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18、19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70歳以上 | |

問 26 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|---|-----------|-----------|
| 1 社小学校区 | 2 福田小学校区 | 3 米田小学校区 |
| 4 三草小学校区 | 5 鴨川小学校区 | 6 滝野東小学校区 |
| 7 滝野南小学校区 | 8 東条東小学校区 | 9 東条西小学校区 |
| 10 お住まいの小学校区がわからない方は右の欄に地区名をご記入ください(地区) | | |

問 27 人権学習や人権啓発のあり方などについてご意見などがあれば、下記にご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただきありがとうございました。
このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
11月12日(月)までに
ご返送いただきますようお願いします。



加東市マスコット
加東伝の助

平成 30 年度
人権に関する市民意識調査
調査結果報告書

発行年月：平成 31 年 3 月

発行：加東市役所 市民協働部人権協働課

〒673-1493 加東市社 50 番地

TEL：0795-43-0544

FAX：0795-42-1735
